# magicolor 1690MF
# ファクスユーザーズガイド



A0HF-9572-13K

## はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 1690MF は、Windows、Macintosh の環境でお使いいただくのに最適なプリンタ複合機です。

## 登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

## ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。



## 著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。



## 本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

# ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者 ( 以下、譲受人 ) に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲

渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。

10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第３者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

# 安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

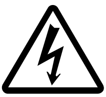
■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

# 絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

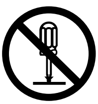
| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

# 絵表示の例



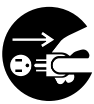
△ **記号は注意を促す内容があることを告げるものです。**

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘ **記号は禁止の行為であることを告げるものです。**

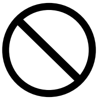
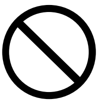
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

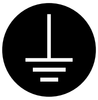
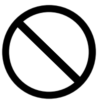
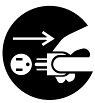
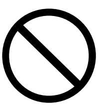


● **記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

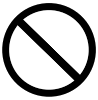
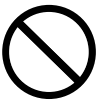
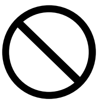
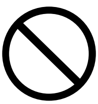
この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

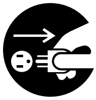
# ⚠警告

| | |
|---|---|
|  | ● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。<br>● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。 |
|  | ● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。<br>● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。<br>● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。 |
|  | ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。<br>● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。<br>● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。 |
|  | 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。 |
|  | 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。 |

| | |
|---|---|
|  | 必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。<br>● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。<br>● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。<br>アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。<br>● コンセントのアース端子<br>● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種）<br>次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。<br>● ガス管（ガス爆発の原因になります）<br>● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）<br>● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります） |
|  | 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 |
|  | ● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。<br>● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。 |
|  | トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。 |

## ⚠注意

| | |
|---|---|
|  | ● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。<br>● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。 |
|  | ● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。 |
|  | 本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。 |
|  | ● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。<br>● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。 |
|  | ● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。<br>● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。 |
|  | ● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。<br>● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。 |

| | |
|---|---|
|  | 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。<br><br>連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
|  | ● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。<br><br>● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。<br><br>● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。 |

## 換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

## 物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

## 2 次電池（充電式リチウム電池）について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

## 印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

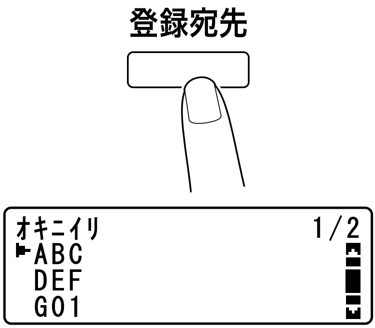
# もくじ

# 1 はじめに

# こんな機能があります

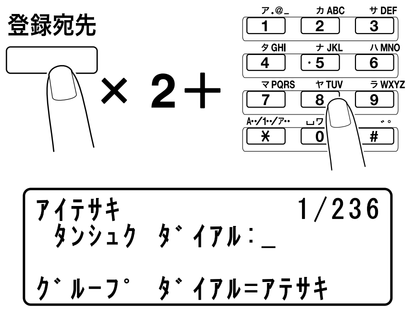
## お気に入りを使って送信する

よく送信する相手先の短縮ダイアルおよびグループダイアルを登録し、ファクス番号の呼び出しをスピードアップできます。（p. 97）



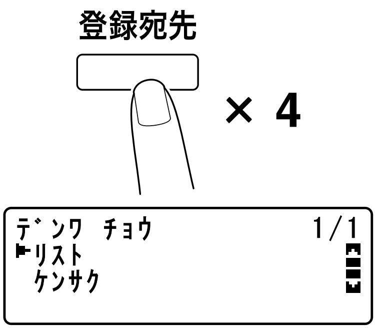

## 短縮ダイアルを使って送信する

よく送信する相手先のファクス番号を登録し、［登録宛先］キーとテンキーの組合せで呼び出して送信できます。（p. 100）



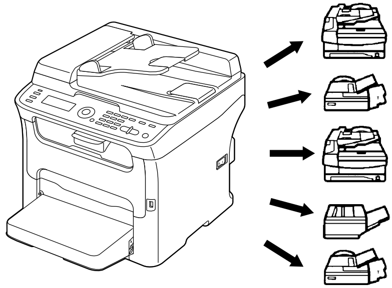

## 登録した相手先を検索して送信する

登録した相手先を、リストや含まれる文字から検索して送信できます。（p. 103）



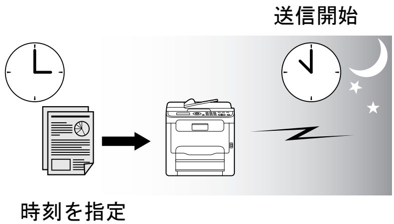
## 複数の相手先に送信する

1 回の送信で、複数の相手先に送信できます。（p. 112）



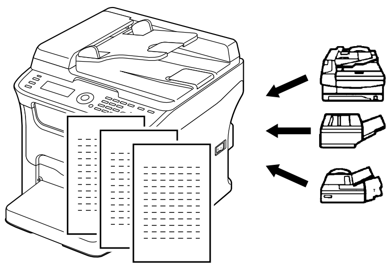
## 時刻を指定して送信する

指定した時刻に通信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。（p. 118）



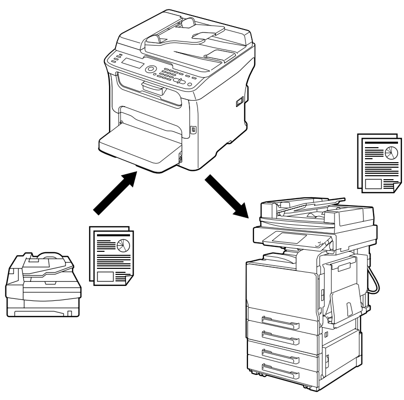

## 受信文書を印刷しないでメモリに保存する

機密文書を受信したときなどを想定して、受信文書を印刷しないように設定してメモリに保存できます。（p. 71）



## 受信文書を転送する

受信した文書を指定したファクス番号、メールアドレスに転送できます。（p. 158）



# 各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

## 前面

1　操作パネル

2　自動原稿送り装置（ADF）

　2-a　ADF カバー

　2-b　ガイド板

　2-c　原稿給紙トレイ

　2-d　原稿排紙トレイ

　2-e　原稿ストッパー

エラーメッセージなどで、ADF を「ｹﾞﾝｺｳｵｻｴ」と表示する場合があります。

リーガルサイズの原稿を ADF で読み込む場合、原稿ストッパーを倒します。

3　ダストカバー

4　トレイ 1（多目的トレイ）

5　排紙トレイ

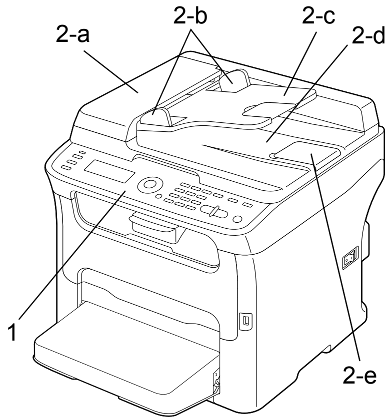
6　補助トレイ

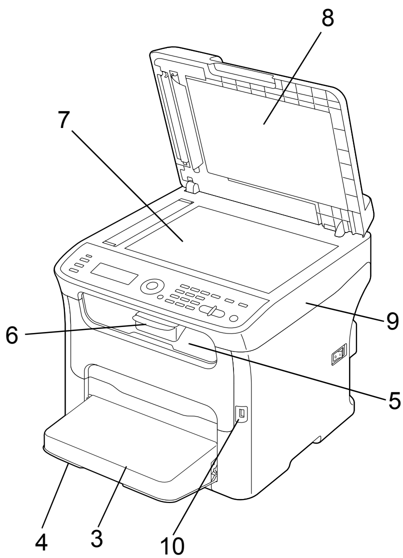
7　原稿ガラス

8　原稿カバーパッド

9　スキャナユニット

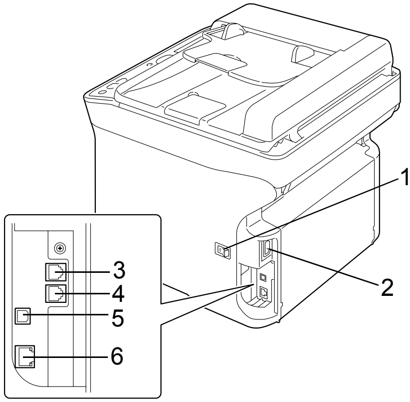
10　USB メモリポート



## 背面

1　電源スイッチ
2　電源インレット
3　外付け電話機接続用コネクタ（TEL）
4　回線コネクタ（LINE）
5　USB ポート
6　10Base-T/100Base-TX イーサネット（Ethernet）インターフェースポート



# ファクスの接続 2

# 各種接続方法

ここではファクスの各種接続について説明します。誤った接続は他の機器に悪影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。

製品同梱の「インストレーションガイド」の初期設定を行ってから本設定を行ってください。

本機に留守番電話機を接続して、電話 / ファクス自動切替え機能をご使用になる場合は「備考」（p.33）をごらんください。

**ご注意**

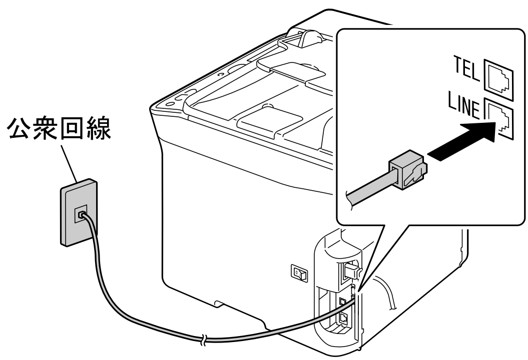
**ISDN 回線（ターミナルアダプタ、ダイアルアップルータ接続）や ADSL 回線に接続してご使用の場合 ISDN 接続機器（ターミナルアダプタ等）、ADSL 接続機器（スプリッタ等）が原因でファクス機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、ご加入の回線業者へお問い合わせください。ファクスの設置に伴う回線工事には、「電話工事担任者」資格を必要とします。無資格者の工事は事故のもとになりますので、販売店もしくは、ご利用の電話会社にご相談ください。**

ISDN 回線、ADSL 回線、デジタルテレビ、CS チューナー、ひかり電話、ホームテレフォン等との接続においては、必ずしもファクス送受信を保障するものではありません。

## 公衆回線への接続

### 公衆回線に接続し、回線をファクス専用としてご使用になる場合

ご使用の電話機コードを本機の背面の回線コネクタ（LINE）に接続してください。



■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

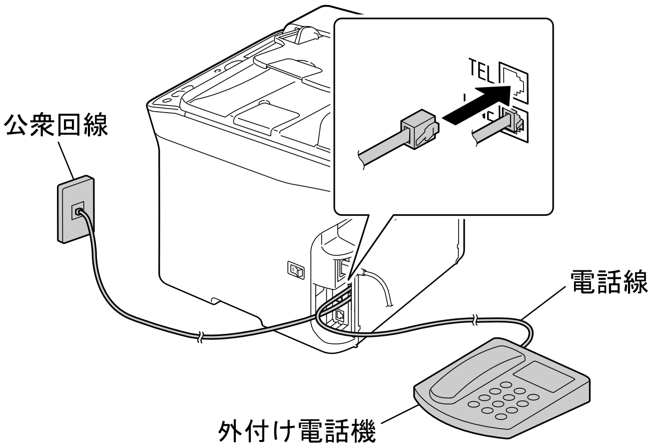
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：ｵﾌ

## 公衆回線に接続し、電話とファクスの両方をご使用になる場合

本機に電話機を接続し、回線上で電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。

ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。




■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：ｵﾝ

お使いの電話回線内ですでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または本機に接続されている電話機が使用できない場合があります。この場合、配線工事が必要になりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続できる端末（電話機など）台数は１台です。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

各種サービス（キャッチホン / ナンバー・ディスプレイ / ダイアルインなど）は、ファクスでは使用できません。

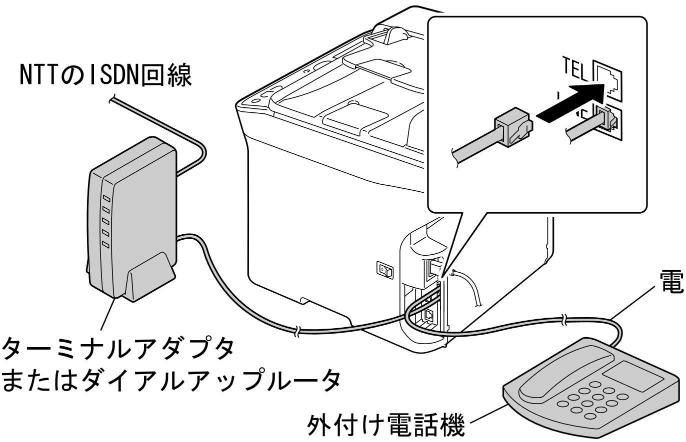
電話機子機からの転送受信はできません。

## ISDN 回線への接続

### ISDN 回線（電話番号が 1 つ）に接続する場合

ISDN 回線で電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の空きポートは「使用しない」に設定してください。




■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］: PSTN
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］: ｵﾝ

電話とファクスは同時に使用することはできません。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）側に本機を接続して電話の発信、着信、通話を確認してください。
万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の設定を確認してください。

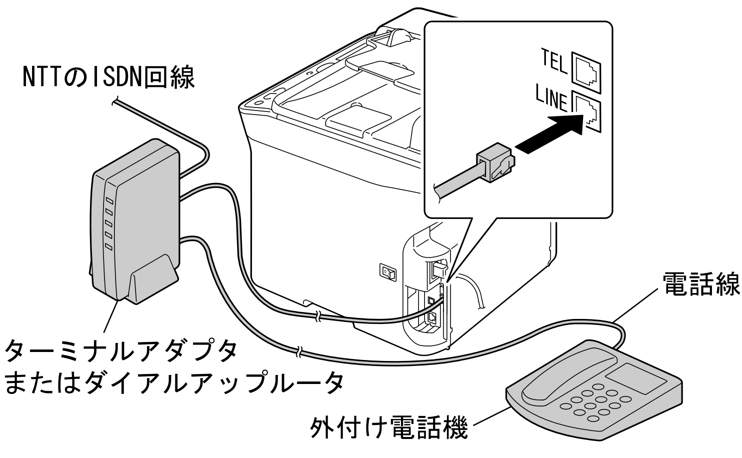
ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）によってはブランチ接続（並列接続）が動作保障外の場合があります。
ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の仕様についてはターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の取扱い説明書をご覧いただくかターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の販売メーカーにお問い合わせください。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

## ISDN 回線（電話番号が 2 つ）に接続する場合

電話番号とファクス番号を使い分けることが可能です。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）のファクス用電話番号が割り当てられているアナログポートに本機を接続してください。




■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

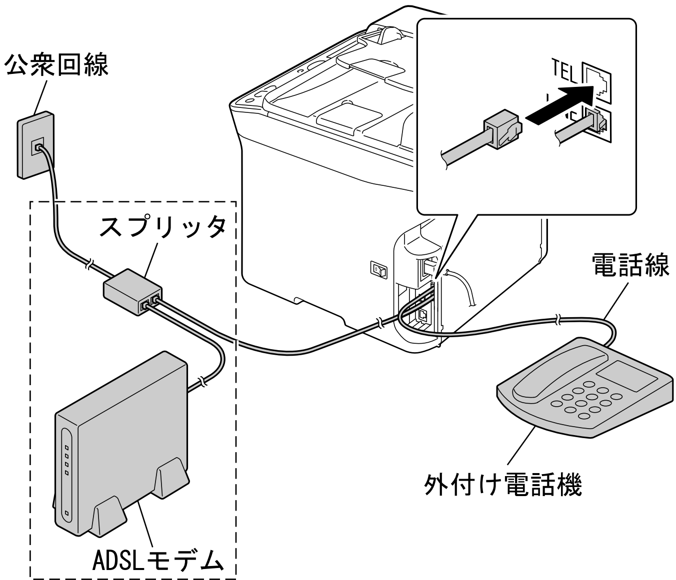
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：ｵﾌ

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

## ADSL 回線に接続する場合

スプリッタの TEL 側端子に本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください

誤った接続の場合、ノイズや通信エラーの原因になります。




■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］: PSTN
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］: ｵﾝ
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ

並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。

IP フォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。

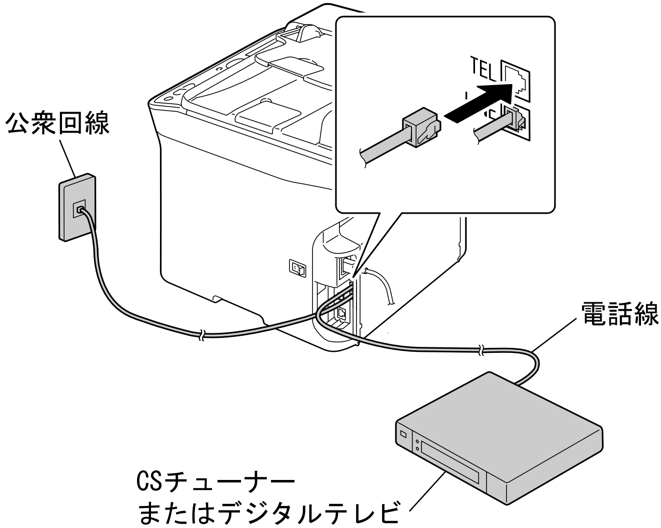
自分の声または相手の声が聞きづらい（ひびく）場合、スプリッタが影響している可能性がありますのでスプリッタを交換すると改善する場合があります。

接続イメージ図内の点線枠の部分は、使用機器によって一体型のADSL モデムの場合もあります。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

## デジタルテレビや CS チューナーに接続する場合

デジタルテレビや CS チューナーは、本機の背面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続します。



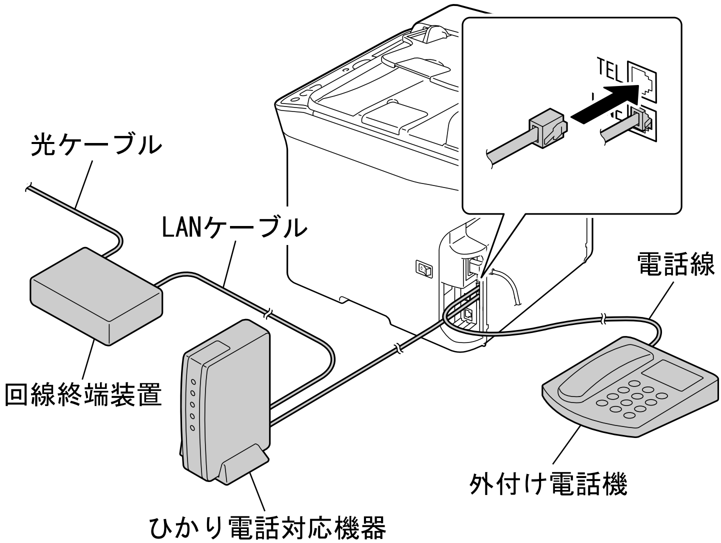

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］: PSTN
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］: ｵﾝ
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ

## ひかり電話に接続する場合

ひかり電話対応機器（ルータなど）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。




■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

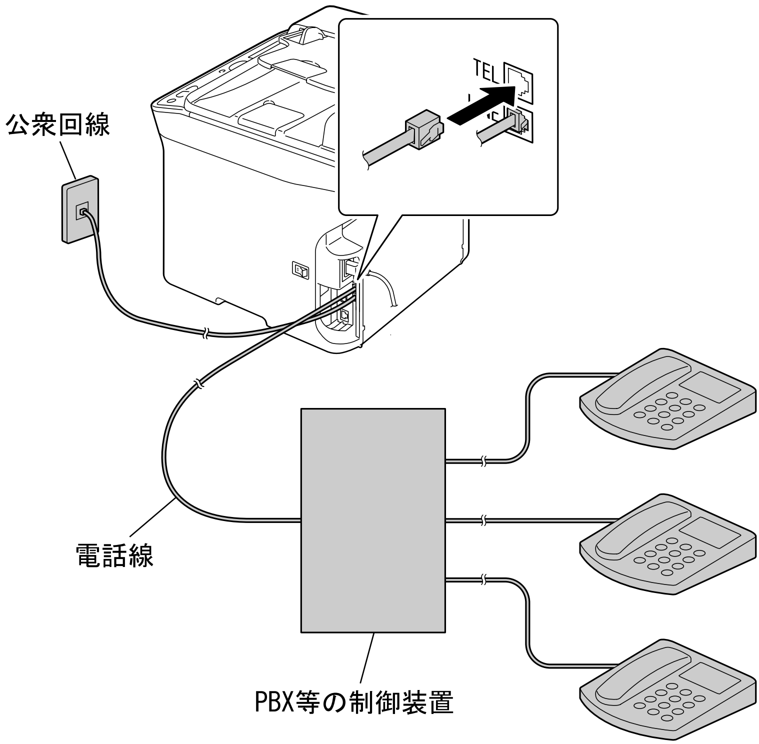
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：ｵﾝ

ひかり電話の詳しいサービス内容、およびひかり電話対応機器の設定方法や不具合は NTT にお問い合わせください。
ひかり電話対応機器へ設定するデータは、NTT から郵送される書面をご確認ください。

## 構内交換機（PBX）、ビジネスフォン、ホームテレフォンに接続する場合

PBX などの制御装置は、本機の背面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続します。

回線数が 1 つの場合の例を示します。



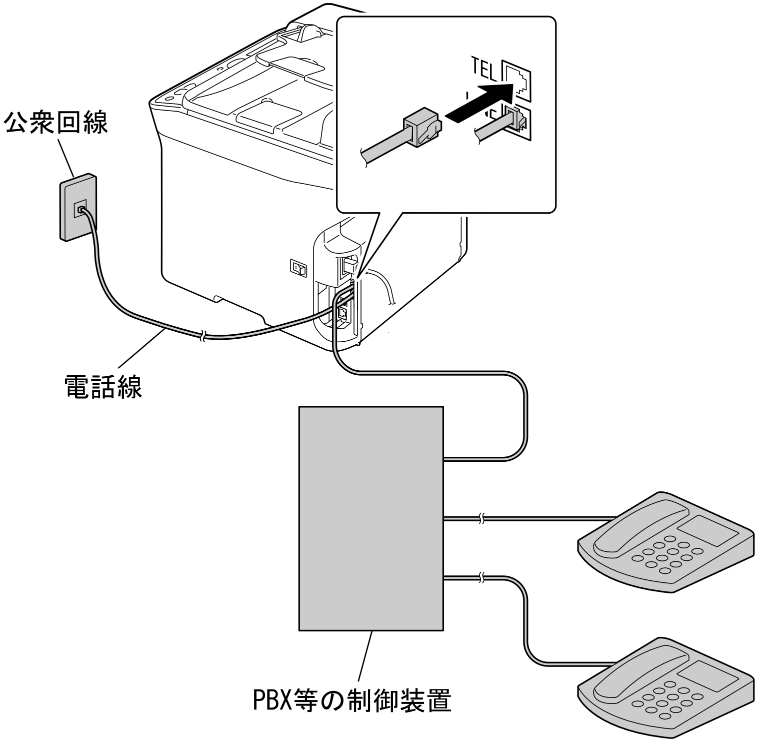

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：ｵﾝ
– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ

## 内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスフォンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスフォン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。詳細は、配線工事を実施した販売店にご相談ください。




■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PBX

## 備考

本機操作パネルのメニューとの組合せにより更に便利にご使用いただけます。

■ 外付け電話機を接続して電話 / ファクスを自動切替えしたい場合

以下の設定によりファクスの場合は自動受信され、電話の場合は電話着信を示します。

必用に応じて設定してください。

– [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ] - [ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ] : ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ
– [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ] - [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] - [ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ] : ｵﾝ
– [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ] - [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] - [ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ] : ｵﾌ

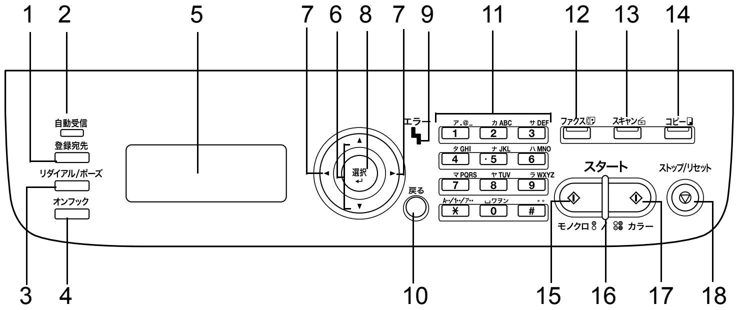
■ 外付け電話機を接続して留守番電話を使用する場合

本機に留守番電話を接続する場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ] - [ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ] : ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ
– [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ] - [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] - [ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ] : ｵﾌ
– [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ] - [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] - [ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ] : ｵﾝ

# 3
# 操作パネルとメニュー

# 操作パネルについて




| No. | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | ［登録宛先］キー | ■ お気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルに登録されている内容が表示されます。<br>■ お気に入りについては「お気に入りを使って送信する」（p.97）を、短縮ダイアルについては、「短縮ダイアル番号を使って送信する」（p.100）を、グループダイアルについては「複数の相手先に送信する（グループダイアル）」（p.115）をごらんください。 |
| 2 | 自動受信ランプ | ■ 自動受信に設定されているときに点灯します。<br>■ 詳しくは、「自動受信（ファクス専用）」（p.151）、「自動受信（電話 / ファクス自動切替え）」（p.153）、「自動受信（外付け電話機の留守番機能を使用）」（p.155）をごらんください。 |
| 3 | ［リダイアル / ポーズ］キー | ■ 最後に送信したファクス番号を表示します。<br>■ 詳しくは、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.110）をごらんください。<br>■ 送信するファクス番号にポーズを入れます。 |
| 4 | ［オンフック］キー | ■ 受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと受話器を置いた状態に戻ります。<br>■ 詳しくは、「ファクスを手動送信する」（p.127）をごらんください。 |

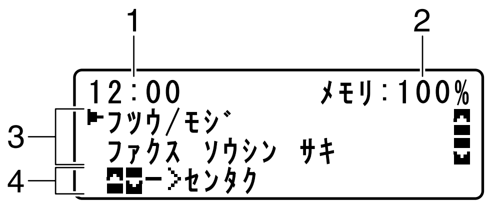
| No. | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 5 | メッセージウィンドウ | ■ 設定メニュー項目やメッセージが表示されます。<br>■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.70）をごらんください。 |
| 6 | ［▲］/［▼］キー | ■ 設定メニューの表示中は、選択マーク（ ▶ ）を上下に移動します。<br>■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.70）をごらんください。 |
| 7 | ［ ◀ ］/［ ▶ ］キー | ■ 設定メニューの表示中は、選択マークを左右に移動します。<br>■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.70）をごらんください。 |
| 8 | ［選択］キー | ■ 選択されているメニュー項目を決定します。<br>■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.70）をごらんください。 |
| 9 | エラーランプ | ■ エラー発生時に点灯します。<br>■ 詳しくは、「エラーメッセージ」（p.210）をごらんください。 |
| 10 | ［戻る］キー | ■ コピー部数や入力した文字を取消します。<br>■ ひとつ前の画面に戻ります。<br>■ 表示されている設定を取消します。<br>■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.70）、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。 |
| 11 | テンキー | ■ コピー部数を入力します。また、ファクス番号、メールアドレス、名前などを入力します。<br>■ 相手先の指定については、「相手先を指定する」（p.94）を、入力方法については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。 |
| 12 | ［ファクス］キー | ■ ファクスができる状態にします。<br>■ ファクスモード時に緑色に点灯します。<br>■ 詳しくは、「ファクスモード画面」（p.40）をごらんください。 |

| No. | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 13 | ［スキャン］キー | ■ スキャンができる状態にします。（スキャンしたデータをメールで送信する、FTP サーバやコンピュータの共有フォルダに送信する、また USB メモリや PC に保存する場合。）<br>■ スキャンモード時に緑色に点灯します。<br>■ スキャン機能については、「プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。 |
| 14 | ［コピー］キー | ■ コピーができる状態にします。<br>■ コピーモード時に緑色に点灯します。<br>■ コピー機能については、「プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。 |
| 15 | ［スタート（モノクロ )］キー | ■ モノクロコピー、モノクロスキャンまたはファクスを開始します。<br>■ 詳しくは、「基本的な送信のしかた」（p.82）、「手動受信（主に電話専用）」（p.156）をごらんください。 |
| 16 | スタートランプ | ■ コピー、スキャンまたはファクスが可能なときは、青色に点灯します。<br>■ 下記の場合は、オレンジ色に点灯します。<br>● ウォーミングアップ中<br>● エラー発生時など、コピー、スキャンまたはファクスが不可能なとき<br>● 操作パネルメニュー設定中<br>● スキャンキー、ファクスキーを押し下げたとき |
| 17 | ［スタート（カラー)］キー | ■ カラーコピー、カラースキャンまたはファクスを開始します。<br>■ 詳しくは、「基本的な送信のしかた」（p.82）、「手動受信（主に電話専用）」（p.156）をごらんください。 |

| No. | 名称 | 機能 |
| --- | --- | --- |
| 18 | ［ストップ / リセット］キー | ■ 変更した設定を取消します。<br>■ 機能を停止します。<br>■ 詳しくは、「基本的な送信のしかた」（p.82）をごらんください。 |

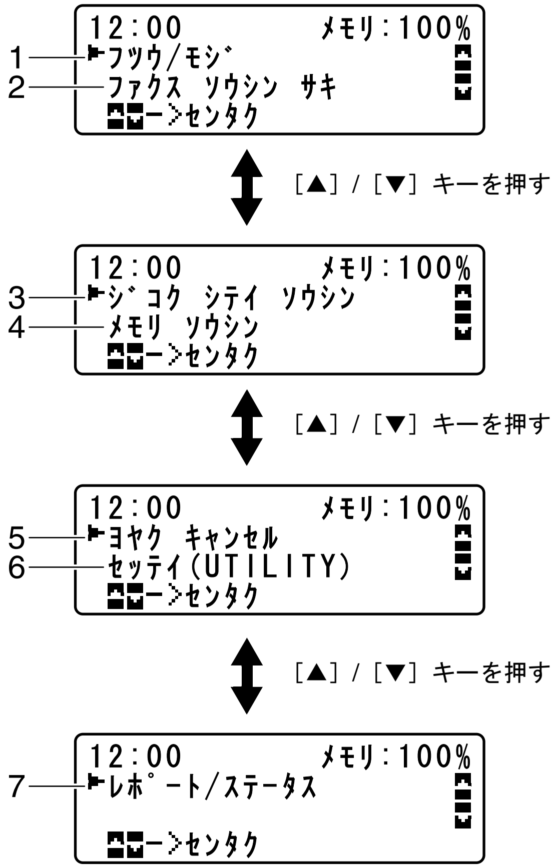
# ファクスモード画面

## メイン画面（ファクスモード）




| No. | 表示 | 詳細 |
|---|---|---|
| 1 | 時刻 | 現在の時刻が表示されます。時刻の設定は、設定メニューの「ｾｯﾃｲ（UTILITY）/ ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ / ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ / ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ」で行います。 |
| 2 | 使用可能メモリ | 使用可能なメモリ容量をパーセント（%）で表示します。 |
| 3 | ファクス設定 | 現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、「ファクス設定」（p.41）をごらんください。 |
| 4 | ステータス | 使用状況に応じてメッセージが表示されます。 |

■ ファクス設定




| No. | 表示 | 詳細 |
|---|---|---|
| 1 | ファクス品質 | 設定されているファクス品質が表示されます。ファクス品質の設定方法について詳しくは、「送信設定メニュー」(p.65)、「画質を調整する」(p.90)をごらんください。 |

| No. | 表示 | 詳細 |
|---|---|---|
| 2 | ファクス送信先 | 設定されているファクス送信先が表示されます。送信先の設定方法について詳しくは、「相手先を指定する」（p.94）、「複数の相手先を指定する」（p.112）をごらんください。<br><br>送信先が設定されていない場合は「ﾌｧｸｽ ｿｳｼﾝ ｻｷ」と表示されます。 |
| 3 | タイマー送信 | タイマー送信を実行する時刻を設定します。詳しくは、「指定した時間にファクスを送信する（タイマー送信）」（p.118）をごらんください。 |
| 4 | 送信モード | 設定されているファクス送信モードが表示されます。送信モードの設定方法について詳しくは、「送信設定メニュー」（p.65）、「メモリ送信とクイック送信について」（p.124）をごらんください。 |
| 5 | ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ | 送信待ち状態になっているジョブの一覧を表示し、ジョブを取り消します。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。<br><br>ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。 |
| 6 | ｾｯﾃｲ (UTILITY) | 本機の各種設定を変更します。詳しくは、「設定メニュー」（p.52）をごらんください。<br><br>ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。 |
| 7 | ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ | 本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷することができます。詳しくは、「通信管理」（p.195）をごらんください。<br><br>ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。 |

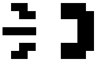
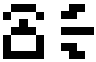
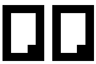
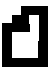
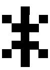
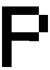
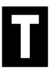
## ファクスモードへ切り替えるには

ファクス機能を使うときは、［ファクス］キーが緑色に点灯していることを確認します。

緑色に点灯していない場合は、［ファクス］キーを押してファクスモードに切り替えます。

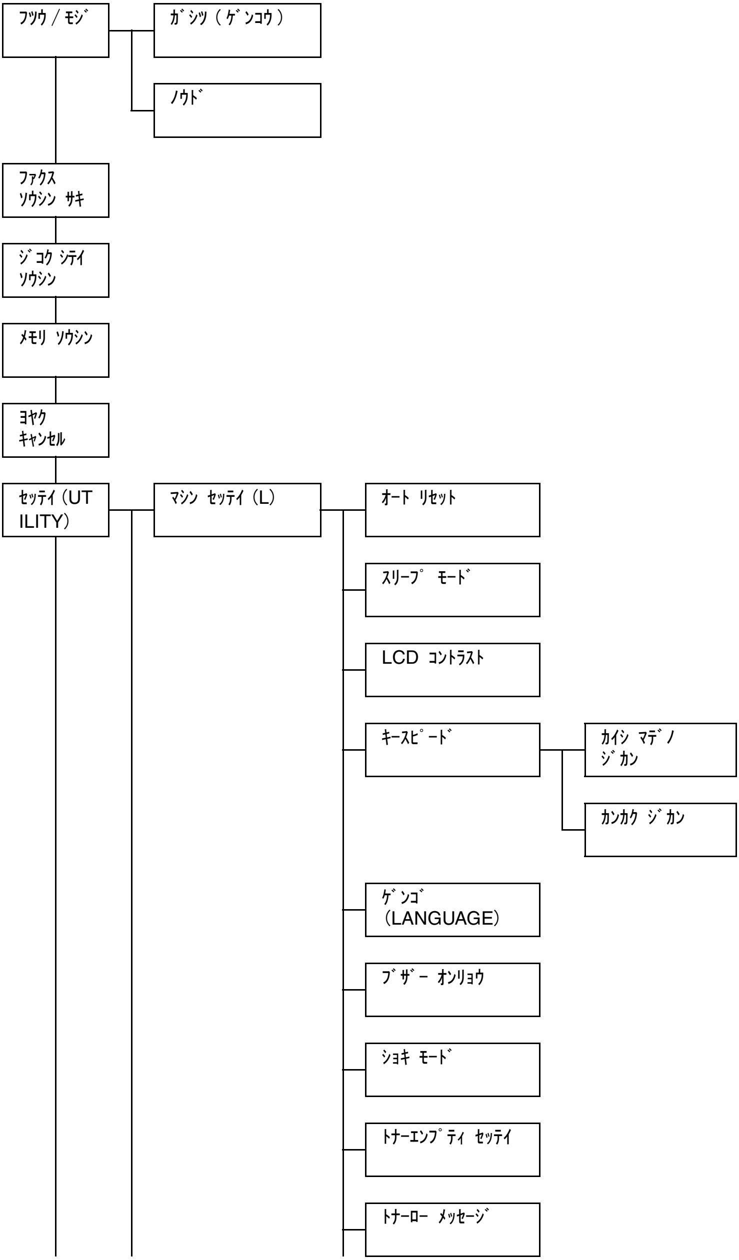
コピーモード中またはスキャンモード中に、［リダイアル / ポーズ］キー、［オンフック］キーを押すと、ファクスモードに切り替わります。

## 画面シンボル一覧

| シンボル | | 説明 |
|---|---|---|
|  | ダイアル中 | 本機が相手先を呼び出しているところです。 |
|  | 着信中 | 着信があり、呼び出されているところです。 |
|  | 送信中 | 原稿が送信されているところです。 |
|  | 受信中 | 相手先からの文書を受信しているところです。 |
|  | 読み込んだ原稿のページ数 | 読み込んだ原稿のページ数がこのシンボルの横に表示されます。 |
|  | トーン | 通信設定でパルスが設定されている場合、このシンボルが表示されているときは、トーンを送出します。 |
|  | ポーズ | ファクス番号中にポーズが挿入されています。 |
|  | タイマー送信予約、一括送信予約あり | タイマー送信、一括送信が予約されています。 |
|  | メモリ受信中 | メモリ受信が設定されています。 |

# 操作パネルのメニュー一覧

本機の操作パネルで設定できるメニューの構成は以下のとおりです。



- ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ
- ｶﾞｿﾞｳﾘﾌﾚｯｼｭ
- ﾘｮｳﾒﾝ ｽﾋﾟｰﾄﾞ
- ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ

- ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ
  - ﾌﾂｳｼ
  - ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ
  - ｱﾂｶﾞﾐ1
  - ｱﾂｶﾞﾐ2
  - ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ
  - ﾌｳﾄｳ
  - ﾊｶﾞｷ
- ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ
  - ｶﾝﾘｼｬ No.
  - ﾘﾓｰﾄ ﾓﾆﾀ
  - ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
    - TCP/IP
    - IP ｱﾄﾞﾚｽ ｾｯﾃｲ
    - DNS ｾｯﾃｲ
    - DHCP

- BOOTP
- ARP/PING
- HTTP
- FTP
- SMB
- BONJOUR
- IPP
- SLP
- SNMP
- SPEED /DUPLEX

- ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ
  - SMTP
  - ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ
  - ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
  - ｹﾝﾒｲ
  - SMTP ｻｰﾊﾞ
  - SMTP ﾎﾟｰﾄ No.
  - SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ

- ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ
- POP BEFORE SMTP
  - ｷﾝｼ / ｷｮｶ
  - POP3 ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ
  - POP3 ﾎﾟｰﾄ No.
  - POP3 ﾀｲﾑｱｳﾄ
  - POP3 ｱｶｳﾝﾄ
  - POP3 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
- SMTP AUTH.
  - ｷﾝｼ / ｷｮｶ
  - SMTP ﾕｰｻﾞ ﾒｲ
  - SMTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

- LDAP ｾｯﾃｲ
  - ｷﾝｼ / ｷｮｶ
  - LDAP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ
  - LDAP ﾎﾟｰﾄ No.
  - SSL ｾｯﾃｲ
  - ｹﾝｻｸ ﾍﾞｰｽ
  - ｿﾞｸｾｲ

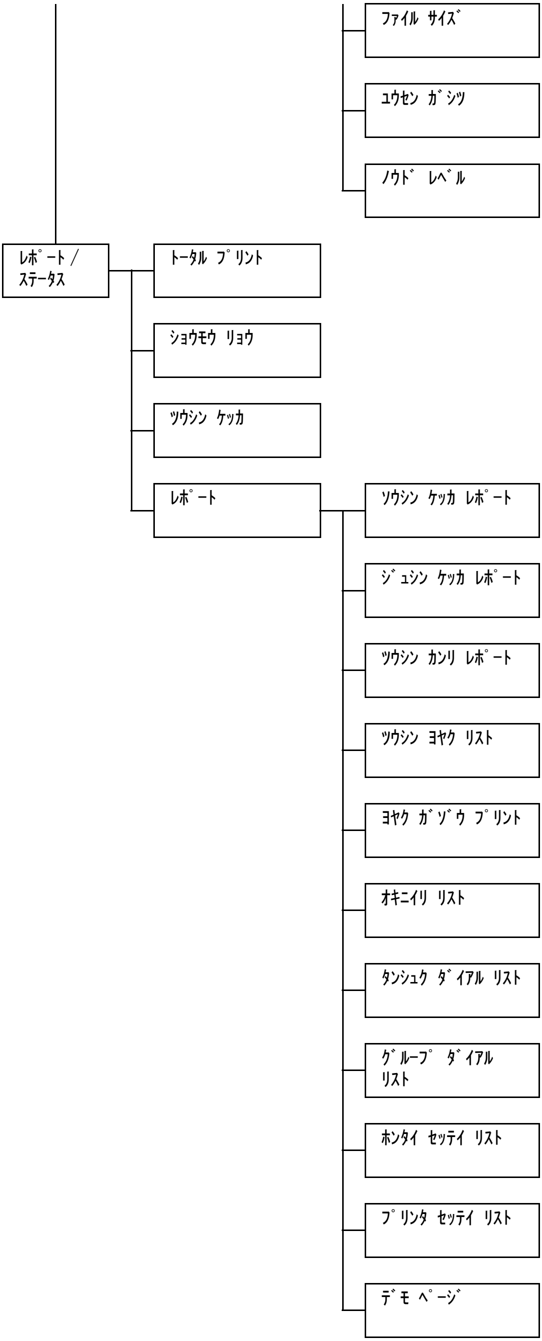
- ｹﾝｻｸ ﾎｳﾎｳ
- LDAP ﾀｲﾑｱｳﾄ
- ｻｲﾀﾞｲ ｹﾝｻｸ ｽｳ
- ﾆﾝｼｮｳ ﾎｳｼｷ
- LDAP ｱｶｳﾝﾄ
- LDAP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
- ﾄﾞﾒｲﾝ ﾒｲ

- USB ｾｯﾃｲ
- ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  - ﾄｰﾝ/ﾊﾟﾙｽ
  - ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ
  - PSTN/PBX
  - ﾃﾞﾝﾜ/ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ
  - ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ
  - ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ
- ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ
  - ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ
  - ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ
  - ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ

- ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ
- ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
- ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ
- ｵｰﾄ ﾘﾀﾞｲｱﾙ
  - ｵｰﾄ ﾘﾀﾞｲｱﾙ ｶｲｽｳ
  - ｶﾝｶｸ ｼﾞｶﾝ
- ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ
  - ﾕｳｾﾝ ﾖｳｼ
  - ﾕｳｾﾝ ｶﾞｼﾂ
  - ﾕｳｾﾝ ﾉｳﾄﾞ
  - ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ
    - ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
    - ﾏﾆｭｱﾙ
  - ﾕｳｾﾝ ｿｰﾄ
  - ﾕｳｾﾝ ﾘｮｳﾒﾝ ｺﾋﾟｰ
- ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ
  - ｵｷﾆｲﾘ
  - ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
  - ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
- ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  - ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ
  - ﾕｳｾﾝ ｶﾞｼﾂ

- ﾕｳｾﾝ ｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
- ﾍｯﾀﾞ

- ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
  - ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
  - ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
  - ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ
  - ｼﾞｭｼﾝﾌﾟﾘﾝﾄ
  - ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
  - ﾃﾝｿｳ
  - ﾌｯﾀ
  - ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
  - ﾃﾝｿｳ ｼﾞｭｼﾝ
- ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
  - ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
  - ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
  - ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
- ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲ
  - ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
  - ｼｭﾂﾘｮｸ ﾌｧｲﾙ ｹｲｼｷ
  - ﾌｺﾞｳｶ ﾎｳｼｷ


ﾌｧｲﾙ ｻｲｽﾞ
ﾕｳｾﾝ ｶﾞｼﾂ
ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ
ﾚﾎﾟｰﾄ/ ｽﾃｰﾀｽ
ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼｮｳﾓｳ ﾘｮｳ
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ
ﾚﾎﾟｰﾄ
ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
ﾂｳｼﾝ ﾖﾔｸ ﾘｽﾄ
ﾖﾔｸ ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｵｷﾆｲﾘ ﾘｽﾄ
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ

# 設定メニュー

常用する設定が初期設定となるように、設定メニューで変更できます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

設定メニューの設定については、「設定メニューを設定する」（p.70）をごらんください。

用紙設定メニュー、コピー設定メニュー、スキャナ設定メニューの設定については、「プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

## 本体設定メニュー

本機の動作や表示に関する設定を行うには、メニューから「ﾏｼﾝｾｯﾃｲ (L)」を選択します。

| | | |
|---|---|---|
| ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄ | 設定 | ｵﾌ / 30sec / **1min** / 2min / 3min / 4min / 5min |
| | 本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき、全ての設定を取り消し、初期設定に戻すかどうかを選択します。<br>自動リセット機能を設定するには、30sec（秒）、1min、2min、3min、4min、5min（分）からオートリセットがはたらくまでの時間を選択します。<br>ｵﾌを選択した場合、自動リセット機能ははたらきません。 | |
| ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ | 設定 | 5min / 15min / **30min** / 60min |
| | 本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間を設定します。<br>単位は分です。 | |
| LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ | 設定 | （薄い）□□■□□（濃い） |
| | メッセージウィンドウの明るさを設定します。 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ｷｰｽﾋﾟｰﾄﾞ | ｶｲｼ ﾏﾃﾞﾉ ｼﾞｶﾝ | 設定 | 0.1sec / 0.3sec / 0.5sec / **1.0sec** / 1.5sec / 2.0sec / 2.5sec / 3.0sec |
| | | キーの長押しにより、カーソルが連続移動を開始するまでの時間（単位：秒）を設定します。 | |
| | ｶﾝｶｸ ｼﾞｶﾝ | 設定 | **0.1sec** / 0.3sec / 0.5sec / 1.0sec / 1.5sec / 2.0sec / 2.5sec / 3.0sec |
| | | カーソルが各項目や文字挿入位置を連続移動する際の移動間隔を設定（単位：分）します。 | |
| ｹﾞﾝｺﾞ（LANGUAGE） | | 設定 | English / French / German / Italian / Spanish / Portuguese / Russian / Czech / Slovak / Hungarian / Polish / **Japanese（ﾆﾎﾝｺﾞ）** |
| | | メッセージウィンドウの表示言語を、選択した言語に切り替えることができます。<br><br>文字が正しく表示されないため、「English」および「Japanese（ﾆﾎﾝｺﾞ）」以外の言語は選択しないでください。 | |
| ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ | | 設定 | ｵﾌ / ｼｮｳ / ﾀﾞｲ |
| | | 警告音とキーを押したときの確認音の音量を設定します。 | |
| ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ | | 設定 | ｺﾋﾟｰ / ﾌｧｸｽ |
| | | 本機の電源をオンした後またはオートリセット後のモードを設定します。 | |
| ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ ｾｯﾃｲ | | 設定 | **ｵﾝ** / ｵﾌ |
| | | トナーが無くなったときに、印刷、コピー、ファクスの印刷を停止するか (ｵﾝ)、続行するか（ｵﾌ）を設定できます。<br><br>■ ｵﾝ：トナーが無くなったときに、印刷、コピー、ファクスの印刷を停止します。<br><br>■ ｵﾌ：トナーが無くなったときでも、印刷、コピー、ファクスの印刷を継続できますが印刷結果は保証されません。<br>その後も印刷、コピー、ファクスを続けると、「ﾄﾅｰ ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ /x ﾄﾅｰｦｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」を表示し、印刷、コピー、ファクスを停止します。 | |
| ﾄﾅｰﾛｰ ﾒｯｾｰｼﾞ | | 設定 | **ｵﾝ** / ｵﾌ |
| | | トナーの残りが少なくなると、メッセージが表示されます。 | |

| | | |
|---|---|---|
| ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ | 設定 | ｵﾝ / **ｵﾌ** |
| | 「ｵﾝ」に設定すると、用紙エラーが発生しているときでも印刷を継続します。<br>「ｵﾌ」に設定すると、用紙エラーが発生すると印刷を中止します。ただし、用紙エラーを検知するまで数枚印刷する場合があります。 | |
| ｶﾞｿﾞｳ ﾘﾌﾚｯｼｭ | 設定 | ｵﾝ / **ｵﾌ** |
| | 印刷した画像に周期的な白薄い横線が入る場合に使用します。<br>この機能を使用すると、トナーが消費されますのでご注意ください。 | |
| ﾘｮｳﾒﾝ ｽﾋﾟｰﾄﾞ | 設定値 | **ｵｰﾄ** / ｽﾋﾟｰﾄﾞ ﾕｳｾﾝ / ｶﾞｼﾂ ﾕｳｾﾝ |
| | 両面印刷時の印刷速度を設定します。<br>■ ｵｰﾄ : 印刷速度は自動的に設定されます。<br>■ ｽﾋﾟｰﾄﾞ ﾕｳｾﾝ : 印刷速度を優先しますが、印刷品質が低下することがあります。<br>■ ｶﾞｼﾂ ﾕｳｾﾝ : 印刷品質を優先するため、印刷速度は下がりますが、印刷品質が向上することがあります。 | |
| ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ | 設定 | ｵﾝ / **ｵﾌ** |
| | 画像階調を補正します。<br>「ｵﾝ」に設定すると、画像階調の補正を開始します。<br>この機能を使用すると、トナーが消費されますのでご注意ください。 | |

## 管理者設定メニュー

ネットワークに関する設定など、本機の管理者設定を行うには、設定メニューから「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」を選択します。

「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」は管理者専用の設定メニューです。このメニューの設定項目を表示するには、「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」を選択後、テンキーで 6 桁の管理者番号（初期値：000000）を入力してから［選択］キーを押してください。

<table>
<tr><td colspan="2">ｶﾝﾘｼｬ No.</td><td colspan="2">新しい管理者番号を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ﾘﾓｰﾄ ﾓﾆﾀ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">リモートモニタ機能を使用するかどうかを設定します。<br>■ ｵﾝ：テクニカルサポートによるメニューモードへのアクセスが可能になります。<br>■ ｵﾌ：テクニカルサポートによるメニューモードへのアクセスはできません。<br>この設定はテクニカルサポートが使用するためのものです。通常は設定を変更しないでください。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ</td><td rowspan="2">TCP/IP</td><td>設定</td><td>ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">本機のネットワーク接続を禁止するか、許可するかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">IP ｱﾄﾞﾚｽ ｾｯﾃｲ</td><td>設定</td><td>ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ / ｺﾃｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワーク上で本機が使用する IP アドレスを設定します。<br>■ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ：IP アドレスが自動的に取得されます。<br>■ ｺﾃｲ：「IP ｱﾄﾞﾚｽ」、「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」、「ｹﾞｰﾄｳｪｲ」を手動で入力して設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DNS ｾｯﾃｲ</td><td>設定</td><td>ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">DNS（ドメインネームシステム）を禁止するか、許可するかを設定します。<br>「ｷｮｶ」を選択した場合、DNS サーバのアドレスを 3 つまで指定することができます。</td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ | DHCP | 設定 | ｷﾝｼ / **ｷｮｶ** |
| | | ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を DHCP サーバから自動的に取得するかどうかを設定します。 | |
| | BOOTP | 設定 | **ｷﾝｼ** / ｷｮｶ |
| | | ネットワーク上に BOOTP サーバが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を BOOTP サーバから自動的に取得するかどうかを設定します。 | |
| | ARP/PING | 設定 | **ｷﾝｼ** / ｷｮｶ |
| | | IP アドレスの取得時に ARP/PING コマンドを使用するかしないかを設定します。 | |
| | HTTP | 設定 | ｷﾝｼ / **ｷｮｶ** |
| | | HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | FTP | 設定 | ｷﾝｼ / **ｷｮｶ** |
| | | FTP（ファイル転送プロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | SMB | 設定 | ｷﾝｼ / **ｷｮｶ** |
| | | SMB（サーバメッセージブロック）を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | BONJOUR | 設定 | ｷﾝｼ / **ｷｮｶ** |
| | | Bonjour（ボンジュール）を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | IPP | 設定 | ｷﾝｼ / **ｷｮｶ** |
| | | IPP（インターネットプリンティングプロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。<br>「HTTP」を「ｷﾝｼ」に設定している場合は、IPP は設定できません。 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ | SLP | 設定 | ｷﾝｼ ／ ｷｮｶ |
| | | SLP（サービスロケーションプロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | SNMP | 設定 | ｷﾝｼ ／ ｷｮｶ |
| | | SNMP（シンプルネットワークマネージメントプロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | SPEED/DUPLEX | 設定 | ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ ／ 10BASE-T FULL ／ 10BASE-T HALF ／ 100BASE-TX FULL ／ 100BASE-TX HALF |
| | | 通信速度と双方向通信の通信方式を設定します。 | |
| ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ | SMTP | 設定 | ｷﾝｼ ／ ｷｮｶ |
| | | 本機のメール送信機能を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ | メールの送信者名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。<br>初期設定は「magicolor_1690MF」です。 | |
| | ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ | メール送信者のメールアドレス（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 | |
| | ｹﾝﾒｲ | メールで使用する件名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。<br>初期設定は「From mc1690MF」です。 | |
| | SMTP ｻｰﾊﾞ | SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。<br>初期設定は「0.0.0.0」です。 | |
| | SMTP ﾎﾟｰﾄ No. | 設定 | 1 ～ 65535（初期設定：25） |
| | | SMTP サーバのポートを設定します。 | |
| | SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ | 設定 | 30 ～ 300sec（初期設定：60sec） |
| | | SMTP サーバのタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ | ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ | | 設定 | **ｵﾌ** / ｵﾝ |
| | | | 規定テキストをメッセージの本文に挿入するかどうかを設定します。<br>「ｵﾝ」に設定した場合、以下のテキストがメッセージの本文に挿入されます。<br>The attachment file is a **** format file.<br>Image data (**** format) has been attached to the email.<br>**** : 選択されているファイル形式が表示されます。 | |
| | POP BEFORE SMTP | ｷﾝｼ / ｷｮｶ | 設定 | **ｷﾝｼ** / ｷｮｶ |
| | | | POP Before SMTP を禁止するか、許可するかを設定します。<br>「ｷｮｶ」に設定した場合は、時間（単位 : 秒）を設定します。設定範囲は 0 ～ 60sec（初期設定 : 5sec）です。 | |
| | | POP3 ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ | POP Before SMTP 認証で使用する POP3 サーバの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。<br>初期設定は「0.0.0.0」です。 | |
| | | POP3 ﾎﾟｰﾄ No. | 設定 | 1 ～ 65535（初期設定 : 110） |
| | | | POP3 サーバとの通信に使用するポートを設定します。 | |
| | | POP3 ﾀｲﾑｱｳﾄ | 設定 | 30 ～ 300sec（初期設定 : 30sec） |
| | | | POP3 サーバのタイムアウト時間（単位 : 秒）を設定します。 | |
| | | POP3 ｱｶｳﾝﾄ | POP3 サーバ認証で使用するユーザ名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。 | |
| | | POP3 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ | POP3 サーバ認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ | SMTP AUTH. | ｷﾝｼ / ｷｮｶ | 設定 | ｷﾝｼ / ｷｮｶ |
| | | | SMTP 認証を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | | SMTP ﾕｰｻﾞ ﾒｲ | SMTP 認証で使用するユーザ名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。 | |
| | | SMTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ | SMTP サーバ認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。 | |
| LDAP ｾｯﾃｲ | ｷﾝｼ / ｷｮｶ | | 設定 | ｷﾝｼ / ｷｮｶ |
| | | | LDAP 機能を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | LDAP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ | | LDAP サーバの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。<br>初期設定は「0.0.0.0」です。 | |
| | LDAP ﾎﾟｰﾄ No. | | 設定 | 1 ～ 65535（初期設定：389） |
| | | | LDAP サーバのポートを設定します。 | |
| | SSL ｾｯﾃｲ | | 設定 | ｷﾝｼ / ｷｮｶ |
| | | | SSL 通信を禁止するか、許可するかを設定します。 | |
| | ｹﾝｻｸ ﾍﾞｰｽ | | LDAP サーバのディレクトリから、検索開始位置（英数字、記号で最大 64 文字）を指定します。 | |
| | ｿﾞｸｾｲ | | 名前またはメールアドレスを検索する際に使用する属性（英数字、記号で最大 32 文字）を設定します。<br>初期設定は「cn」です。 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| LDAP ｾｯﾃｲ | ｹﾝｻｸ ﾎｳﾎｳ | 設定 | ﾊｼﾞﾏﾙ / **ﾌｸﾑ** / ｵﾜﾙ |
| | | 検索方法を設定します。<br><br>「ﾊｼﾞﾏﾙ」を設定した場合は、指定した文字で始まっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。<br><br>「ﾌｸﾑ」を設定した場合は、指定した文字が含まれている名前またはメールアドレスが検索されます。<br><br>「ｵﾜﾙ」を設定した場合は、指定した文字で終わっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。 | |
| | LDAP ﾀｲﾑｱｳﾄ | 設定 | 5 ～ 300sec（初期設定：60sec） |
| | | 検索のタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。 | |
| | ｻｲﾀﾞｲ ｹﾝｻｸ ｽｳ | 設定 | 5 ～ 100（初期設定：100） |
| | | 検索結果の最大表示件数を設定します。 | |
| | ﾆﾝｼｮｳ ﾎｳｼｷ | 設定 | **ﾄｸﾒｲ** / SIMPLE / DIGEST-MD5 / GSS-SPNEGO |
| | | LDAP サーバのログインに使用する認証方式を設定します。 | |
| | LDAP ｱｶｳﾝﾄ | LDAP サーバへの接続に使用するユーザ名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 | |
| | LDAP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ | LDAP サーバへの接続に使用するパスワード（英数字、記号で最大 32 文字）を入力します。 | |
| | ﾄﾞﾒｲﾝ ﾒｲ | LDAP サーバへの接続に使用するドメイン名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 | |
| USB ｾｯﾃｲ | | 設定 | **Windows** / Mac |
| | | 本機と USB ケーブルで接続しているコンピュータのオペレーティングシステムを選択します。 | |

<table>
<tr><td rowspan="8">ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ</td><td rowspan="2">ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ</td><td>設定</td><td>ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線の種類を選択します。回線の種類が正しく選択されていないと、ファクス通信はできません。<br><br>ご使用の回線の種類を確認してから、設定してください。<br><br>ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲの「ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「U.S.A」、「Canada」、「New Zealand」の場合、設定は変更できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｼｮｳ / ﾀﾞｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線モニタ音の音量を選択します。<br><br>「ｵﾌ」に設定している場合でも、[オンフック] キーを押したときにはモニタ音が聞こえます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PSTN/PBX</td><td>設定</td><td>PSTN / PBX</td></tr>
<tr><td colspan="2">PSTN または PBX は、ご利用の環境に合わせて選択します。<br><br>■ PSTN : ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択します。<br><br>■ PBX : ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。「PBX」を選択した場合は、外線発信番号を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信後、自動的に電話着信とファクス受信を切り替える機能です。電話機を接続した場合に設定します。<br><br>■ ｵﾌ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は応答音だけ相手に返します。<br><br>■ ｵﾝ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は呼び出し音が鳴ります。<br><br>ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ」に設定します。</td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ | ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ | 設定 | 5sec / 10sec / 15sec / **20sec** / 25sec / 30sec / 60sec / 90sec / 120sec / 150sec / 180sec /240sec |
| | | 電話の呼び出し時間（秒）を設定します。「ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵﾝ」の場合に設定が有効になります。 | |
| | ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ | 設定 | **ｵﾌ** / ｵﾝ |
| | | 電話機の留守番電話機能を使う場合に設定します。<br>「ｵﾝ」に設定した場合、留守番電話応答中にファクス信号を検出するとファクス受信に切替えます。<br>ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ」に設定します。「ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵﾌ」に設定してください。 | |
| ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ | ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ | 設定 | Argentina / Australia / Austria / Belgium / Brazil / Canada / China / Czech / Denmark / Europe / Finland / France / Germany / Greece / Hong Kong / Hungary / Ireland / Israel / Italy / Japan / Korea / Malaysia / Mexico / Netherlands / New Zealand / Norway / Philippines / Poland / Portugal / Russia / Saudi Arabia / Singapore / Slovakia / South Africa / Spain / Sweden / Switzerland / Taiwan / Turkey / U.S.A / United Kingdom / Vietnam |
| | | 本機を設置した国を設定します。 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ | ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ | 設定 | ｼﾞｶﾝ：00:00 ～ 23:59<br>ﾋﾂﾞｹ：00/01/01 ～ 99/12/31<br>ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ：GMT+12:00 ～ GMT-12:00（30 分間隔） |
| | | 現在の日時およびタイムゾーンをテンキーで入力します。<br>「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ / ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「U.S.A」または「Canada」に設定されている場合、サマータイムに合わせて自動的に時刻が変更されます。（開始日：4 月の第 1 日曜日午前 2 時、終了日：10 月の最終日曜日午前 2 時） | |
| | ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ | 設定 | **MM/DD/YY** ／ DD/MM/YY ／ YY/MM/DD |
| | | レポートやリストの日時表示の形式を選択します。 | |
| | ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ | 設定 | ｲﾝﾁ／ **ﾒﾄﾘｯｸ** |
| | | ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。 | |
| | ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ | 本機のファクス番号を入力します。数字、スペース、＋、- で 20 桁まで入力できます。<br>ここで設定したファクス番号が送信先の文書のヘッダに印刷されます。 | |
| | ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ | 発信元名を入力します。英数字、記号で最大 32 文字まで入力できます。<br>ここで設定した発信元名が送信先の文書のヘッダに印刷されます。 | |
| ｵｰﾄ ﾘﾀﾞｲｱﾙ | ｵｰﾄ ﾘﾀﾞｲｱﾙ ｶｲｽｳ | 設定 | 1 ～ 10（初期値：1 回） |
| | | 相手が通話中などで応答できない場合にリダイアルする回数を 1 ～ 10 回の間で設定します。 | |
| | ｶﾝｶｸ ｼﾞｶﾝ | 設定 | 2 ～ 99（初期値：2 分） |
| | | リダイアルの間隔を 2 ～ 99 分の間で設定します。 | |

## ダイアル登録メニュー

お気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルを登録するには、設定メニューから「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択します。

| | |
|---|---|
| ｵｷﾆｲﾘ | よく使う短縮ダイアル番号またはグループダイアルを、お気に入りに登録します。［登録宛先］キーを押し、［▼］／［▲］キーですばやく指定できます。<br>お気に入りは最大 20 件登録できます。<br>詳しくは、「お気に入り」（p.169）をごらんください。 |
| ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ | よく使うファクス番号またはメールアドレスを、短縮ダイアル番号に登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。<br>短縮ダイアル番号はファクス番号または E メールで最大 220 件、FTP アドレスまたは SMB アドレスで最大 30 件登録できます。<br>詳しくは、「短縮ダイアル」（p.176）をごらんください。 |
| ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ | よく使う同報相手先を、グループダイアルに登録します。グループダイアル番号を指定するだけで、複数相手先を呼び出せます。<br>1 つのグループダイアルに、最大 50 件登録できます。<br>グループダイアルは最大 20 件登録できます。<br>詳しくは「グループダイアル」（p.184）をごらんください。 |

## 送信設定メニュー

ファクス送信に関する設定を行うには、設定メニューから「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」を選択します。

| | | |
|---|---|---|
| ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ | 設定 | （薄い）（濃い） |
| | 原稿をスキャンするときの濃度を設定します。<br>送信時に、ここで設定した初期値から濃度レベルを変更する場合については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。 | |
| ﾕｳｾﾝ ｶﾞｼﾂ | 設定 | **ﾌﾂｳ / ﾓｼﾞ**、ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ、S- ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ、ﾌﾂｳ / ｼｬｼﾝ、ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ、S- ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ |
| | スキャン解像度（ファクス画質）の初期値を選択します。<br>■ ﾌﾂｳ / ﾓｼﾞ ：手書きやコンピュータからの印刷などを含む通常の原稿の場合に設定します。（標準 / テキスト）<br>■ ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ ：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。（ファイン / テキスト）<br>■ S- ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ ：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。（スーパーファイン / テキスト）<br>■ ﾌﾂｳ / ｼｬｼﾝ：通常の写真原稿の場合に設定します。（標準 / 写真）<br>■ ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ：細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。（ファイン / 写真）<br>■ S- ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ: さらに細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。（スーパーファイン / 写真）<br>送信時に、ここで設定した初期値から解像度を変更する場合については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。 | |

| | | |
|---|---|---|
| ﾕｳｾﾝ ｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ | 設定 | **ﾒﾓﾘ ｿｳｼﾝ** / ｸｲｯｸ ｿｳｼﾝ |
| | 原稿を送信する方法を選択します。<br>■ ﾒﾓﾘ ｿｳｼﾝ：あらかじめすべての原稿を読込み、メモリに蓄積してからファクス送信する方法です。ヘッダのページ数に自動的に総ページ数が付けられます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の読取り画質（解像度）が細密なために情報量が多い場合はメモリオーバーすることがあります。<br>メモリ送信データはメモリに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。<br>■ ｸｲｯｸ ｿｳｼﾝ：相手局との通信シーケンスに従い、リアルタイムでの通信する方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリオーバーすることなく送信できます。<br>送信時に、ここで設定した初期値から送信モードを変更する場合については、「メモリ送信とクイック送信について」（p.124）をごらんください。 | |
| ﾍｯﾀﾞ | 設定 | ｵﾌ / **ｵﾝ** |
| | 送信先の文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セッション番号、ページ番号）を印字するかどうかを設定します。 | |

## 受信設定メニュー

ファクス受信に関する設定を行うには、設定メニューから「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」を選択します。

| | | |
|---|---|---|
| ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ | 設定 | **ｵﾌ** / ｵﾝ |
| | 機密文書の受信の場合、夜間などの無人時に印刷出力したくない場合にメモリ受信する（ｵﾝ）かしない（ｵﾌ）かを設定します。メモリ受信モードが「ｵﾝ」の場合は、受信文書はメモリに蓄積され、指定した時間に出力されます。または、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたときに、出力されます。<br>メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。パスワードは設定をキャンセルするときにも必要になります。<br>詳しくは、「メモリ受信モード（ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ）」（p.71）をごらんください。 | |

| | | |
|---|---|---|
| ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ | 設定 | 0 ～ 15（初期値：2 回） |
| | ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を 0 ～ 15 の間で入力します。<br><br>留守番電話を接続して使用する場合は、設定メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ / ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ /ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、留守番電話機側の応答するまでの呼び出し回数は本設定より短く設定してください。「ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」について詳しくは「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」の「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.61）をごらんください。 | |
| ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ | 設定 | ｵﾌ / **ｵﾝ** / ｶｯﾄ |
| | 本機にセットされている印刷用紙よりも長い文書を受信したときに、縮小するか、分割するか、破棄するかを選択します。<br><br>■ ｵﾝ：縮小して印刷します。<br><br>■ ｵﾌ：等倍で、分割して印刷します。<br><br>■ ｶｯﾄ：用紙に収まらない部分を破棄して印刷します。受信文書の長さと実際に記録される文書の関係については、「受信時の記録方法について」（p.161）をごらんください。 | |
| ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ | 設定 | **ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝ** / ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｭｼﾝ |
| | 受信文書の印刷を、全ページ受信後に印刷を開始するか、1 ページ目を受信後から印刷を開始するかどうかを選択します。<br><br>■ ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝ：全ページを受信後、印刷を開始します。<br><br>■ ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｭｼﾝ：1 ページ目を受信後、印刷を開始します。 | |
| ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ | 設定 | **ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ** / ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ |
| | 受信モードを自動受信にするか、手動受信にするかを選択します。<br><br>■ ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ：ファクスの着信後自動的に受信する場合に設定します。<br><br>■ ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ：ファクスの着信後自動的に受信しません。外付け電話機の受話器を上げるか［オンフック］キーを押してから、［スタート］キーを押すと、受信が開始されます。 | |

<table>
<tr><td rowspan="2">ﾃﾝｿｳ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ / ｵﾝ（ﾌﾟﾘﾝﾄ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信した文書を転送するかどうかを選択します。<br><br>受信設定メニューで「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵﾝ」に設定されている場合は転送できません。また、受信設定メニューで「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ」に設定されている場合も転送できません。<br><br>■ ｵﾌ : 転送しません。<br>■ ｵﾝ : 受信した文書を指定したファクス番号、メールアドレスに転送します。<br>■ ｵﾝ（ﾌﾟﾘﾝﾄ）: 受信した文書を指定したファクス番号、メールアドレスに転送すると同時に、本機でプリントします。<br><br>メールアドレスに転送する場合、TIFF データがメールに添付されます。<br><br>設定のしかたについては、「転送設定をする」（p.78）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾌｯﾀ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を文書の下部に印字するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>ﾄﾚｲ 1/ ﾄﾚｲ 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書やレポートを印刷するときに、どちらの給紙トレイを使うか選択します。<br><br>オプションの給紙ユニットが装着されていない場合は、ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸは設定されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾃﾝｿｳ ｼﾞｭｼﾝ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">外付け電話機を本機に接続している場合のファクス着信時に、外付け電話機のダイアルから、電話を切らずにファクス受信の指示をする機能を転送受信といいます。<br><br>この設定では転送受信をするかしないかを選択できます。<br><br>「ｵﾝ」に設定する場合は、転送受信時に使用するダイアル番号を設定します。</td></tr>
</table>

## レポート設定メニュー

レポート機能に関する設定を行うには、設定メニューから「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」を選択します。

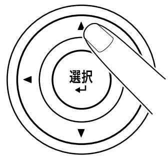
<table>
<tr><td rowspan="2">ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">通信管理レポートを印刷するかどうかを設定します。<br>「ｵﾝ」に設定すると、通信 60 件ごとに、印刷されます。<br><br>通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾝ（ｴﾗｰ）/ ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファクス送信終了後に、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。<br><br>■ ｵﾝ : 送信終了毎に印刷します。<br><br>■ ｵﾝ（ｴﾗｰ）: エラーになった送信の場合にのみ印刷します。<br><br>送信エラーとなった文書の 1 ページ目を縮小し、エラー結果とともに印刷します。<br><br>■ ｵﾌ : エラーになったときでも印刷しません。<br><br>同報送信の場合は、常に送信結果レポートがプリントされます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾝ（ｴﾗｰ）/ ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファクス受信終了後に、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。<br><br>■ ｵﾝ : 受信終了毎に印刷します。<br><br>■ ｵﾝ（ｴﾗｰ） : エラーになった受信の場合にのみ印刷します。<br><br>■ ｵﾌ : エラーになったときでも印刷しません。</td></tr>
</table>

その他の設定メニューについては「プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

# 設定メニューを設定する

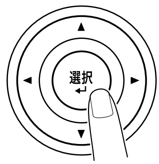
## 一般的な設定メニューの設定のしかた

1 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」へ移動させ、［選択］キーを押します。



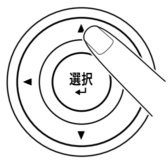


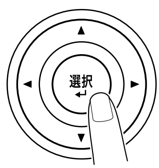




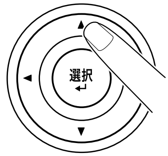

2 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を目的のメニューへ移動させます。［選択］キーを押し、表示されているメニューの設定画面を表示させます。

44 ページのメニューツリーを参照して、目的のメニューを探してください。

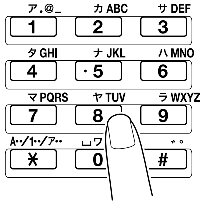


3 設定値が画面に表示されている場合、[▼] キー、[▲] キー、[ ▶ ] キー、[ ◀ ] キーのいずれかを押して選択します。




設定値を入力する場合、キーパッドで数値を入力します。




4 [選択] キーを押します。
設定が確定されます。




設定をキャンセルしたいときは、[戻る] キーを押します。

## メモリ受信モード（ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ）

受信文書をメモリに蓄積し、指定した時間に出力することができます。機密文書を受信することがある場合などに便利です。

メモリ受信データはメモリに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。

メモリ受信モードは以下の設定で使用できます。

■ 開始／終了時間設定：なし

メモリ受信モードは常にオンになります。メモリに保存されたファクスを印刷する場合は、メモリ受信モードを「ｵﾌ」に設定します。

■ 開始／終了時間設定：あり

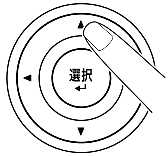
設定した時間にメモリ受信モードを開始／終了します。

例 1：開始時間 =18:00、終了時間 = 8:00 の場合
18:00 ～ 8:00 の間メモリ受信モードになり、8:00 ～ 18:00 は受信後印刷される通常の受信になります。
メモリに保存された文書は 8:00 に印刷されます。

例 2：開始時間 =12:00、終了時間 =12:00（開始時間と終了時間が同じ）場合
メモリ受信モードは常にオンになりますが、メモリに保存されたファクスが 12:00 に印刷されます。

## メモリ受信モードを設定する

1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

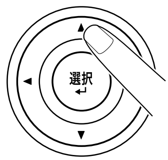


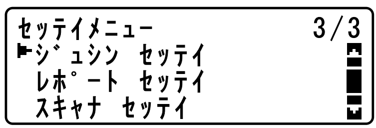


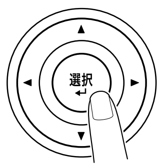




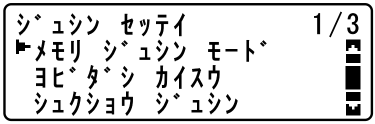

2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

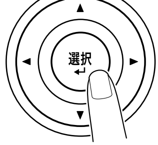


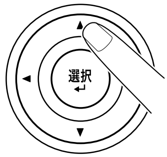



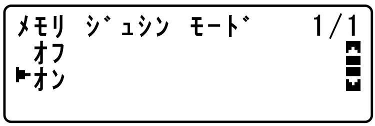
3 「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が選択されていることを確認し、[選択] キーを押します。

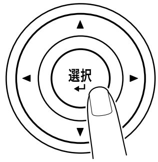



4 [▼] ／ [▲] キーで、「ｵﾝ」を選択し、[選択] キーを押します。

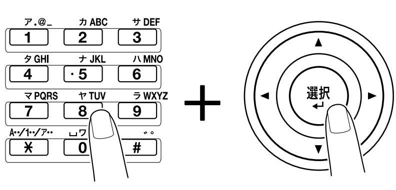


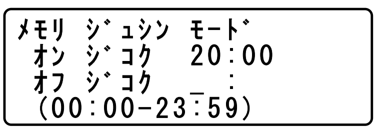



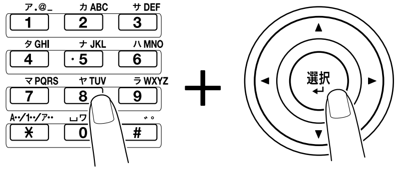

5 テンキーでメモリ受信モードの開始時間を入力し、[選択] キーを押します。
終了時間の入力欄が表示されます。

開始時間を設定しない場合は、時間を入力しないで [選択] キーを押します。
パスワード入力欄が表示されます。手順 7 へ進みます。

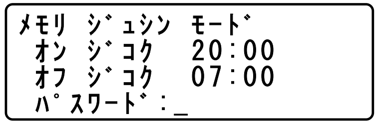


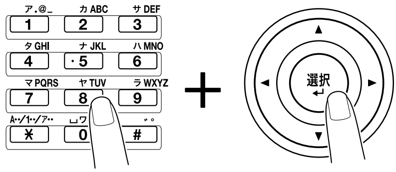
6 テンキーでメモリ受信モードの終了時間を入力し、［選択］キーを押します。




パスワード入力欄が表示されます。




7 テンキーでパスワードを入力し、［選択］キーを押します。
メモリ受信モードが設定されます。

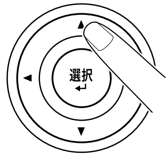



パスワードは、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたり、開始／終了時間を変更するときに必要になります。4 桁の数字を入力してください。

パスワードを設定しない場合は、パスワードを入力しないで［選択］キーを押します。

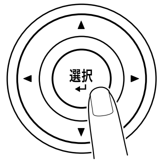
## メモリ受信モードを解除する

1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

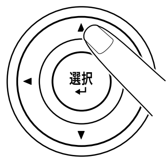


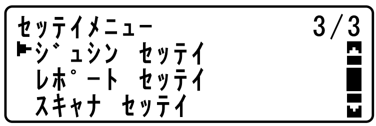


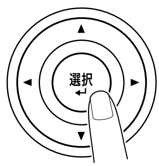




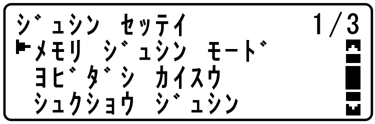

2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

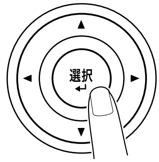


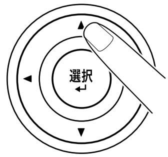



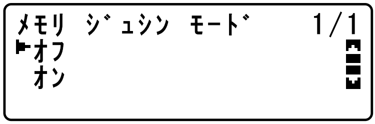
**3** 「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が選択されていることを確認し、[選択]キーを押します。

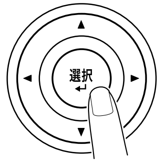


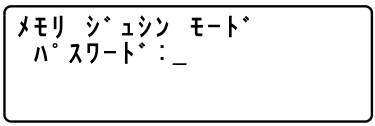

**4** [▼] ／ [▲] キーで、「ｵﾌ」を選択し、[選択] キーを押します。




パスワード入力欄が表示されます。

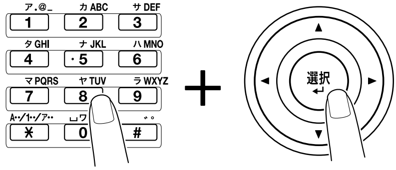



パスワードが設定されていない場合は、メモリ受信モードが解除されます。

5 テンキーでパスワードを入力し、[選択] キーを押します。メモリ受信モードが解除されます。

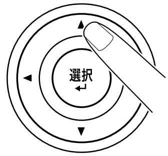


メモリに保存されたファクスがある場合、印刷が開始されます。



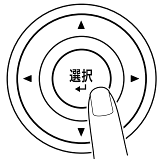
## 転送設定をする

1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

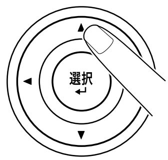


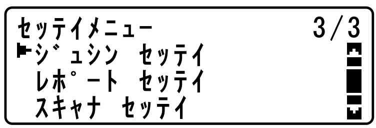


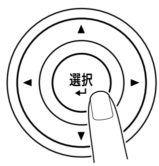




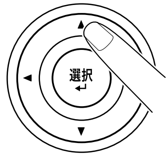

2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

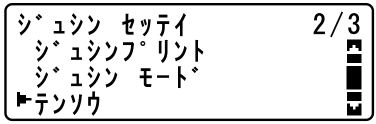


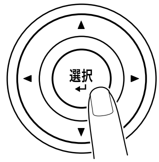



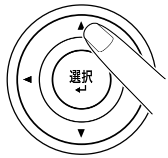
**3** ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾃﾝｿｳ」を選択し、［選択］キーを押します。
ﾃﾝｿｳ画面が表示されます。

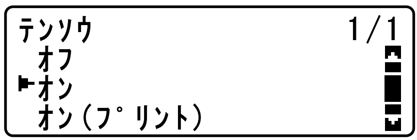



**4** ［▼］／［▲］キーで、「ｵﾝ」または「ｵﾝ（ﾌﾟﾘﾝﾄ）」を選択し、［選択］キーを押します。



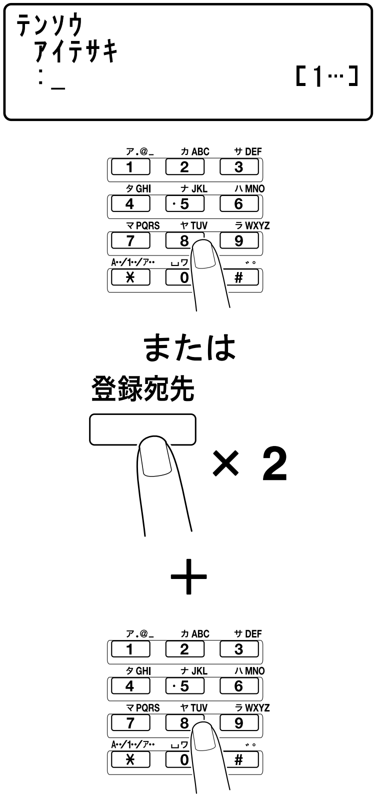



5 相手先を入力、または、短縮ダイアルから指定します。

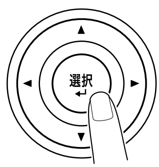
追加文字の入力/修正については、「入力のしかた」(p.216)をごらんください。

短縮ダイアルで指定する場合は、[登録宛先]キーを押し、短縮ダイアル番号を入力し、[選択]キーを押します。

メールの相手先も指定できます。




6 [選択]キーを押します。
転送が設定されます。



# ファクスを送信する

# 4

# 基本的な送信のしかた

ここでは基本的なファクス送信のしかたを説明しています。

送信可能な用紙サイズは、以下のとおりです。

– 原稿ガラス使用時
  最小サイズ：A5
  最大サイズ：レター
– ADF 使用時
  最小サイズ：140 mm（幅）× 148 mm（長さ）
  最大サイズ：216 mm（幅）× 500 mm（長さ）

A4 サイズ以下の原稿を送信した場合、A4 サイズのデータとして相手先に送信されます。また、A4 サイズより大きい原稿を送信した場合、等倍で相手先に送信されます。受信結果は相手先の受信設定により異なります。

## ADF でファクスを送信する

ADF を使うと、自動的に複数のページの読込みができます。

クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

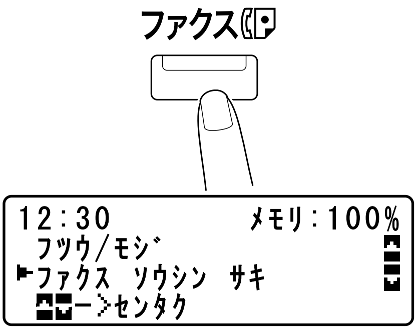
原稿は 35 枚または、マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。

原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

原稿が読み込まれている間は、ADF を開かないでください。

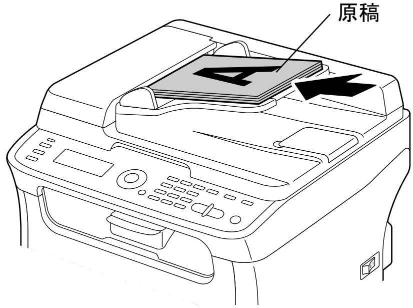
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。

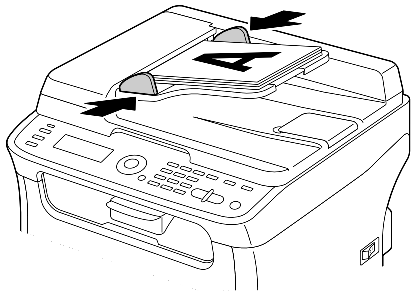


2 原稿ガラスに原稿が残っていないか確認します。

3 原稿の送信する面を上にして、原稿給紙トレイにセットします。

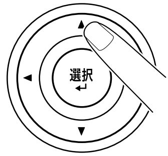



4 ガイド板を原稿のサイズに合わせます。



5 画質を調整します。

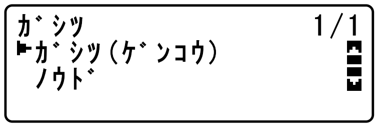
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。










6 ファクスモード画面が表示されていることを確認し、相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

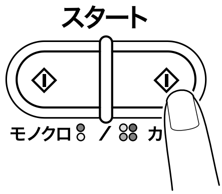
– 直接入力する
– お気に入りを使う
– 短縮ダイアル番号を使う
– グループダイアル機能を使う
– 検索機能（リスト／検索）を使う
– ［リダイアル / ポーズ］キーを使う

ファクスモード画面については、「ファクスモード画面」（p.40）をごらんください。

相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」（p.94）をごらんください。［リダイアル / ポーズ］キーの使い方については、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.110）

複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.112）をごらんください。

7 ［スタート］キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。




送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ」（p.201）をごらんください。

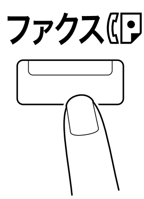
読み込んでメモリに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、メニューの「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」機能で削除できます。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。

メモリ送信データはメモリに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。

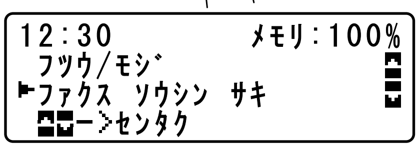
メモリ残量が少なくなると、原稿の読み込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読み込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、送信が始まります。読み込んだ分の送信が完了すると、原稿の読み込みが再開されます。

## 原稿ガラスでファクスを送信する

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。



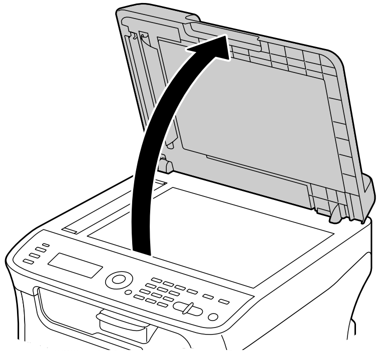

初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。



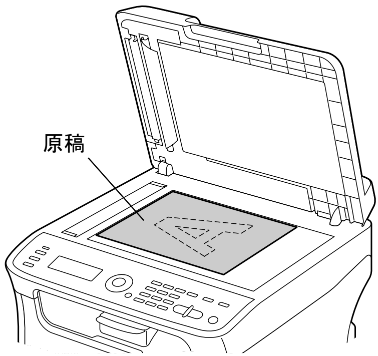
2 ADF に原稿が残っていないか確認します。

原稿ガラスを使って読み込みするときは、ADF に原稿をセットしないでください。

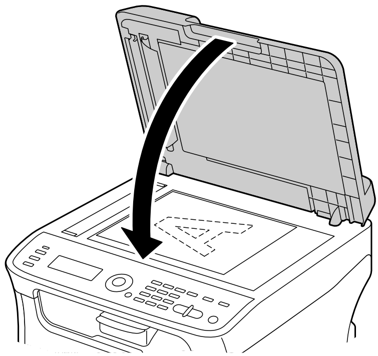
3 ADF を開きます。



4 送信する面を下にして原稿を原稿ガラス上に置き、原稿スケールに沿うように合わせます。

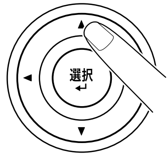



5 ADF を静かに閉じます。



6 画質を調整します。

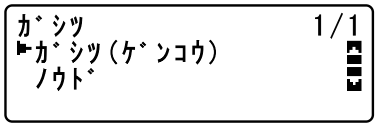
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。










7 ファクスモード画面が表示されていることを確認し、相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

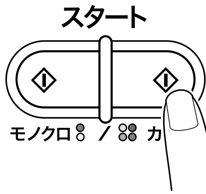
– 直接入力する
– お気に入りを使う
– 短縮ダイアル番号を使う
– グループダイアル機能を使う
– 検索機能（リスト／検索）を使う
– ［リダイアル / ポーズ］キーを使う

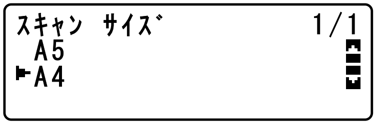
ファクスモード画面については、「ファクスモード画面」（p.40）をごらんください。

相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」（p.94）をごらんください。［リダイアル / ポーズ］キーの使い方については、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.110）

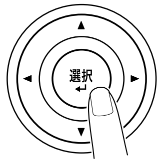
複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.112）をごらんください。

8 ［スタート］キーを押します。
スキャン領域を確認する画面が表示されます。



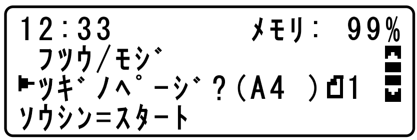

9 表示されているスキャン領域でスキャンする場合は、［選択］キーを押します。原稿が読み込まれます。




表示されているスキャン領域を変更する場合は、［▼］／［▲］キーを押し、目的のスキャン領域を選択します。［選択］キーを押すと、原稿が読み込まれます。



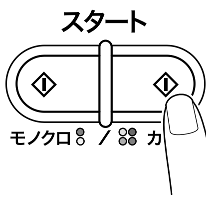

10 複数ページを読み込む場合は、「ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ ?」というメッセージが表示されたら、原稿を差し替え、［選択］キーを押します。原稿の読み込みが終了した場合は、［スタート］キーを押します。







送信を中止する場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。



相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ」（p.201）をごらんください。

読み込んでメモリに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、メニューの「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」機能で削除できます。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。

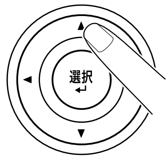
メモリ残量が少なくなると、原稿の読み込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読み込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、送信が始まります。読み込んだ分の送信が完了すると、原稿の読み込みが再開されます。

# 画質を調整する

ファクス送信する前に、原稿の画質を調整できます。

## 解像度を調整する

1 ［▼］／［▲］キーで、現在のファクス品質を選択し、［選択］キーを押します。



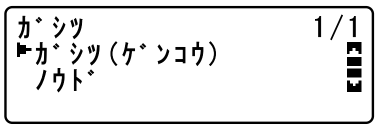

設定メニューのｿｳｼﾝｾｯﾃｲ設定によって、「ﾌﾂｳ/ﾓｼﾞ」、「ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ」、「S-ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ」、「ﾌﾂｳ/ｼｬｼﾝ」、「ﾌｧｲﾝ/ｼｬｼﾝ」、「S-ﾌｧｲﾝ/ｼｬｼﾝ」のいずれかが表示されています。

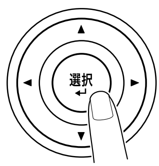




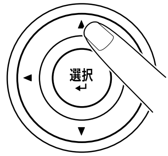


2 メニューの「ｶﾞｼﾂ（ｹﾞﾝｺｳ）」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

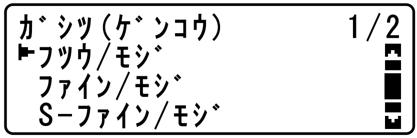


3 ［▼］／［▲］キーで、ファクスの解像度を選択し、［選択］キーを押します。
解像度が調整されます。




原稿に合った解像度を選択してください。







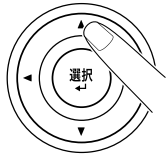
- ﾌﾂｳ / ﾓｼﾞ：手書きやコンピュータからの印刷などを含む通常の原稿の場合に設定します。
- ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。（ファイン / テキスト）
- S- ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。（スーパーファイン / テキスト）
- ﾌﾂｳ / ｼｬｼﾝ：通常の写真原稿の場合に設定します。（標準 / 写真）
- ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ：細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。（ファイン / 写真）
- S- ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ：さらに細かい画像を含む写真原稿の場合に設定します。（スーパーファイン / 写真）

ここで設定したファクス画質は、通常の送信では、原稿スキャン後に、手動送信では、送信後にデフォルトに戻ります。よく使用するファクス画質をデフォルトにしておくと便利です。詳しくは、「送信設定メニュー」（p.65）をごらんください。

## スキャン濃度を調整する

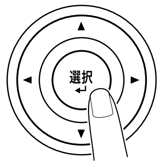
1 ［▼］／［▲］キーで、現在のファクス品質を選択し、［選択］キーを押します。

設定メニューのｿｳｼﾝｾｯﾃｲ設定によって、「ﾌﾂｳ/ﾓｼﾞ」、「ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ」、「S-ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ」、「ﾌﾂｳ/ｼｬｼﾝ」、「ﾌｧｲﾝ/ｼｬｼﾝ」、「S-ﾌｧｲﾝ/ｼｬｼﾝ」のいずれかが表示されています。

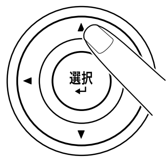


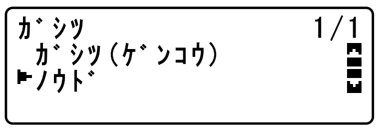


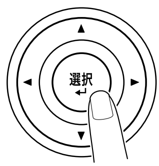




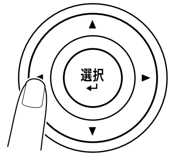

2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾉｳﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

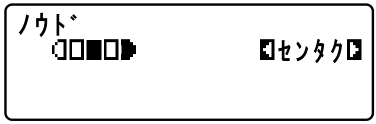


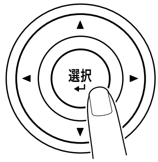



3 ［◀］／［▶］キーで、スキャン濃度を選択し、［選択］キーを押します。
スキャン濃度が調整されます。



# 相手先を指定する

相手先の指定のしかたには、以下の方法があります。

■ 直接入力する：テンキーで直接ファクス番号を入力します。

■ お気に入りを使う：お気に入りに登録された短縮ダイアルまたはグループダイアルを呼び出します。

■ 短縮ダイアル番号を使う：短縮ダイアル番号に登録された相手先を呼び出します。

■ グループダイアルを使う：グループダイアルに登録されたグループを呼び出します。

■ 検索機能（リスト／検索）を使う：短縮ダイアルやグループダイアルに登録された相手先を検索し、指定します。

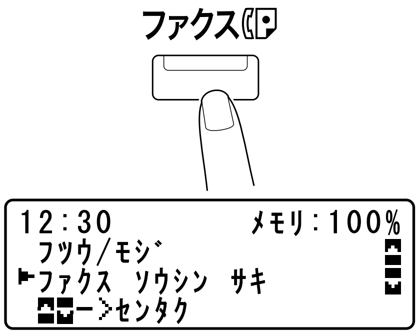
■ ［リダイアル / ポーズ］キーを使う：最後にダイアルをした相手先を指定します。

## ファクス番号を直接入力して送信する

テンキーを使ってファクス番号を入力します。

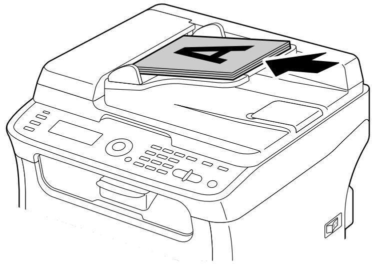
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

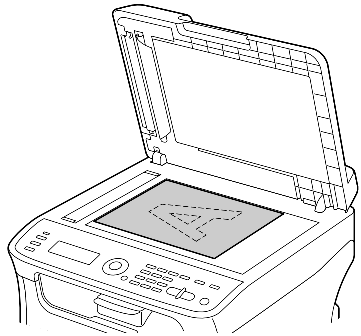
初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。



## 2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

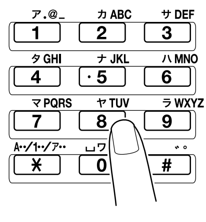




## 3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

## 4 テンキーを使って、相手先のファクス番号を入力します。

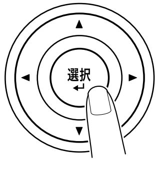



ファクス番号入力時に使用できるキーは、番号キー（0 ～ 9）、[⁎] キー、[#] キーです。
ファクス番号入力時に [リダイアル / ポーズ] キーを押すと、2.5 秒のポーズが挿入されます。ポーズはメッセージウィンドウで「P」と表示されます。

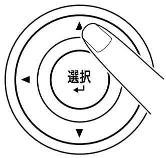
本機が PBX 回線に接続されている場合は、外線接続番号を「ﾂｳｼﾝｾｯﾃｲ」で設定できます。[# ] キーを押すと、自動的に外線へ接続します。PBX 回線設定については、「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」の「ﾂｳｼﾝｾｯﾃｲ」（p.61）をごらんください。

入力したファクス番号を消去するには、[戻る] キーを 1 秒程度長押しをするか、[ストップ / リセット] キーを押します。

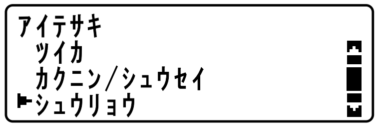
5 ［選択］キーを押します。




6 ［▼］／［▲］キーで、画面の「 ▶ 」を「ｼｭｳﾘｮｳ」へ移動させ、［選択］キーを押します。
相手先が指定されます。



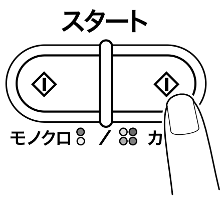

指定した相手先をクリアしたい場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。







7 ［スタート］キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



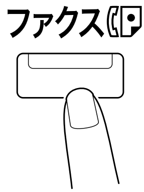

送信を中止する場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

## お気に入りを使って送信する

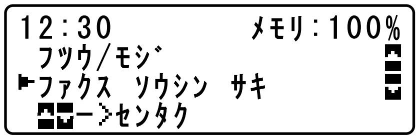
よく使う短縮ダイアルまたはグループダイアルがお気に入りに登録されている場合、[登録宛先] キーを押し、[▼] ／ [▲] キーですばやく指定できます。

相手先は、前もってお気に入りに登録されている必要があります。詳しくは、「相手先をお気に入りへ登録する」(p.169) を参照ください。

1 [ファクス] キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

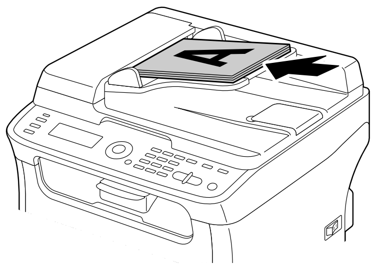


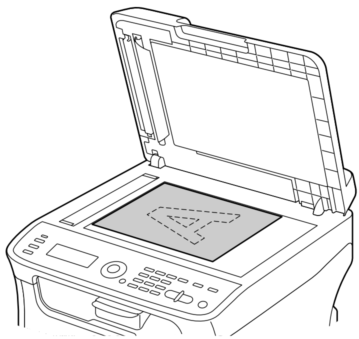

初期モード (ｾｯﾃｲ (UTILITY) - ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ (L) - ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ) が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」(p.82) を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」(p.85) をごらんください。

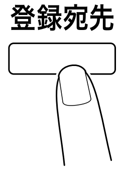




3 画質を調整します。

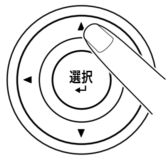
画質の調整については、「画質を調整する」(p.90) をごらんください。

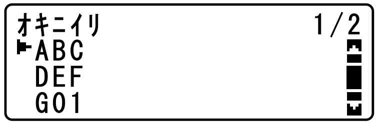
4 ［登録宛先］キーを押します。

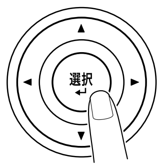



メイン画面が表示されている場合、またはステータスに「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を目的の相手先へ移動させ、［選択］キーを押します。

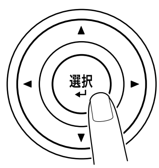


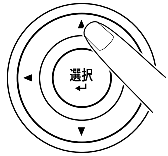



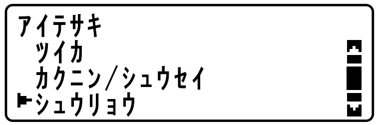

相手先の選択を間違えた場合には［戻る］キーを押し、［登録宛先］キーを押して、再度相手先を選択します。

6 画面に「ﾍﾝｼｭｳ＝ｾﾝﾀｸ」が表示されたら、もう一度、［選択］キーを押します。



7 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を「ｼｭｳﾘｮｳ」へ移動させ、［選択］キーを押します。
相手先が指定されます。



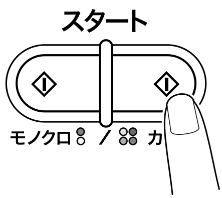




グループダイアルが登録された相手先を選択した場合、複数相手先が指定されます。

指定した相手先をクリアしたい場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。

8 ［スタート］キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。




送信を中止する場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

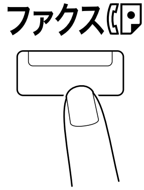
## 短縮ダイアル番号を使って送信する

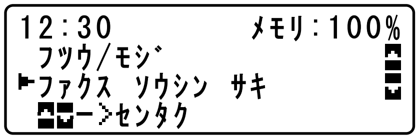
よく使うファクス番号を、短縮ダイアルに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

相手先は、前もって短縮ダイアルに登録されている必要があります。詳しくは、「短縮ダイアルを登録する」（p.176）を参照ください。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

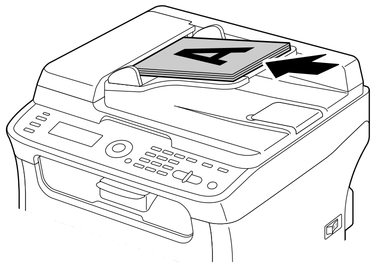
初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY） － ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L） － ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。

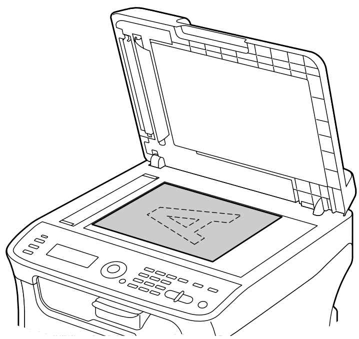



2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

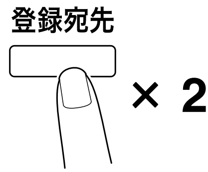




3 画質を調整します。

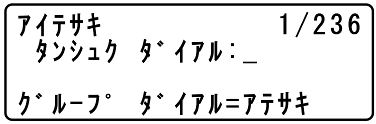
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

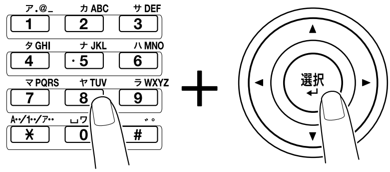
4 ［登録宛先］キーを 2 回押します。




メイン画面が表示されている場合、またはステータスに「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

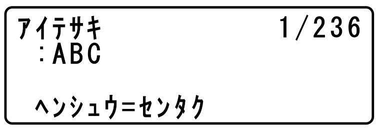


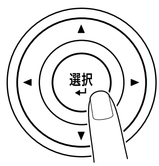




入力を間違えた場合には［戻る］キーを押し、再度相手先の短縮ダイアル番号を入力します。

ファクス番号が登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。
また、何も登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。ファクス番号が登録されている短縮ダイアル番号を入力してください。

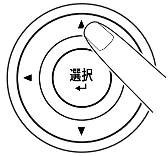
6 画面に「ﾍﾝｼｭｳ＝ｾﾝﾀｸ」が表示されたら、もう一度、［選択］キーを押します。

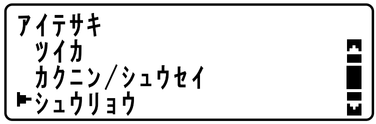


7 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を「ｼｭｳﾘｮｳ」へ移動させ、［選択］キーを押します。
相手先が指定されます。

指定した相手先をクリアしたい場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。

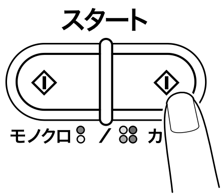






8 ［スタート］キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



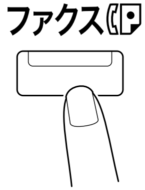

送信を中止する場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

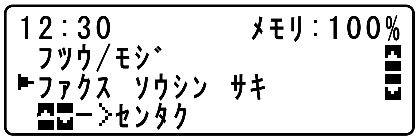
## リスト機能で検索して送信する

短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

リスト機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

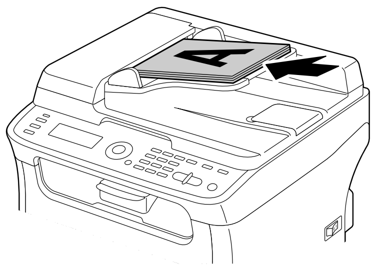
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

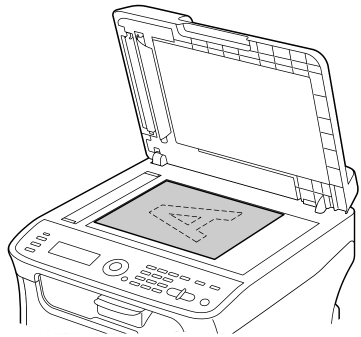



> 初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY） － ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L） － ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。



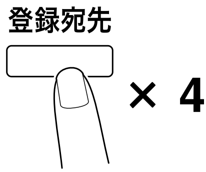


> ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

3 画質を調整します。

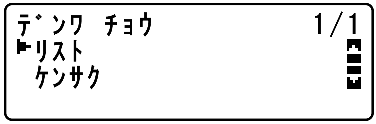
> 画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

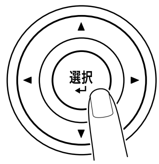
4 ［登録宛先］キーを 4 回押します。




メイン画面が表示されている場合、またはステータスに「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

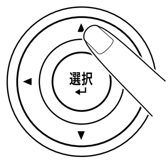
5 「ﾘｽﾄ」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。
短縮ダイアルおよびグループダイアルに登録された相手先のリストが表示されます。



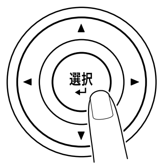

6 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を目的の相手先へ移動させ、［選択］キーを押します。

相手先の選択を間違えた場合には［戻る］キーを押し、再度手順 4 から行ってください。

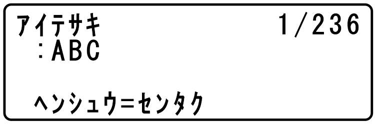


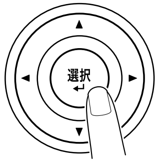






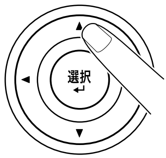
7 画面に「ﾍﾝｼｭｳ = ｾﾝﾀｸ」が表示されたら、もう一度、[選択] キーを押します。

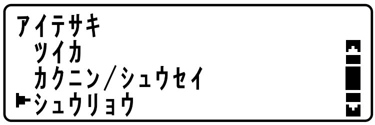


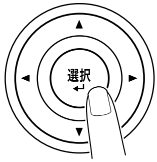




8 [▼] ／ [▲] キーで、画面の「 ▶ 」を「ｼｭｳﾘｮｳ」へ移動させ、[選択] キーを押します。
相手先が指定されます。

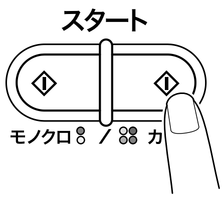
指定した相手先をクリアしたい場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。




9 [スタート] キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



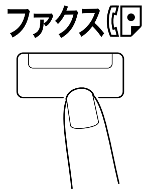

送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。

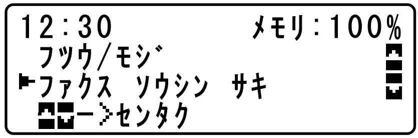
## 検索機能で検索して送信する

短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

検索機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

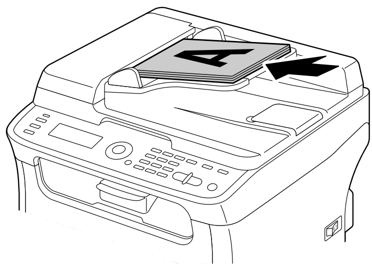
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

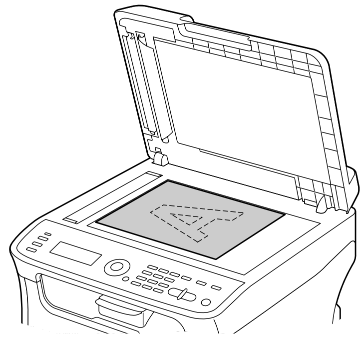



初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY） － ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L） － ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。

2 原稿をセットします。





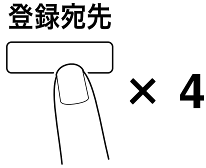
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

3 画質を調整します。

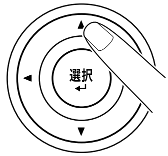
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

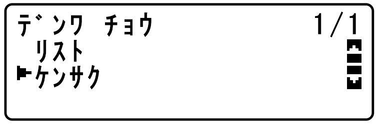
4 ［登録宛先］キーを 4 回押します。

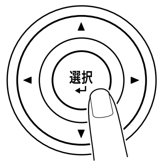
> メイン画面が表示されている場合、またはステータスに「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞﾂｶｴﾏｽ」が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。




5 ［▼］／［▲］キーで、画面の「 ▶ 」を「ｹﾝｻｸ」へ移動させ、［選択］キーを押します。
検索文字を入力する画面が表示されます。



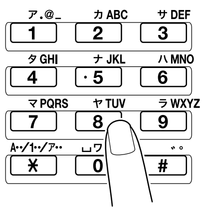



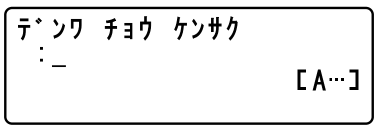




6 テンキーで、検索したい相手先の名前の一部を入力します。

> 短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録している名前を入力してください。文字の入力については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

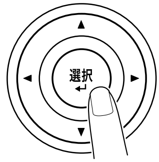
> カタカナ、英数字、記号で最大 10 文字を検索文字として入力できます。

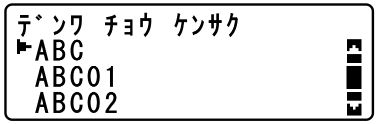


7 ［選択］キーを押します。
手順 6 で入力した検索文字に該当する相手先が表示されます。

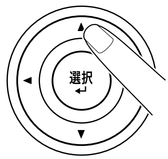
該当する名前が検索されなかった場合は、「ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ」が表示されます。

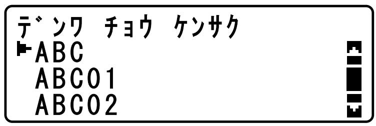



8 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を目的の相手先へ移動させ、［選択］キーを押します。

目的の相手先名が検索結果に表示されなかった場合、［戻る］キーを押し、検索文字入力画面に戻ります。別の検索文字を入力してみてください。

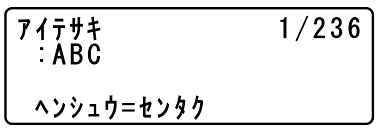


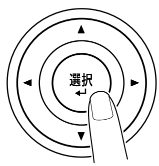







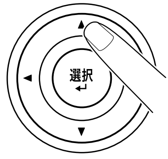
9 画面に「ﾍﾝｼｭｳ＝ｾﾝﾀｸ」が表示されたら、もう一度、［選択］キーを押します。

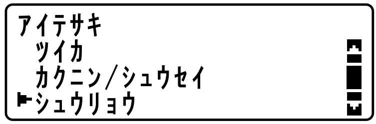


10 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を「ｼｭｳﾘｮｳ」へ移動させ、［選択］キーを押します。
相手先が指定されます。

指定した相手先をクリアしたい場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。

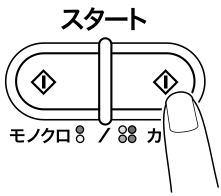






11 ［スタート］キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



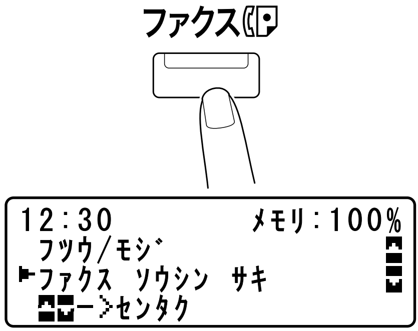

送信を中止する場合は、［ストップ/リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

## リダイアル機能を使用して送信する

最後に送信したファクス番号で送信するには、［リダイアル / ポーズ］キーを押してファクス番号を呼び出せます。

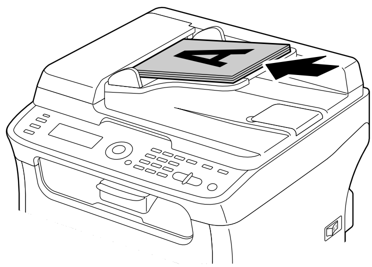
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

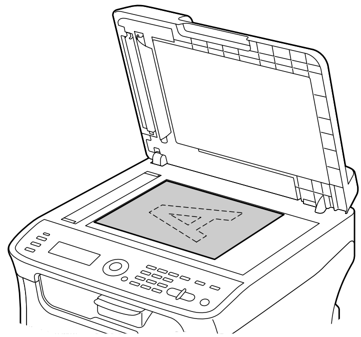
初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

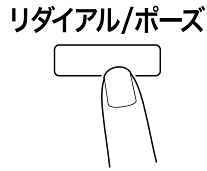


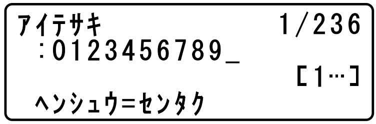


3 画質を調整します。

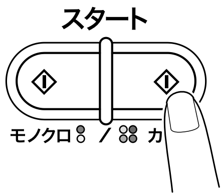
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

4 ［リダイアル / ポーズ］キーを押し、目的のファクス番号が表示されたか確認します。




5 ［スタート］キーを押します。原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。




送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

# 複数の相手先を指定する

1 回のファクス送信で複数の相手先に送信することができます。複数の相手先に送信する方法は 2 種類あります。

■ グループダイアル機能を使う

■ 同報送信機能を使う

## 複数の相手先に送信する（同報送信）

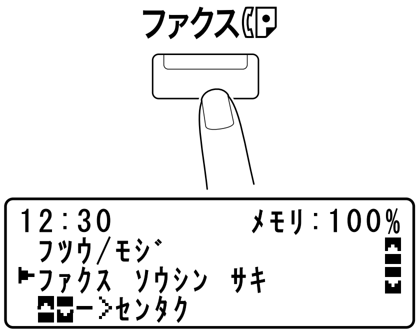
複数の相手先を直接入力、お気に入り、短縮ダイアル番号、検索機能から指定できます。

1 度に最大 236 件の相手先を選択できます。

送信結果レポートで、すべての相手先に送信されたかを確認できます。送信結果レポートについては、「送信／受信結果をディスプレイで確認する」（p.199）または「レポートとリストについて」（p.200）をごらんください。

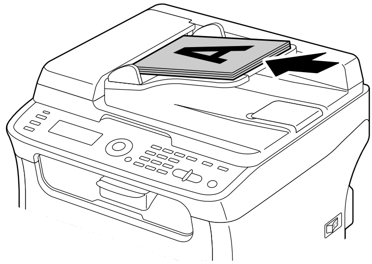
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

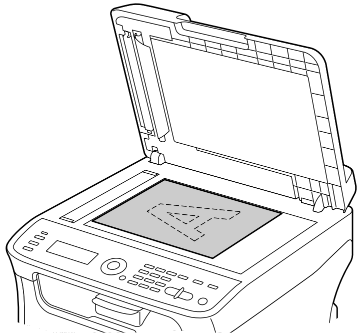
初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。



2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。





3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

4 下記の方法で相手先を指定します。

– 直接入力する：テンキーでファクス番号を直接入力し、［選択］キーを押します。

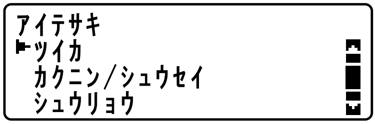
– お気に入りを使う（グループダイアルを含む）：［登録宛先］キーを押し、［▼］／［▲］キーで目的の短縮ダイアルまたはグループダイアルを選択し、［選択］キーを押します。もう一度［選択］キーを押します。

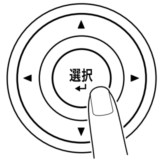
– 短縮ダイアルを使う：［登録宛先］キーを 2 回押し、テンキーで目的の短縮ダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。もう一度［選択］キーを押します。

– グループダイアルを使う：［登録宛先］キーを 3 回押し、テンキーで目的のグループダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。もう一度［選択］キーを押します。

– 検索機能（リスト／検索）を使う：［登録宛先］キーを 4 回押し、リスト機能または検索機能から目的の相手先を検索します。（詳しくは、「リスト機能で検索して送信する」（p.103）または「検索機能で検索して送信する」（p.106）をごらんください。）［選択］キーを押します。

5 相手先を追加する場合は、｢ﾂｲｶ｣ が選択されていることを確認し、[選択] キーを押します。すべての相手先を指定するまで、手順 4 を繰り返します。

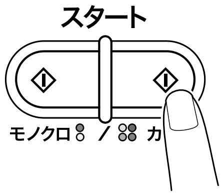



– 相手先指定を終了するには、｢ｼｭｳﾘｮｳ｣ を選択し、[選択] キーを押します。
– 指定した相手先を確認するには ｢ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ｣ を選択し、[選択] キーを押します。確認が終わったら、[戻る] キーを押します。
– 相手先を 1 件削除したい場合は、ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲで相手先確認中に、削除したい相手先を [▼] ／ [▲] キーで選択し、[ストップ / リセット] キーを押します。削除確認の画面で ｢ﾊｲ｣ を選択し、[選択] キーを押すと、相手先は削除されます。削除が終わったら、[戻る] キーを押します。

ステータスに ｢ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ｣ が表示されている場合に、[登録宛先] キーは使えます。

6 [スタート] キーを押します。原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



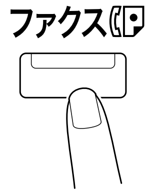

送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、｢ﾊｲ｣ が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。送信を中止すると、指定した相手先がすべてクリアされます。

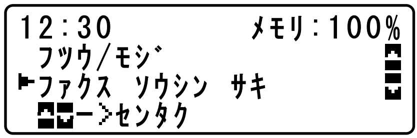
## 複数の相手先に送信する（グループダイアル）

複数の相手先をグループダイアルから指定できます。

複数相手先は、前もってグループダイアルに登録されている必要があります。詳しくは、「グループダイアルを登録する」（p.184）を参照ください。

**1** ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

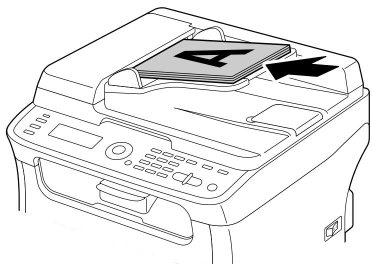


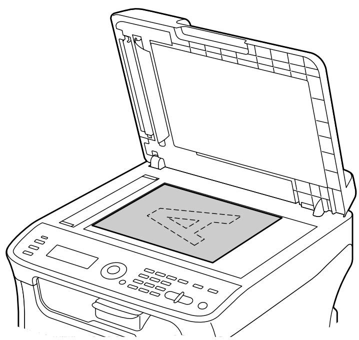




初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY） － ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L） － ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。

**2** 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

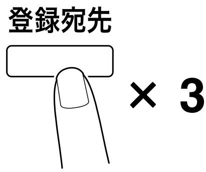




**3** 画質を調整します。

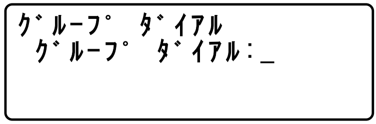
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

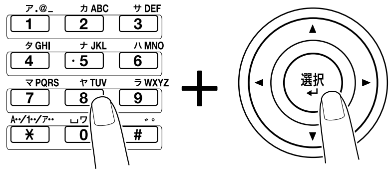
4 ［登録宛先］キーを 3 回押します。




メイン画面が表示されている場合、またはステータスに「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されている場合に、［登録宛先］キーは使えます。

5 テンキーでグループダイアル番号（1 〜 20）を入力し、［選択］キーを押します。




入力を間違えた場合には［戻る］キーを押し、再度相手先の短縮ダイアル番号を入力します。

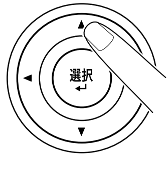
ファクス番号が登録されていないグループダイアル番号を入力した場合、「ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。また、何も登録されていないグループダイアル番号を入力した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。ファクス番号が登録されているグループダイアル番号を入力してください。

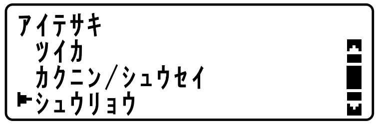
6 ［選択］キーをもう一度押します。



7 ［▼］／［▲］キーで、画面の「 ▶ 」を「ｼｭｳﾘｮｳ」へ移動させ、［選択］キーを押します。

指定した相手先をクリアしたい場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。

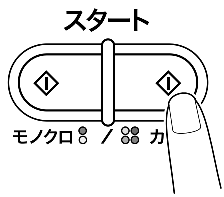






8 ［スタート］キーを押します。原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。




送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。送信を中止すると、指定した相手先がすべてクリアされます。

# 指定した時間にファクスを送信する（タイマー送信）

原稿をメモリに読み込ませ、指定した時間に送信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信できるため経済的です。

ひとつの相手先に、複数の原稿を、指定した時刻にまとめて送信する場合は、一括送信機能を使用すると、一回の回線接続で送信でき、便利です。

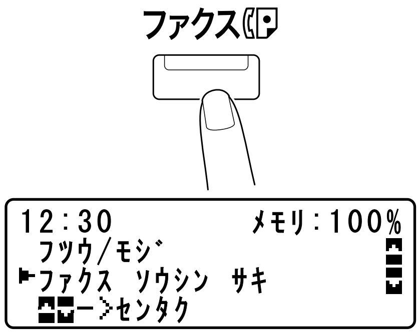
タイマー送信をするには、本機の時刻設定をしてください。詳しくは、「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」の「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ」（p.62）をごらんください。

タイマー送信は、同報送信機能を併用できます。

タイマー送信データはメモリに保存されるため、電源をオフ／オンしてもデータは消えません。

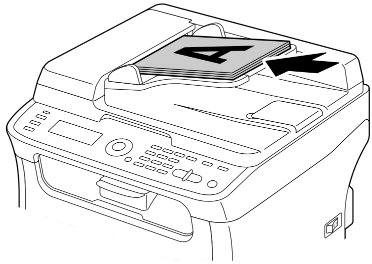
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

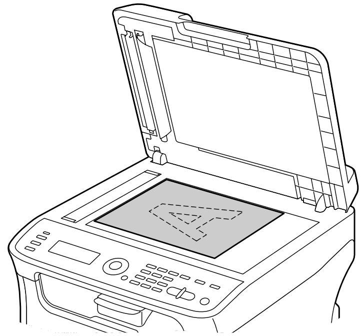
初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。



2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

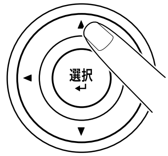




3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

4 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を「ｼﾞｺｸ ｼﾃｲ ｿｳｼﾝ」へ移動させ、［選択］キーを押します。
ｼﾞｺｸ ｼﾃｲ ｿｳｼﾝ画面が表示されます。

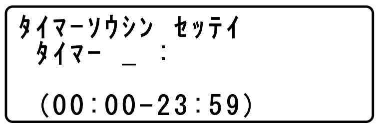






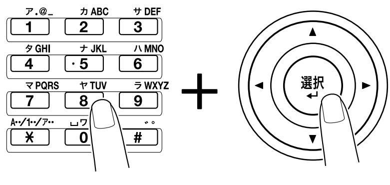



5 テンキーで送信時間を設定し、［選択］キーを押します。




24 時間形式で入力してください。

入力した時間を修正するときは、［戻る］キーを押します。



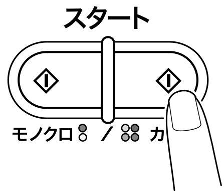

6 相手先を指定します。

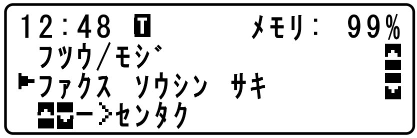
詳しくは、「相手先を指定する」（p.94）をごらんください。

同報送信機能を使用して複数の相手先に送信したい場合は、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.112）をごらんください。すべての相手先の入力を完了後、［スタート］キーを押すと、読み込みが開始さます。読込みが完了後、本機は待機状態になります。

一括送信設定が登録されている短縮ダイアル番号を指定した場合は、一括送信設定で指定している時刻に送信されます。

7 ［スタート］キーを押します。
読込みが開始され、待機状態になります。
待機状態中は画面に T が表示されます。




タイマー送信をキャンセルしたい場合は、メニューから「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」を選択します。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。

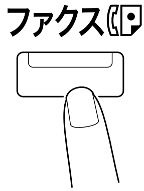
# 一括送信する

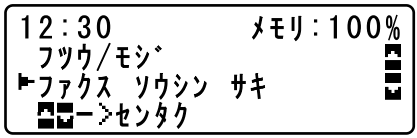
メモリに読込ませた複数の原稿を、ひとつの宛先に、指定した時刻にまとめて送信できます。

あらかじめ設定メニューで一括送信設定（送信時刻）を短縮ダイアル番号に登録しておきます。詳しくは、「短縮ダイアル番号を使って送信する」（p.100）をごらんください。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

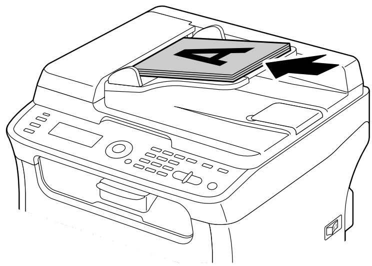
初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。

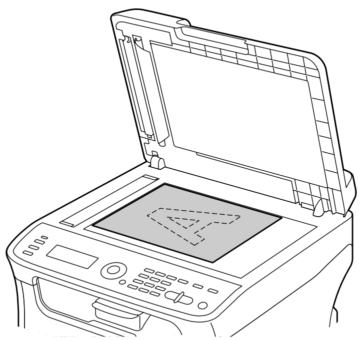



2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。





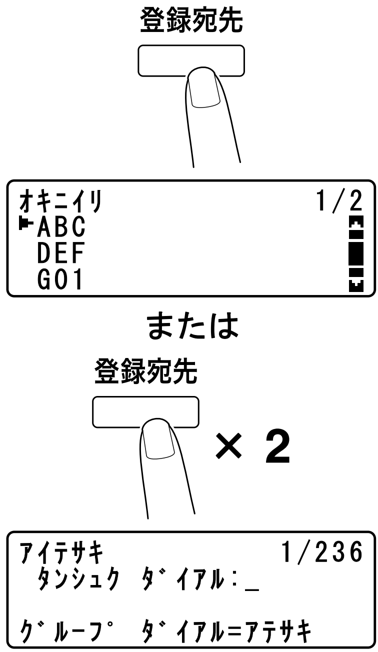
**3** 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

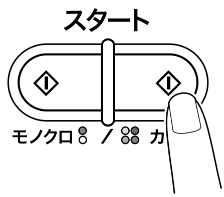
**4** 一括送信が設定された送信先を、お気に入りから、または、短縮ダイアル番号で指定します。

お気に入りから相手先を指定する方法は、「お気に入りを使って送信する」（p.97）をごらんください。

短縮ダイアル番号で相手先を指定する場合は、「短縮ダイアル番号を使って送信する」（p.100）をごらんください。




**5** ［スタート］キーを押します。
読込みが開始され、待機状態になります。
待機状態中は画面に **T** が表示されます。




一括送信をキャンセルしたい場合は、メニューから「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」を選択します。詳しくは、「送信予約をキャンセルする」（p.133）をごらんください。

# メモリ送信とクイック送信について

本機を使用して原稿を送信する方法には、メモリ送信とクイック送信の 2 つの方法があります。

## メモリ送信

あらかじめすべての原稿を読込み、メモリに蓄積してからファクス送信する方法です。ヘッダのページ数に自動的に総ページ数が付けられます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の読取り画質（解像度）が細密なために情報量が多い場合はメモリオーバーすることがあります。

## クイック送信

相手局との通信シーケンスに従い、リアルタイムで通信する方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリオーバーすることなく送信できます。

工場出荷時のデフォルト設定は、メモリ送信に設定されています。デフォルトは設定メニューで変更できます。詳しくは、「送信設定メニュー」（p.65）をごらんください。

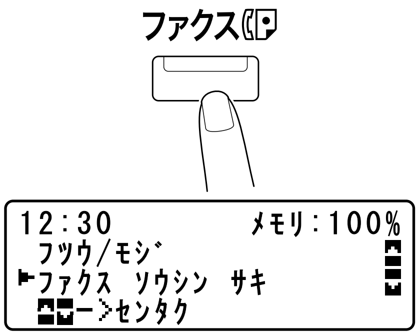
クイック送信と両面送信は併用できません。

## 送信モードを切り替える

送信モードをデフォルト設定から一時的に切り替えることができます。

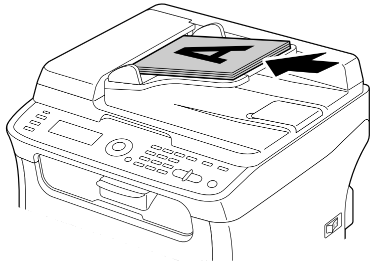
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

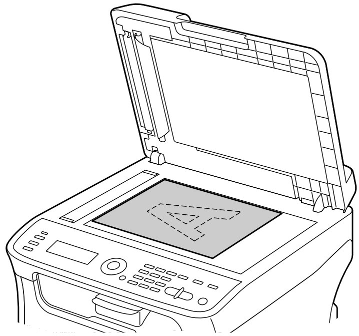
初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。



2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

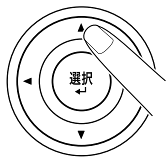




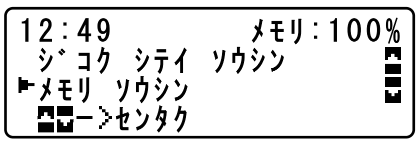
3 画質を調整します。

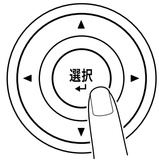
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

4 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を現在の送信モード設定へ移動させ、［選択］キーを押します。
ｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ画面が表示されます。

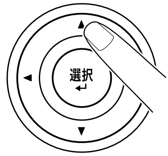


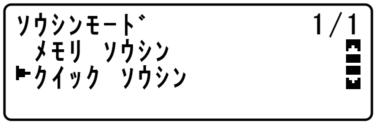

メモリ送信がデフォルト設定の場合「ﾒﾓﾘ ｿｳｼﾝ」が、クイック送信がデフォルト設定の場合「ｸｲｯｸ ｿｳｼﾝ」が表示されています。



5 [▼] ／ [▲] キーで、目的の送信モードを選択し、[選択] キーを押します。





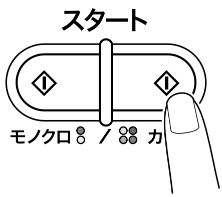


6 相手先を指定します。

詳しくは、「相手先を指定する」（p.94）をごらんください。

同報送信機能を使用して複数の相手先に送信したい場合は、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.112）をごらんください。

7 [スタート] キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。




送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。

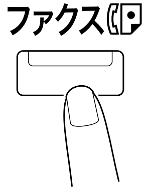
ここで設定した送信モードは、通常の送信では、原稿スキャン後に、手動送信では、送信後にデフォルトに戻ります。よく使用する送信モードをデフォルトにしておくと便利です。詳しくは、「送信設定メニュー」（p.65）をごらんください。

# ファクスを手動送信する

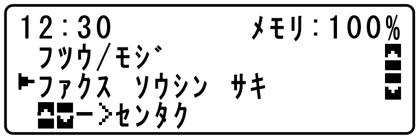
## 電話を使用後ファクスを手動送信する

本機に外付け電話機を接続して、電話とファクスの両方で 1 つの回線を使うときに、電話が終了後、ファクス送信をすることができます。相手先にファクス送信をすることを告げてから送信でき、便利です。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

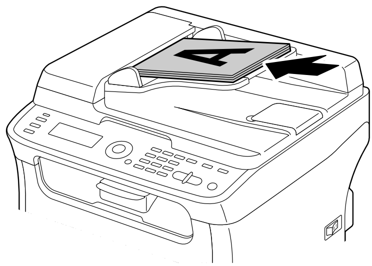



初期モード
（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。




2 ADF に原稿をセットします。

ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。

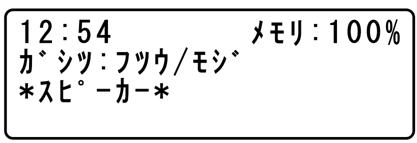


ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）をごらんください。

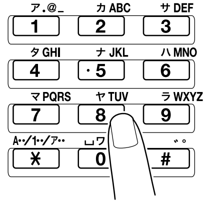
3 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

4 受話器を上げて、発信音 " ツー " が 聞こえることを確認します。



5 相手先のファクス番号を外付け電話機からダイアルします。

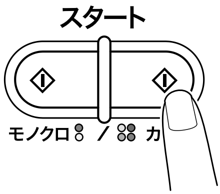



ファクス番号は操作パネルのテンキーでも指定できます。

回線の種類にパルスが設定されている場合は、[*] キーを押して一時的にトーンに切り替えます。

6 電話での会話の後、相手側でファクス受信をするキーを押します。相手先のファクスの準備が完了したら、警告音が鳴ります。

7 [スタート] キーを押します。原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

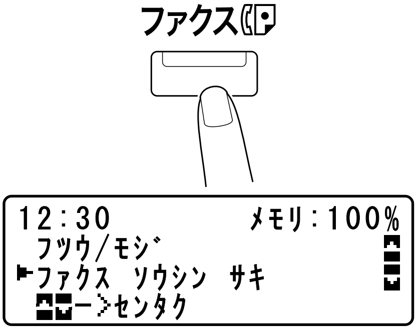



8 受話器を置きます。

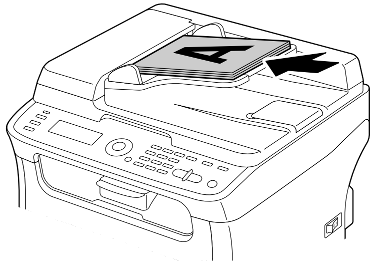
送信を中止する場合は、[ストップ / リセット] キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。

## [オンフック] キーを使用してファクスを手動送信する

1 [ファクス] キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。



**2** ADF に原稿をセットします。



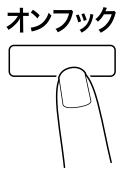
ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）をごらんください。

**3** 画質を調整します。

画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

**4** ［オンフック］キーを押します。

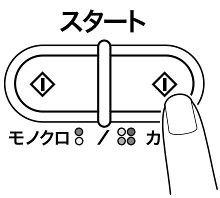



**5** 相手先のファクス番号を指定します。

［オンフック］キーを押した場合でも［登録宛先］キーを使用できます。詳しくは「相手先を指定する」（p.94）をごらんください（グループダイアルは使用できません）。

回線の種類にパルスが設定されている場合は、［⁎］キーを押して一時的にトーンに切り替えます。

**6** ［スタート］キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。




送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

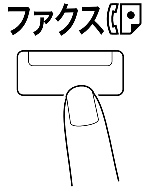
# ファクス番号を組み合わせて送信する（チェーンダイアル）

複数のファクス番号を組み合わせて相手先を指定できます。この機能をチェーンダイアルといいます。

例えば、相手先の代表番号と内線番号を個別の短縮ダイアルに登録しておき、それらを組み合わせて送信したりすることができます。

1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。

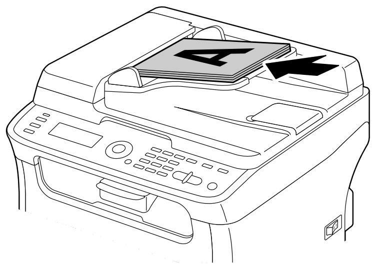


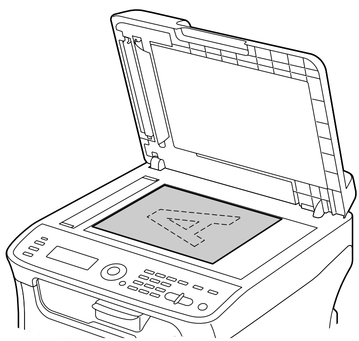




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.82）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.85）をごらんください。

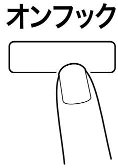




3 画質を調整します。

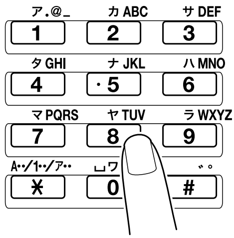
画質の調整については、「画質を調整する」（p.90）をごらんください。

4 ［オンフック］キーを押します。

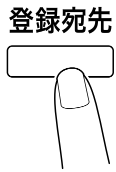



5 直接入力、お気に入り、短縮ダイアルで、1 つ目の番号を指定します。

詳しくは、「相手先を指定する」（p.94）をごらんください。



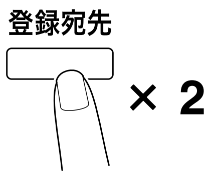

または

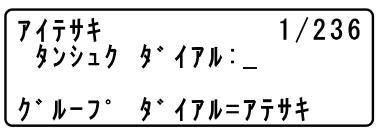






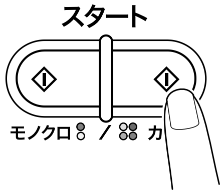
または



6 続けて、直接入力、お気に入り、短縮ダイアルで、2 つ目の番号を指定します。

7 ［スタート］キーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

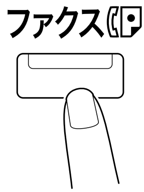



送信を中止する場合は、［ストップ / リセット］キーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

# 送信予約をキャンセルする

タイマー送信待ちなど、読み込んだ原稿は、メモリに蓄積されます。メモリに蓄積されている文書を特定して削除できます。

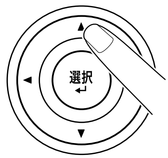
1 ［ファクス］キーを押して、ファクスモード画面を表示させます。




初期モード（ｾｯﾃｲ（UTILITY）－ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）－ ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ）が「ﾌｧｸｽ」の場合は、この手順は必要ありません。




2 ［▼］／［▲］キーで、画面の「▶」を「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」へ移動させ、［選択］キーを押します。
ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ画面が表示されます。

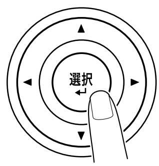



メモリにジョブが無ければ、「ﾖﾔｸ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」が表示されます。

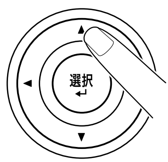



以下のジョブのタイプが表示されます。

– ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ：通常送信（待機中）
– ｼﾞｭﾝｼﾞ ﾄﾞｳﾎｳ：同報送信
– ｼﾞｺｸ ｼﾃｲ ｿｳｼﾝ：タイマー送信
– ﾃﾝｿｳ：転送送信

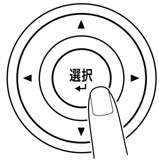



3 ［▲］または［▼］キーを使って、削除したいジョブを選択します。

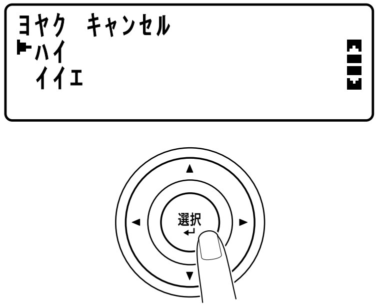



表示されている同報送信ジョブの相手先を確認したい場合は、［▶］キーを押します。確認後は［戻る］キーを押して前の画面に戻ります。

4 ［選択］キーを押します。
削除確認画面が表示されます。

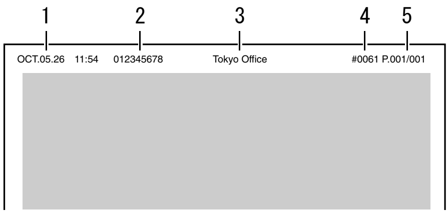



5 「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。
ジョブが削除されます。



# ファクスヘッダについて

設定メニューの「ﾍｯﾀﾞ」が「ｵﾝ」になっていると、相手先がファクス受信をしたときに発信元情報（送信者名、ファクス番号、送信日時、セッション番号、ページ番号）が印字されます。




| No. | 項目 | 説明 |
|---|---|---|
| 1 | 送信日時 | ファクスが送信された日時が表示されます。時刻は24 時間形式で表示されます。 |
| 2 | ファクス番号 | ファクス番号が表示されます。 |
| 3 | 送信者名 | 送信者の名前が表示されます。 |
| 4 | セッション番号 | ファクスを送信するセッション番号が表示されます。 |
| 5 | ページ番号 | ページ番号が、「ページ番号／総ページ数」で表示されます。<br><br>外付け電話機や［オンフック］キーを使った送信、クイック送信では総ページ数は表示されません。 |

ヘッダを印字するには、設定メニューの「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」の「ﾕｰｻﾞｰｾｯﾃｲ」で発信元設定をしたうえで、「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾍｯﾀﾞ」の設定を「ｵﾝ」にしてください。詳しくは、「送信設定メニュー」（p.65）をごらんください。

# PC ファクスを送信する

# 5

# コンピュータから直接ファクス送信する（PC ファクス）

コンピュータ上の文書を印刷しファクスへセットすることなく、コンピュータから直接ファクス送信ができます。

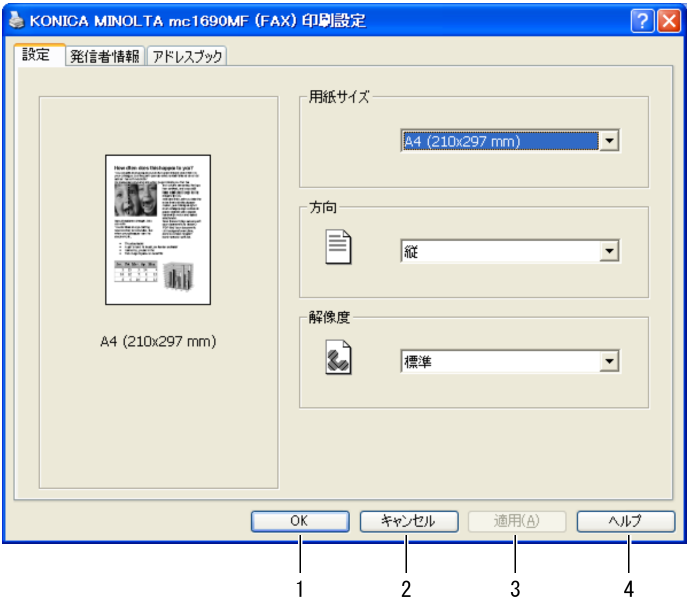
PC ファクス機能を使用するには、ファクスドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。

ファクスドライバは IPP(Internet Printing Protocol) には対応していません。

# PC ファクス設定について

## 各タブで共通のボタン

各タブ共通のボタンを説明します。




**1 OK**

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

**2 キャンセル**

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

**3 適用**

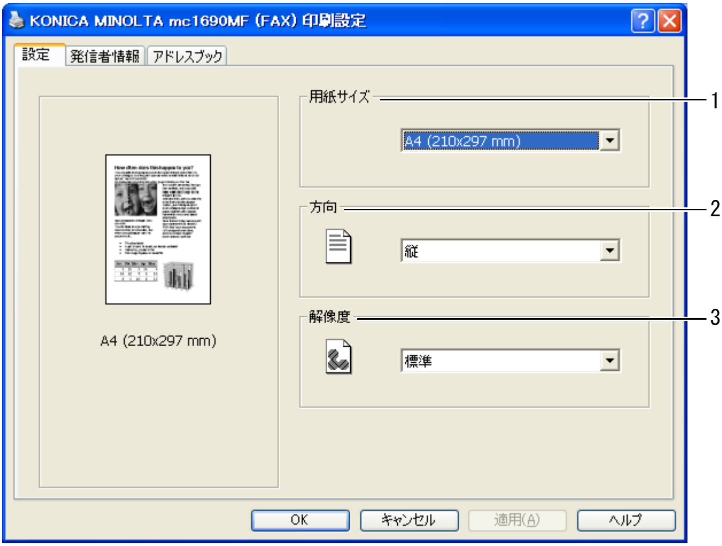
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

**4 ヘルプ**

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

## 設定タブ

原稿に関する設定をします。




**1 用紙サイズ**

送信する原稿のサイズを設定します。

PC ファクス機能で送信できる用紙サイズは「A4」、「レター」、「リーガル」です。

**2 方向**

原稿の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

**3 解像度**

原稿の画質を設定します。

標準：通常の原稿の場合に設定します。

精細：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。

高精細：細かい画像を含む場合に設定します。

## 発信者情報タブ

送信者の情報を入力します。入力した情報は、カバーシートに表示されます。




**1 名前**

送信者の名前を半角（カタカナ、英数字、記号）32 文字以内で入力します。

**2 会社名**

送信者の会社名を半角（カタカナ、英数字、記号）32 文字以内で入力します。

**3 部署名**

送信者の所属部署名を半角（カタカナ、英数字、記号）32 文字以内で入力します。

**4 電話番号**

送信者の電話番号を半角（数字、スペース、*、#、+、-、P（ポーズ））32 文字以内で入力します。

**5 FAX 番号**

送信者のファクス番号を半角（数字、スペース、*、#、+、-、P（ポーズ））32 文字以内で入力します。

**6 E-mail アドレス**

送信者のメールアドレスを半角（英数字、@、_、-、.）32 文字以内で入力します。

**7 住所**

送信者の住所を半角（カタカナ、英数字、記号）32 文字以内で入力します。

名前、会社名、部署名、住所に「,」と「"」は入力できません。

P（ポーズ）は大文字のみ入力できます。

## アドレスブックタブ

相手先の登録、編集、削除をします。




**1 一覧**

相手先リストの表示を絞り込みます。「全て」、「グループ」、「ユーザ」から選択します。

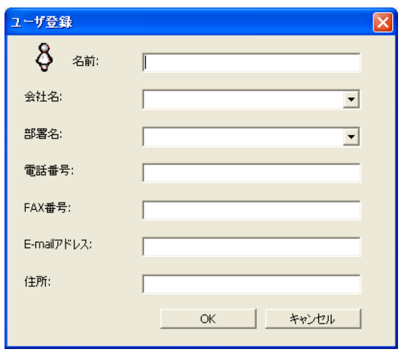
**2 相手先リスト**

アドレスブックに登録されている相手先が表示されます。

**3 ユーザ登録**

アドレスブックに相手先を登録するユーザ登録画面を表示します。

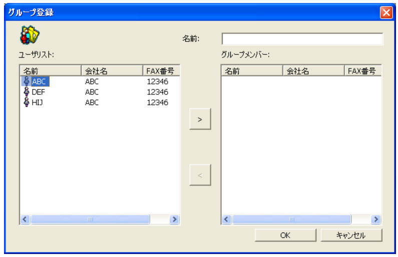
ユーザ登録画面で相手先の情報を入力し、[OK] をクリックすると、相手先は登録され、相手先リストに表示されます。




ユーザ登録で入力可能な文字は、「発信者情報タブ」（p.141）をごらんください。

アドレスブックに登録できる最大ユーザ数は 1000 です。

### 4 グループ登録




アドレスブックにグループ宛先を登録するグループ登録画面を表示します。

グループ宛先を登録すると、送信時に複数の相手先を容易に呼び出すことができ、便利です。

グループ登録画面でグループ名を入力し、ユーザリストからグループ宛先に登録したい相手先を選択して、[OK］をクリックすると、グループ宛先は登録され、相手先リストに表示されます。

グループ宛先に登録するには、前もって相手先がアドレスブックに登録されている必要があります。

グループ登録で入力可能な文字は、「発信者情報タブ」（p.141）をごらんください。

アドレスブックに登録できる最大グループ数は 1000 です。
また、1 グループあたりに登録できる最大ユーザ数は 50 です。

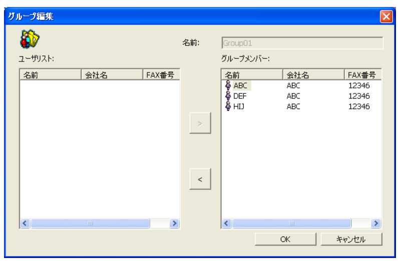
### 5 編集




ユーザ編集画面またはグループ編集画面を表示します。

アドレスブックに登録されている相手先の情報やグループ宛先のメンバーを編集できます。（相手先やグループ宛先の名前は変更できません。）

相手先リストで編集したい相手先やグループ宛先を選択し、[編集］をクリックします。



**6 削除**

アドレスブックに登録されている相手先またはグループ宛先を削除します。

相手先リストで、削除したい相手先またはグループ宛先を選択し、［削除］をクリックすると、削除の確認画面が表示されます。［OK］をクリックすると削除されます。

**7 インポート**

CSV 形式の相手先情報をインポートし、相手先登録をします。

**8 エクスポート**

相手先リストを CSV 形式にエクスポートします。

グループ登録された情報はエクスポートできません。

# PC ファクス設定画面を表示する

## Windows 7 の場合

1 ［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。

2 「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

デバイスとプリンター画面に「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンが表示されず、「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンが表示されている場合は、「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」－「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」をクリックしてください。

## Windows Server 2008/Vista の場合

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

## Windows XP Home Edition の場合

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX 」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

## Windows XP Professional/Sever 2003 の場合

1 「スタート」メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

## Windows 2000 の場合

1 「スタート」メニューから「設定」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

# 基本的な PC ファクス送信のしかた

1 ファクス送信したい文書のメニューから「印刷」を選択します。
印刷を設定するダイアログが表示されます。

2 プリンタのリストから「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」を選択します。

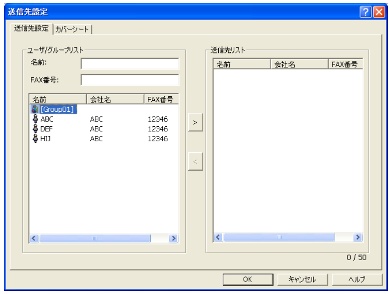
3 [OK] をクリックします。
送信先設定画面が表示されます。

キー名称はアプリケーションによって変わります。

4 送信先設定タブで相手先を指定します。

– 相手先のファクス番号を直接入力する場合は、「ユーザ / グループリスト」の「名前」と「FAX 番号」に入力します。

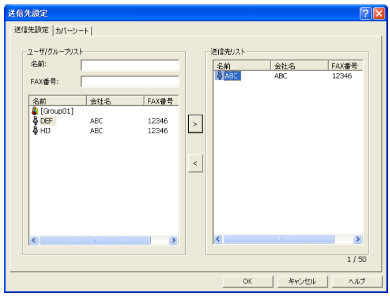
– 相手先のファクス番号をアドレスブックから指定する場合は、リストから目的の相手先をクリックします。




5 [>] をクリックします。
相手先が「送信先リスト」に移動します。

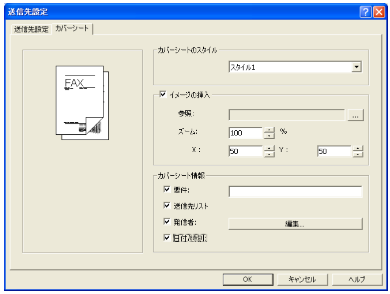
ファクス送信は「送信先リスト」に表示されている相手先すべてに送信されます。

「送信先リスト」から外したい場合は、[<] をクリックします。




6 [カバーシート] タブをクリックします。

7 「カバーシートのスタイル」でカバーシートの種類を選択します。




8 「カバーシートのスタイル」で「なし」以外に設定した場合、以下の設定をします。

– カバーシートに画像を挿入したい場合、「イメージの挿入」のチェックボックスをチェックし、「参照」で画像ファイルを指定します。以下の項目も設定できます。
  ズーム：画像の大きさを設定します。
  X：画像の左右位置を設定します。
  Y：画像の上下位置を設定します。
– カバーシートに印刷したい情報を「カバーシート情報」で選択します。
  要件：ファクス文書の件名を印刷します。入力欄に件名を入力します。
  送信先リスト：ファクス送信の相手先を印刷します。
  発信者：ファクス送信者の情報を印刷します。PC ファクス設定の［発信者情報］で設定した内容が印刷されます。［編集…］をクリックして表示される画面で情報を変更できます。
  日付 / 時刻：ファクス送信日時を印刷します。

9 ［OK］をクリックします。
PC ファクスが送信されます。

# ファクスドライバをアンインストールする（Windows）

ここでは、ファクスドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

ファクスドライバをアンインストールする場合はコンピュータの管理者権限が必要です。

Windows 7/Server 2008/Vista を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

## Windows 7/Server 2008/Vista/XP/Server 2003

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」－「KONICA MINOLTA」－「magicolor 1690MF」－「ファクス」－「アンインストール」をクリックします。

2 アンインストール画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

## Windows 2000

1 「スタート」メニューから「プログラム」－「KONICA MINOLTA」－「magicolor 1690MF」－「ファクス」－「アンインストール」をクリックします。

2 アンインストール画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

# ファクスを受信する

# 6

# はじめに

本機の電源をオフにすると、ファクスを受信することができません。必ず電源をオンのままにしておいてください。

受信したファクスの印刷には A4/ レター / リーガルサイズの用紙のみ対応しています。トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3（オプション）に必ず A4/ レター / リーガル（トレイ 1 のみ対応）サイズの用紙をセットしてください。

ファクス受信方法を設定する場合、設定メニューの以下の項目について設定を確認する必要があります。以下は設定メニューの項目とその初期値です。

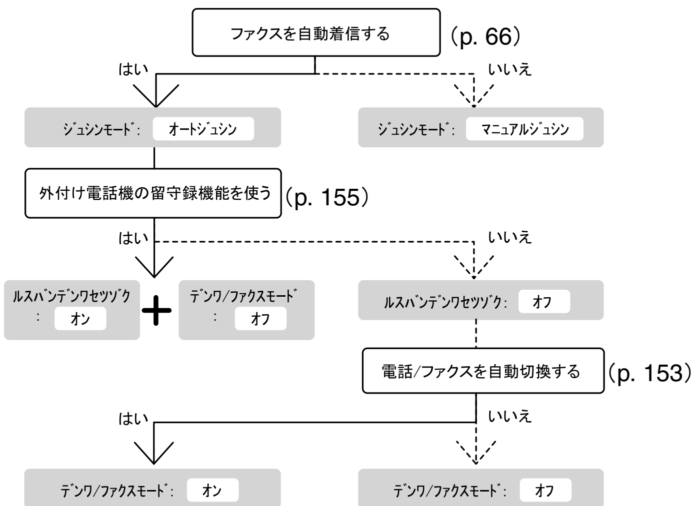
■ ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ – ［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］ – ［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ

■ ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ – ［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］ – ［ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ］: 2 回

■ ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ – ［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］ – ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ –
［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］: ｵﾌ

■ ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ – ［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］ – ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ –
［ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ］: 20 秒

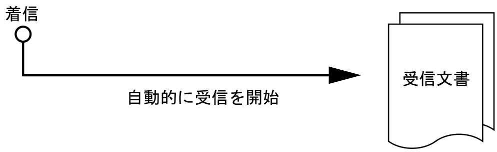
■ ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ – ［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］ – ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ –
［ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ］: ｵﾌ



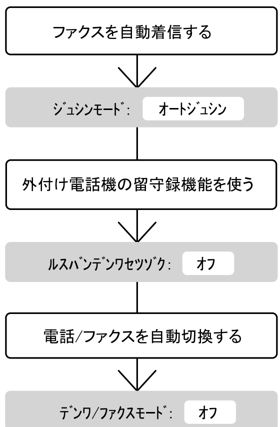
# ファクスを受信する（外付け電話機を接続しない）

## 自動受信（ファクス専用）

電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。設定メニューの[ｾｯﾃｲ (UTILITY)] ─ [ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ] ─ [ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ] で設定されている回数分の時間が経過後、受信が始まります。




ファクス専用で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。




■ [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ] ─ [ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ] : ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ

■ [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ] - [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] ─ [ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ] : ｵﾌ

■ [ｾｯﾃｲ (UTILITY)] - [ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ] - [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] ─ [ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ] : ｵﾌ

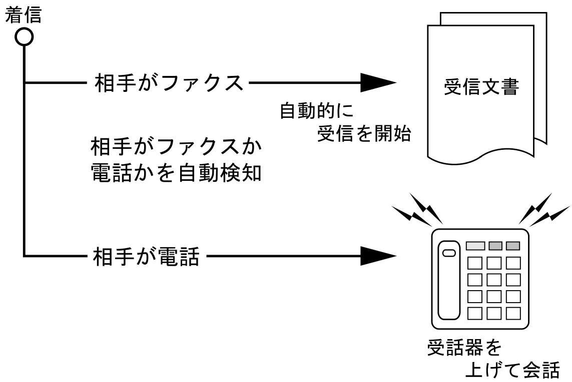
設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ」に設定されている場合、ファクスは自動的に受信されません。詳しくは、「受信設定メニュー」（p.66）をごらんください。

本機の「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定が「ｵﾝ」の場合、ファクス受信後、自動的に印刷を開始しません。受信したドキュメントはメモリに保存され、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」設定で指定した時間に印刷されます。また、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定を「ｵﾌ」にすると印刷されます。設定メニューの「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」については、「受信設定メニュー」（p.66）を、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定のしかたについて詳しくは、「メモリ受信モードを設定する」（p.72）をごらんください。

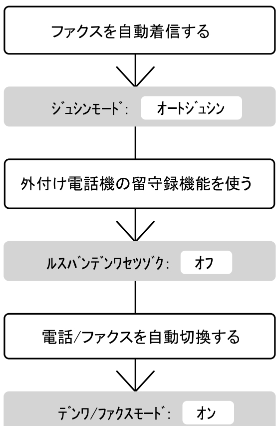
# ファクスを受信する（外付け電話機を接続する）

## 自動受信（電話 / ファクス自動切替え）

外付け電話機を本機に接続している場合に設定します。着信後、相手がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して動作します。




自動受信（電話 / ファクスモード）で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

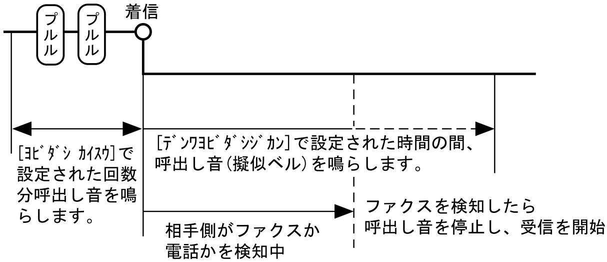



- ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］－［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ
- ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］－［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］: ｵﾝ
- ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］－［ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ］: ｵﾌ

＜相手側がファクスのとき＞

ファクスを受信した場合、自動的にファクス受信を開始します。

受話器をとって相手側がファクスであった（ポーポー音が聞こえた）場合、ファクス受信に切替えるには、[スタート] キーを押してください。ファクス受信が開始されます。

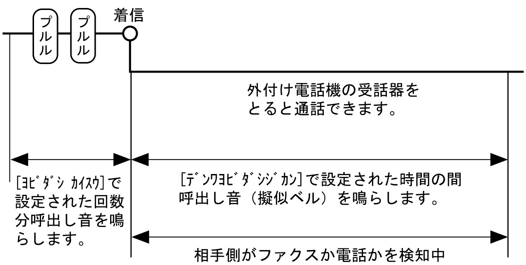



＜相手側が電話のとき＞

電話を受信した場合、まず電話機から呼び出し音が鳴り、その後本機の呼び出し音が鳴ります。

電話機または本機の呼び出し音が鳴っている間に受話器を上げると通話ができます。

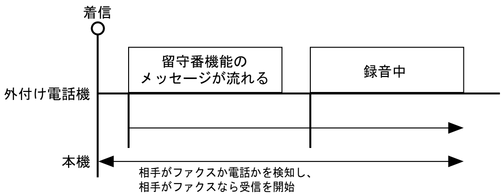
受話器を上げない場合、本機の呼び出し音が鳴り終わるとファクス受信に自動的に切り替わります。「ﾂｳｼﾝｴﾗｰ」が表示されることがありますが、次の受信の際にエラー表示は自動的に解除されますのでそのままお使いください。



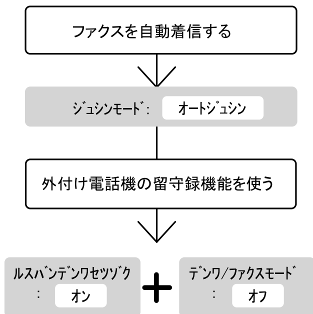

本機の「ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵﾝ」の状態で着信した場合、電話機に出なかった場合でも相手側に通話料がかかります。

## 自動受信（外付け電話機の留守番機能を使用）

外付け電話機を本機に接続している場合に設定します。ファクス優先で使用し、常に外付け電話機の留守番機能を設定している場合に、このモードに設定しておくと便利です。着信すると外付け電話機の留守番機能メッセージが流れ、相手先がファクスであれば自動的に受信を開始します。




外付け電話機の留守番機能を使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。




- ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ － ［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］ － ［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ
- ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ － ［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］ － ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ －
  ［ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］：ｵﾌ
- ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］ － ［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］ － ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ －
  ［ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ］：ｵﾝ

＜相手側がファクスのとき＞

外付け電話機の留守番機能から本機に自動的に切替わり、受信を開始します。

外付け電話機の留守番機能を接続して使用する場合は、設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、外付け電話機側の応答するまでの呼び出し回数は 20 秒以内の回数を設定してください。
設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」については「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」の「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.61）をごらんください。

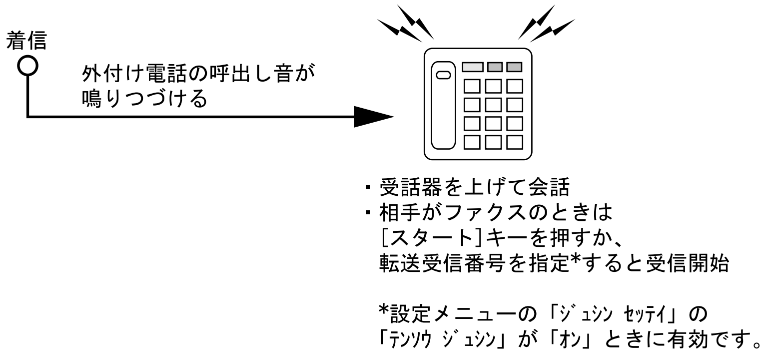
<相手側が電話のとき>

送信側に対して留守番機能のメッセージが流れます。

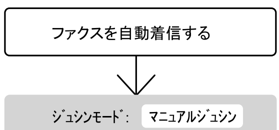
外付け電話機の留守番機能を利用しない場合は必ず「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾌ」にしてください。詳しくは、「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.61）をごらんください。

## 手動受信（主に電話専用）

外付け電話機を本機に接続し電話として使用することが多い場合にマニュアル受信モードにしておくと便利です。受話器をあげて［スタート］キーを押すことで、ファクス受信も可能です。




手動受信で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。




■ ［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］－［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ

転送受信を行う場合は以下のように設定してください。
［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾃﾝｿｳ ｼﾞｭｼﾝ］: ｵﾝ

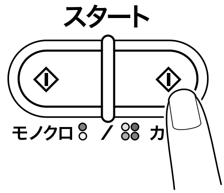
1 電話が鳴ったら、受話器を上げます。

2 ［スタート］キーを押すか、外付け電話機で転送受信番号を押し、［⁎］キーを押します。
ファクス受信が始まります。

コピーモードまたはスキャンモードになっている場合は、ファクスモードに変更してください。

電話での会話が終了後、[スタート] キーを押すか、外付け電話機で転送受信番号を押し、[*] キーを押すとファクス受信をします。

転送受信番号を使用するには、設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾃﾝｿｳ ｼﾞｭｼﾝ」を「ｵﾝ」にし、転送受信番号を設定してください。詳しくは、「受信設定メニュー」（p.66）をごらんください。




3 受話器を置きます。

スリープモード中の場合は、操作パネルのいずれかのキーを押してください。ウォームアップ後、[スタート] キーを押すと手動受信を開始します。

# 受信ファクスを転送する

転送とは、受信文書が本機で指定した相手先に送信される機能です。

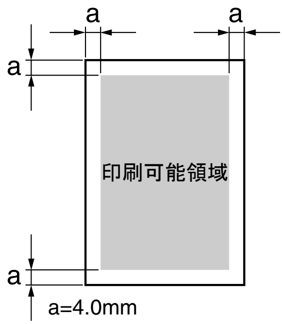
転送先には、ファクス番号、メールアドレスを設定できます。

転送先の設定のしかたについては、「転送設定をする」（p.78）をごらんください。

# 受信したファクスを印刷する

## 印刷可能領域について

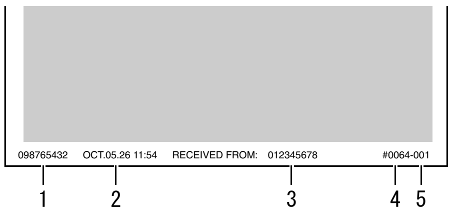
すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。アプリケーションベースでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。




印刷可能領域は、相手先の原稿読み込み領域によって変わることがあります。

## 送信者情報を追加して印刷する

設定メニューの「ﾌｯﾀ」を「ｵﾝ」にすると、受信ファクスを印刷するときに、送信者のファクス番号、受信日時、セッション番号、ページ番号を、ページ下部の端から 4.0 mm の部分に印字できます。




| No. | 項目 | 説明 |
|---|---|---|
| 1 | 本機のファクス番号 | 設定メニューの［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ］で設定されているファクス番号が表示されます。 |
| 2 | 受信日時 | ファクスが受信された日時が表示されます。時刻は 24 時間形式で表示されます。 |
| 3 | 送信者のファクス番号 | 送信者のファクス番号が表示されます。 |
| 4 | セッション番号 | ファクスを受信するセッション番号が表示されます。 |
| 5 | ページ番号 | ページ番号が表示されます。 |

フッタを印字するには、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾌｯﾀ」の設定を「ｵﾝ」にしてください。詳しくは、「受信設定メニュー」（p.66）をごらんください。

# 受信時の記録方法について

受信文書の長さと実際に記録される文書の関係は、下記のとおりです。

設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ」の設定により、記録方法が異なります。

ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ：ｵﾝ

縮小の場合、縦方向の画像のみが縮小されます。

| 印刷用紙サイズ | 「ﾌｯﾀ」設定 | 受信画像長（mm） | 記録方法 |
|---|---|---|---|
| A4 | ｵﾌ | 289 以下 | 1 ページに等倍（100%）で記録 |
| | | 290 ～ 313 | 1 ページに 289 mm の画像長に縮小して記録 |
| | | 314 ～ 570 | 2 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 571 ～ 851 | 3 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 852 ～ | 4 ページに分割して等倍（100%）で記録… |
| | ｵﾝ | 285 以下 | 1 ページに等倍（100%）で記録 |
| | | 286 ～ 309 | 1 ページに 285 mm の画像長に縮小して記録 |
| | | 310 ～ 562 | 2 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 563 ～ 839 | 3 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 840 ～ | 4 ページに分割して等倍（100%）で記録… |
| レター | ｵﾌ | 271 以下 | 1 ページに等倍（100%）で記録 |
| | | 272 ～ 295 | 1 ページに 271 mm の画像長に縮小して記録 |
| | | 296 ～ 534 | 2 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 535 ～ 797 | 3 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 798 ～ | 4 ページに分割して等倍（100%）で記録… |

| 印刷用紙サイズ | 「ﾌｯﾀ」設定 | 受信画像長（mm） | 記録方法 |
|---|---|---|---|
| | ｵﾝ | 267 以下 | 1 ページに等倍（100%）で記録 |
| | | 268 ～ 291 | 1 ページに 267 mm の画像長に縮小して記録 |
| | | 292 ～ 526 | 2 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 527 ～ 785 | 3 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 786 ～ | 4 ページに分割して等倍（100%）で記録… |
| リーガル | ｵﾌ | 348 以下 | 1 ページに等倍（100%）で記録 |
| | | 349 ～ 371 | 1 ページに 347 mm の画像長に縮小して記録 |
| | | 372 ～ 688 | 2 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 689 ～ 1028 | 3 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 1029 ～ | 4 ページに分割して等倍（100%）で記録… |
| | ｵﾝ | 344 以下 | 1 ページに等倍（100%）で記録 |
| | | 345 ～ 368 | 1 ページに 343 mm の画像長に縮小して記録 |
| | | 369 ～ 680 | 2 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 681 ～ 1016 | 3 ページに分割して等倍（100%）で記録 |
| | | 1017 ～ | 4 ページに分割して等倍（100%）で記録… |

ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ : ｵﾌ

| 印刷用紙サイズ | 「ﾌｯﾀ」設定 | 受信画像長（mm） | 記録方法 |
|---|---|---|---|
| A4 | ｵﾌ | 289 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 290 ～ 570 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 571 ～ 851 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 852 ～ | 4 ページ以上に分割して記録 |
| | ｵﾝ | 285 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 286 ～ 562 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 563 ～ 839 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 840 ～ | 4 ページ以上に分割して記録 |
| レター | ｵﾌ | 271 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 272 ～ 534 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 535 ～ 797 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 798 ～ | 4 ページ以上に分割して記録 |
| | ｵﾝ | 267 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 268 ～ 526 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 527 ～ 785 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 786 ～ | 4 ページ以上に分割して記録 |
| リーガル | ｵﾌ | 348 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 349 ～ 688 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 689 ～ 1028 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 1029 ～ | 4 ページ以上に分割して記録 |

| 印刷用紙サイズ | 「ﾌｯﾀ」設定 | 受信画像長（mm） | 記録方法 |
|---|---|---|---|
| | ｵﾝ | 344 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 345 ～ 680 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 681 ～ 1016 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 1017 ～ | 4 ページ以上に分割して記録 |

ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ : ｶｯﾄ

1 ページ以内に納まらない画像は、最大 24 mm までカットされます。24 mm 以上の場合、次ページへプリントされます。

| 印刷用紙サイズ | 「ﾌｯﾀ」設定 | 受信画像長（mm） | 記録方法 |
|---|---|---|---|
| A4 | ｵﾌ | 289 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 290 ～ 313 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録 |
| | | 314 ～ 570 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 571 ～ 594 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録 |
| | | 595 ～ 851 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 852 ～ | 3 ページに分割して記録 ... |
| | ｵﾝ | 285 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 286 ～ 309 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録 |
| | | 310 ～ 562 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 563 ～ 586 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録 |
| | | 587 ～ 839 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 840 ～ | 3 ページに分割して記録 ... |

| 印刷用紙サイズ | 「ﾌｯﾀ」設定 | 受信画像長（mm） | 記録方法 |
|---|---|---|---|
| レター | ｵﾌ | 271 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 272 ～ 295 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録 |
| | | 296 ～ 534 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 535 ～ 558 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録 |
| | | 559 ～ 797 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 798 ～ | 3 ページに分割して記録 ... |
| | ｵﾝ | 267 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 268 ～ 291 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録 |
| | | 292 ～ 526 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 527 ～ 550 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録 |
| | | 551 ～ 785 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 786 ～ | 3 ページに分割して記録 ... |
| リーガル | ｵﾌ | 348 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 349 ～ 371 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録 |
| | | 372 ～ 688 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 689 ～ 712 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録 |
| | | 713 ～ 1028 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 1029 ～ | 3 ページに分割して記録 ... |

| 印刷用紙サイズ | 「ﾌｯﾀ」設定 | 受信画像長（mm） | 記録方法 |
|---|---|---|---|
| | ｵﾝ | 344 以下 | 1 ページに記録 |
| | | 345 ～ 368 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録 |
| | | 369 ～ 680 | 2 ページに分割して記録 |
| | | 681 ～ 704 | 受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録 |
| | | 705 ～ 1016 | 3 ページに分割して記録 |
| | | 1017 ～ | 3 ページに分割して記録 ... |

# 7

# 相手先を登録する

# ダイアル登録機能について

頻繁に使うファクス番号は、ダイアル登録機能に登録でき、送信時に簡単に呼び出すことができます。また、登録することで、ファクス番号の入力エラーを防ぐことができます。

登録には、以下の種類があります。

- お気に入り：短縮ダイアルおよびグループダイアルで頻繁に使う相手先を、お気に入りに登録し、ファクス番号の呼び出しをスピードアップできます。登録のしかたについては、「お気に入り」（p.169）をごらんください。
- 短縮ダイアル：短縮ダイアルにファクス番号を登録します。ファクス送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、ファクス番号を呼び出すことができます。登録のしかたについては、「短縮ダイアル」（p.176）をごらんください。
- グループダイアル：複数の相手先をグループとしてまとめて、グループダイアルに登録します。ファクス送信時には、グループダイアル番号を入力して、同報送信のファクス番号を呼び出します。登録のしかたについては、「グループダイアル」（p.184）をごらんください。

相手先を短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録すると、検索機能を使用して、相手先を検索できるようになります。検索機能の使用方法については、「リスト機能で検索して送信する」（p.103）または「検索機能で検索して送信する」（p.106）をごらんください。

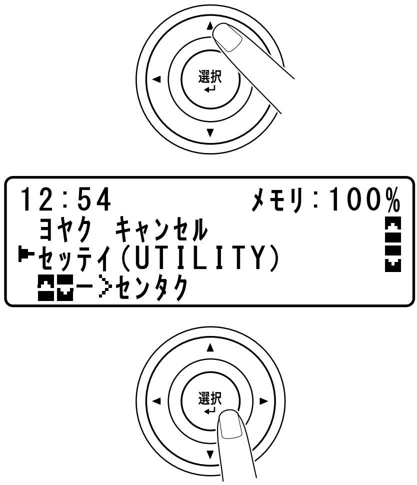
# お気に入り

## 相手先をお気に入りへ登録する

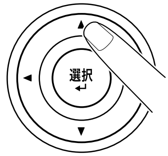
短縮ダイアルおよびグループダイアルで頻繁に使う相手先を、お気に入りに登録し、ファクス番号の呼び出しをスピードアップできます。最大 20 件をお気に入りに登録できます。

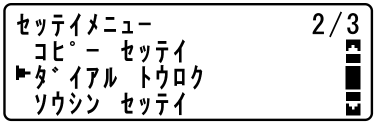
相手先をお気に入りへ登録する場合は、あらかじめ短縮ダイアルまたはグループダイアルへ登録してください。

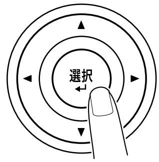
1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｨ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。



2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。




3 「ｵｷﾆｲﾘ」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。
ｵｷﾆｲﾘ画面が表示されます。

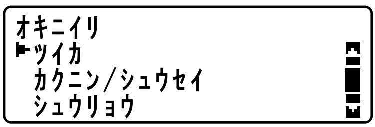
お気に入りをはじめて登録する場合は、手順 5 へ進みます。

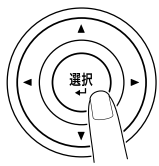






4 「ﾂｲｶ」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

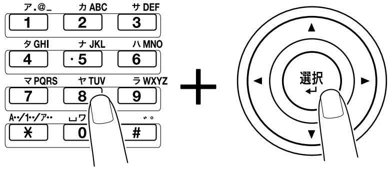


5 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

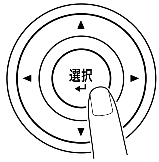
– グループダイアル番号を登録したい場合は、［登録宛先］キーを押し、グループダイアル番号（1 ～ 20）を入力後、［選択］キーを押します。



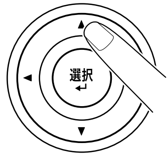

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

6 もう一度、［選択］キーを押します。

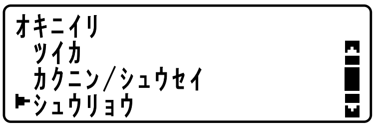


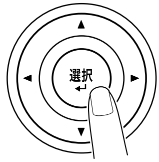

7 ［▼］／［▲］キーで、「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。

– お気に入りへさらに追加したい場合は、「ﾂｲｶ」を選択し、［選択］キーを押します。手順 4 ～ 6 を繰り返します。




相手先がお気に入りへ登録されます。



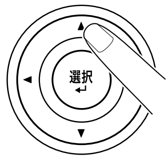




ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、［戻る］キーを押すか、［ストップ / リセット］キーを押します。

## 相手先をお気に入りから削除する

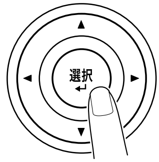
登録したお気に入りの相手先は削除できます。

1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) 」を選択し、［選択］キーを押します。

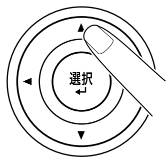


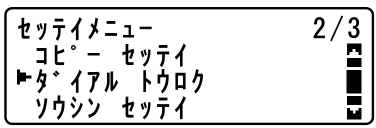


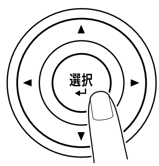





2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

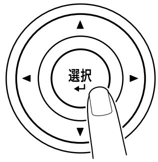


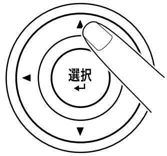



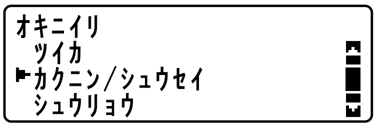
3 「ｵｷﾆｲﾘ」が選択されていることを確認し、[選択] キーを押します。
ｵｷﾆｲﾘ画面が表示されます。

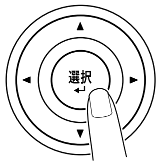


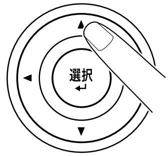

4 [▼] ／ [▲] キーで、メニューの「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し、[選択] キーを押します。



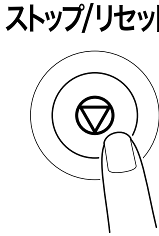



5 ［▼］／［▲］キーで、削除したい相手先を選択し、［ストップ/リセット］キーを押します。










6 「ﾊｲ」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

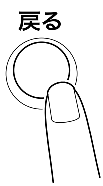




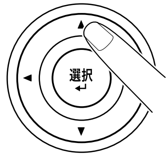


7 ［戻る］キーを押します。

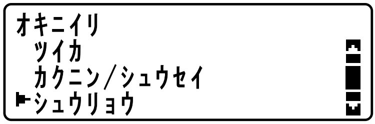
別の相手先を続けて削除する場合は、手順5以降を繰り返します。

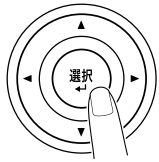


**8** ［▼］／［▲］キーで、「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。
相手先がお気に入りから削除されます。




ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、［戻る］キーを押すか、［ストップ / リセット］キーを押します。



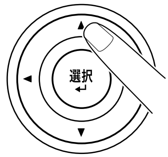



# 短縮ダイアル

## 短縮ダイアルを登録する

頻繁に使うファクス番号を、短縮ダイアルに登録します。または、一括送信設定を登録できます。（最大 220 件）

1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

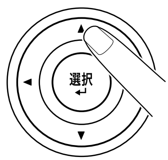






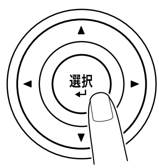



2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

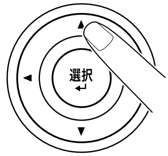






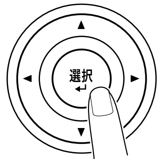


**3** ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ画面が表示されます。

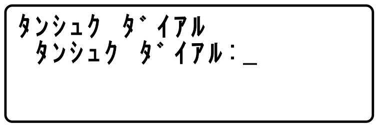


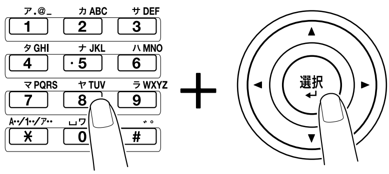







**4** テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。



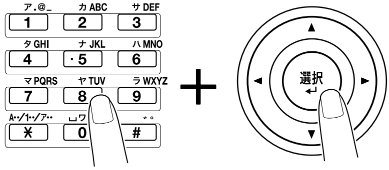

LDAP 検索が設定されている場合は、［選択］キーを押したあと、「ｼｭﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ」または「LDAP ｹﾝｻｸ」を選択する画面が表示されます。「ｼｭﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ」を選択し、［選択］キーを押してください。

文字の入力／修正については「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

選択した短縮ダイアル番号にすでに相手先が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ !」というメッセージが表示されます。［戻る］キーを押してﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ画面に戻り、手順 3 からやり直してください。

5 相手先の名前を入力し、[選択] キーを押します。



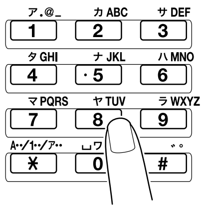




名前には半角（カタカナ、英数字、記号）20 文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」(p.216）をごらんください。

6 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。



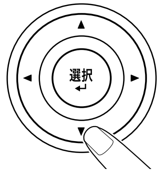



ファクス番号は、半角（数字、スペース、*、#、-、P( ポーズ )）50 文字まで入力できます。

P（ポーズ）は [ リダイアル / ポーズ ] キーを押して入力しますが、ファクス番号の先頭には入力できません。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」(p.216）をごらんください。

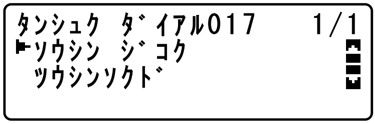
7 [▼] キーを押します。

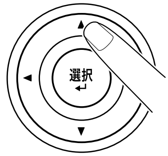


8 ［▼］／［▲］キーで、さらに設定する項目を選択します。

– 一括送信を設定する場合は、「ｿｳｼﾝ ｼﾞｺｸ」を選択し、［選択］キーを押します。手順 9 へ進みます。

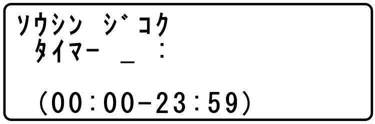
– モデムスピードを設定する場合は、「ﾂｳｼﾝｿｸﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。手順 10 へ進みます。

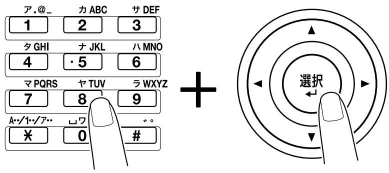



9 テンキーで一括送信時間を入力し、［選択］キーを押します。
一括送信が設定されます。手順 11 へ進みます。

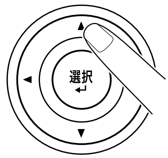
文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

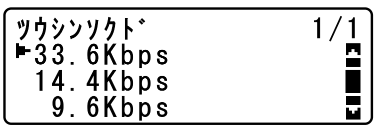



10 ［▼］／［▲］キーで、目的のモデムスピードを選択し、［選択］キーを押します。
モデムスピードが設定されます。手順 11 へ進みます。

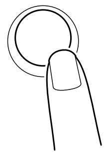
送信エラーが発生する場合、14.4 または 9.6 のモデムスピードを選択してください。



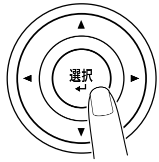






11 ［戻る］キーを押します。




12 ［選択］キーを押します。
入力した情報が、短縮ダイアル番号に登録されます。

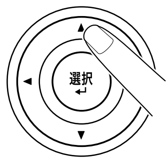



ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、［戻る］キーを押すか、［ストップ / リセット］キーを押します。

## 短縮ダイアルを変更、削除する

登録した短縮ダイアルの情報は修正できます。

1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

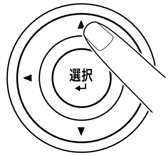


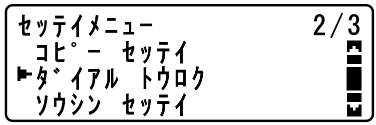


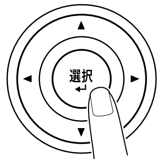




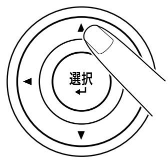
2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。



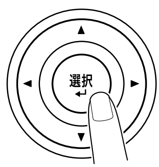




3 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ画面が表示されます。

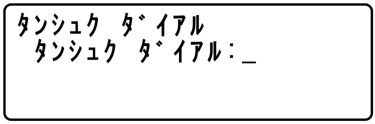


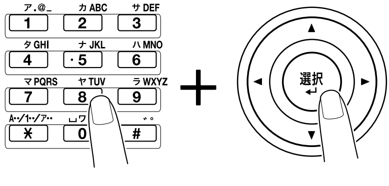






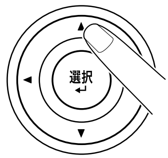
**4** テンキーで編集／削除したい短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。




文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

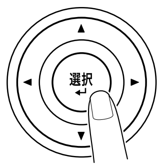
**5** ［▼］／［▲］キーで、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、［選択］キーを押します。




– 「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、短縮ダイアルの名前が表示されます。手順 6 へ進みます。




– 「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、短縮ダイアルに登録された情報が削除されます。削除の場合、ここで手順は終了です。



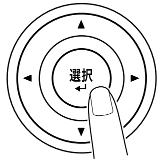

**6** 名前、ファクス番号、モデムスピード、一括送信設定を必要に応じて変更します。

編集した短縮ダイアルが、お気に入り、グループダイアル、転送設定に登録されている場合、変更後の短縮ダイアルをそれぞれの登録に残すかどうか確認するメッセージが表示されます。残す場合は、「ﾊｲ」、残さない場合は、「ｲｲｴ」を選択し、［選択］キーを押します。

メモリに一括送信待機中の文書がある場合に一括送信時間を変更しても、メモリ中の文書は変更前の時間で送信されます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

7 変更が終了したら、[選択]
キーを押します。
短縮ダイアルに登録されている
相手先情報が変更されます。



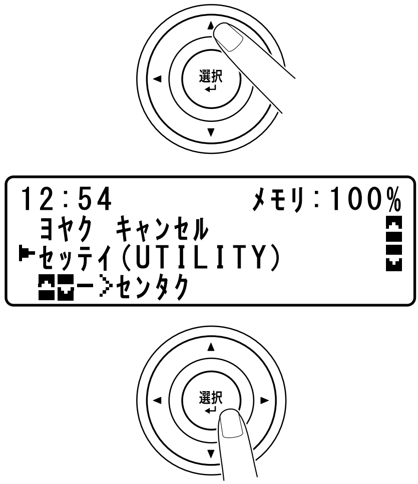
# グループダイアル

## グループダイアルを登録する

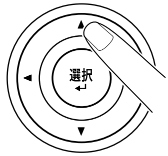
頻繁に使う同報送信のファクス番号をグループダイアルに登録できます。1つのグループダイアルに最大 50 件登録可能です。

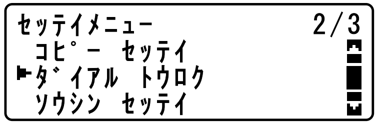
相手先をグループダイアルへ登録する場合は、あらかじめ短縮ダイアルへ登録してください。

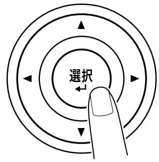
1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ（UTILITY）」を選択し、［選択］キーを押します。



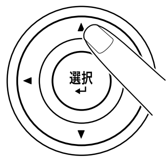
2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

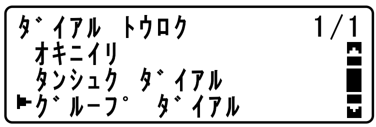


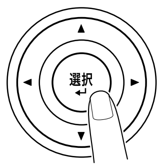



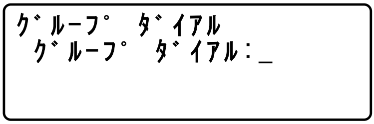

3 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ画面が表示されます。

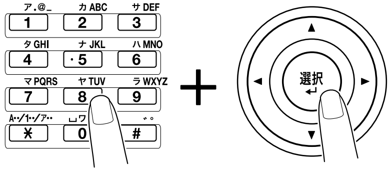


4 テンキーでグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

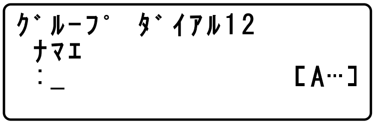


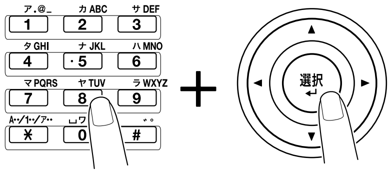




文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

選択したグループダイアル番号にすでに相手先が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ!」というメッセージが表示されます。［戻る］キーを押してﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ画面に戻り、手順 3 からやり直してください。

5 グループダイアルの名前を入力し、［選択］キーを押します。

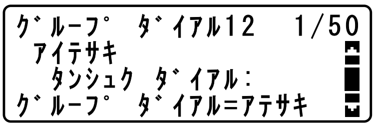


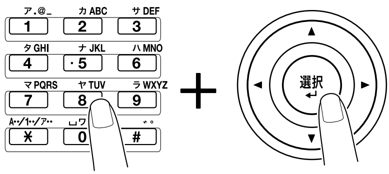




名前には半角（カタカナ、英数字、記号）20 文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

6 テンキーでグループダイアルに登録する短縮ダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。

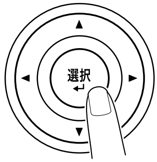



グループダイアルに登録されているグループダイアル番号を登録する場合は、［登録宛先］キーを押してグループダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。

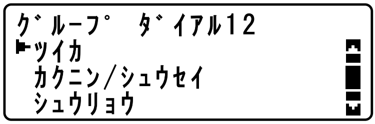
文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

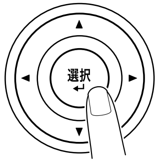
7 もう一度、[選択] キーを押します。




8 「ﾂｲｶ」が選択されていることを確認して、[選択] キーを押します。すべての相手先を指定するまで、手順 6 ～ 8 を繰り返します。

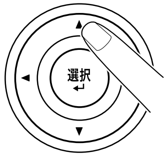
– 相手先の指定を終了する場合は、手順 9 へ進みます。

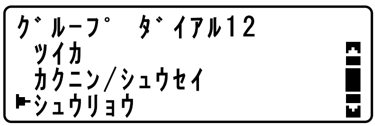


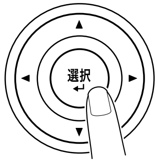




9 [▼] ／ [▲] キーで、「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、[選択] キーを押します。
複数宛先がグループダイアルに登録されます。

ファクスモード画面に戻るには、ファクスモード画面が表示されるまで、[戻る] キーを押すか、[ストップ / リセット] キーを押します。



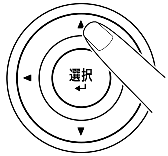



## グループダイアルを変更、削除する

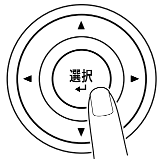
登録したグループダイアルの情報を修正できます。

1 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

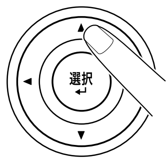


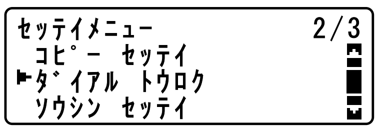


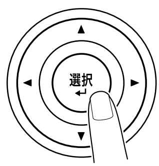




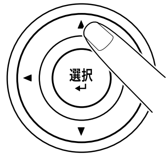

2 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。



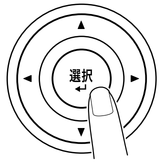



3 ［▼］／［▲］キーで、メニューの「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ画面が表示されます。



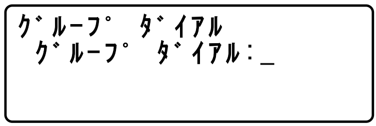


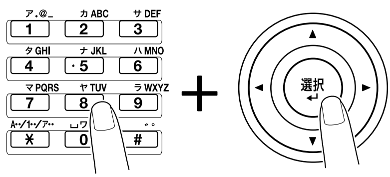





4 テンキーで編集／削除したいグループダイアル番号を入力し、［選択］キーを押します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

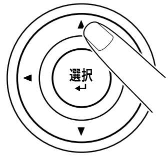


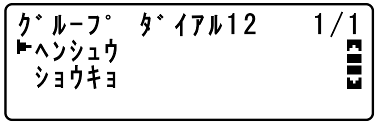



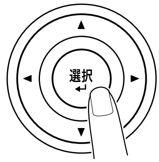
5 ［▼］／［▲］キーで、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、［選択］キーを押します。

– 「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、グループダイアルの名前が表示されます。手順 6 へ進みます。

– 「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、グループダイアルに登録された情報が削除されます。削除の場合、ここで手順は終了です。

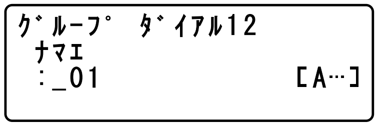


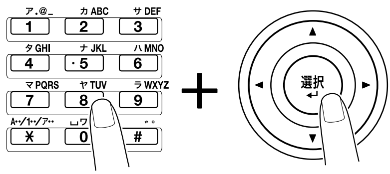




6 グループ名を変更したい場合は、新しいグループ名を入力して、［選択］キーを押します。

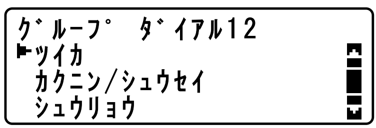
文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.216）をごらんください。

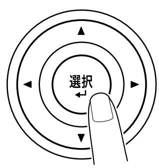


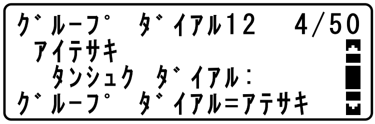

7 相手先を追加／削除します。

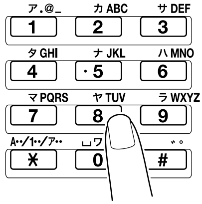
– 相手先を追加する場合は、「ﾂｲｶ」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。

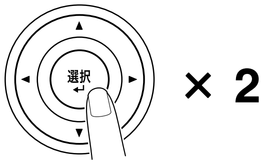


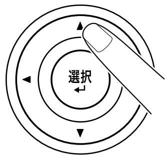
短縮ダイアル番号を入力し、［選択］キーを押し、もう一度［選択］キーを押します。

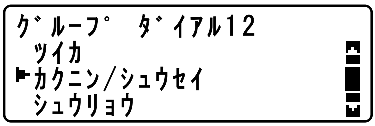


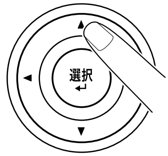

– 相手先を削除する場合は、［▼］／［▲］キーで、「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

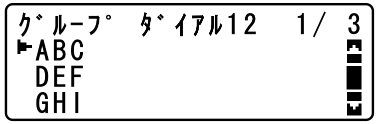


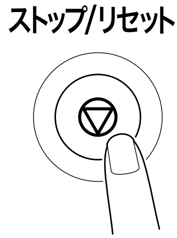






［▼］／［▲］キーで、削除したい相手先を選択し、［ストップ/リセット］キーを押します。



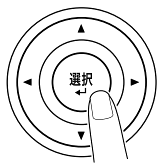



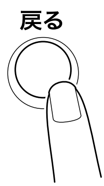

「ﾊｲ」が選択されていることを確認して、［選択］キーを押します。

グループダイアルに登録されている相手先が削除されます。

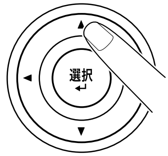


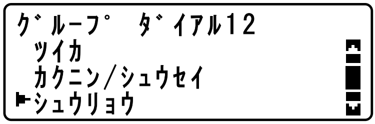



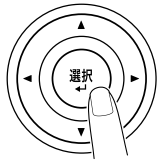

［戻る］キーを押します。



8 ［▼］／［▲］キーで、「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。
グループダイアルに登録されている情報が変更されます。



# 8 通信管理

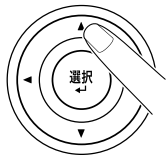
# カウンターについて

本機がインストールされてから行われた操作を、メニューの「ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ」で確認できます。ファクス関連のカウンタのチェック方法は以下のとおりです。

## ファクスプリントのカウンターを確認する

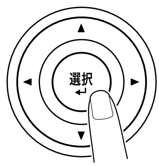
このカウンターは、本機が設置されてからの総印刷枚数を示しています。

1 ［▼］／［▲］キーで、「ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ」を選択し、［選択］キーを押します。

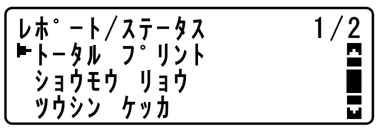


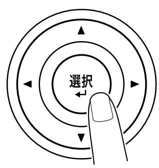






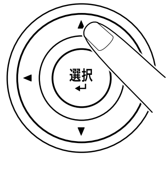

2 「ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。
ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ画面が表示されます。

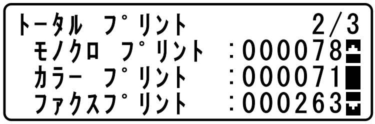


3 ［▼］／［▲］キーで画面をスクロールし、「ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ」を表示させます。
ファクスでの総印刷枚数を確認できます。

ファクスモード画面に戻るには、［ストップ/リセット］キーを押します。

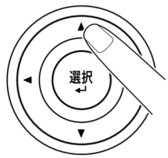



## スキャン合計のカウンターを確認する

本機がインストールされてから行われたコピー以外の総スキャン回数を示しています。

1 ［▼］／［▲］キーで、「ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ」を選択し、［選択］キーを押します。

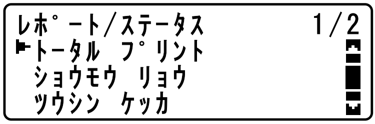


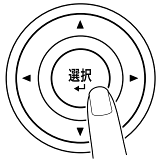




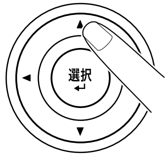


2 「ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ」が選択されていることを確認し、［選択］キーを押します。
ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ画面が表示されます。

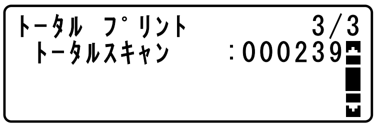



3 ［▼］／［▲］キーで画面をスクロールし、「ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝ」を表示させます。
ファクスでの総スキャン回数を確認できます。



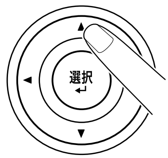

ファクスモード画面に戻るには、［ストップ/リセット］キーを押します。



# 送信／受信結果をディスプレイで確認する

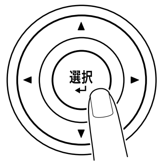
最大 60 件の送受信結果をメッセージウィンドウで確認できます。

1 ［▼］／［▲］キーで、「ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ」を選択し、［選択］キーを押します。





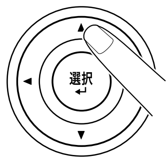


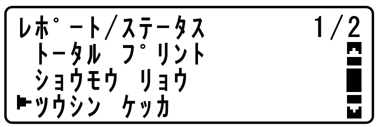


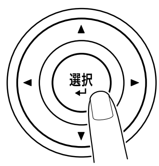

2 ［▼］／［▲］キーで、「ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ」を選択し、［選択］キーを押します。
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ画面が表示され、通信の履歴が表示されます。

［スタート］キーを押すと、メッセージウィンドウに表示されている通信結果の詳細なレポートを出力できます。

ファクスモード画面に戻るには、［選択］キーを押します。



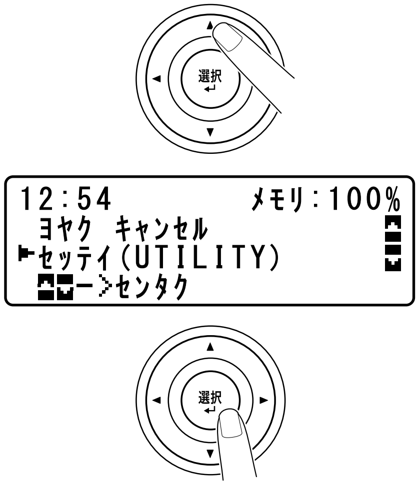



# レポートとリストについて

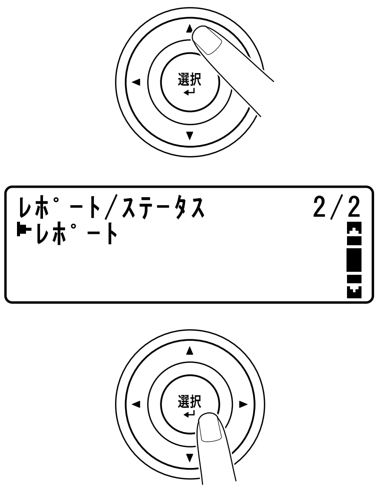
ファクス送受信状態のレポートや短縮ダイアルの内容などを印刷できます。以下のレポートとリストを印刷できます。

## レポートとリストを印刷する

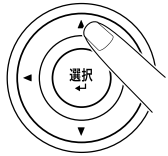
1 ［▼］／［▲］キーで、「ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ」を選択し、［選択］キーを押します。




2 ［▼］／［▲］キーで、「ﾚﾎﾟｰﾄ」を選択し、［選択］キーを押します。

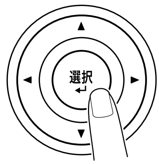


3 ［▼］／［▲］キーで、目的のレポートを選択し、［選択］キーを押し、［スタート］キーを押します。
レポートが印刷されます。










## ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

セッション番号、受信者名、送信日、送信開始時間、送信ページ数、送信にかかった時間、モード、送信結果が印刷されます。

送信結果レポートの印刷のしかた（送信毎：オン、エラー時のみ：オン（エラー）、印刷しない：オフ）を設定できます。詳しくは、「レポート設定メニュー」（p.69）をごらんください。

| SESSION | FUNCTION | NO. | DESTINATION STATION | DATE | TIME | PAGE | DURATION | MODE | RESULT |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0001 | TX | 001 | ﾄｳｷｮｳ ｴｲｷﾞｮｳ 012345678 | APR.19 | 18:00 | 010 | 00h02min21s | G3 | STOP |
| | | | 00A0:TX CANCEL | | | | | | |

## ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

セッション番号、受信日、受信開始時間、受信ページ数、受信にかかった時間、モード、受信結果が印刷されます。

受信結果レポートの印刷のしかた（受信毎：オン、エラー時のみ：オン（エラー）、印刷しない：オフ）を設定できます。詳しくは、「レポート設定メニュー」（p.69）をごらんください。

| SESSION | FUNCTION | NO. | DESTINATION STATION | DATE | TIME | PAGE | DURATION | MODE | RESULT |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0001 | RX | 001 | 098765432 | APR.19 | 18:00 | 001 | 00h02min21s | ECM | NG |
| | | | 0014:ERROR DURING RX | | | | | | |

## ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

ジョブ番号、セッション番号、通信日、送受信開始時間、通信のタイプ（送信または受信）、相手先名、送受信のページ数、通信結果が印刷されます。

通信結果レポートを送受信 60 回ごとに自動的に印刷するようセットすることができます。詳しくは、「レポート設定メニュー」（p.69）をごらんください。

| NO. | SESSION | DATE | TIME | TX/RX | DESTINATION STATION | PAGE | DURATION | MODE | RESULT |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 01 | 0001 | APR.19 | 16:32 | TX--- | ﾄｳｷｮｳ ｴｲｷﾞｮｳ<br>012345678 | 006 | 00h01min16s | ECM | OK |
| 02 | 0002 | APR.19 | 18:00 | ---RX | 098765432 | 001 | 00h02min21s | ECM | NG<br>0034 |
| 03 | 0003 | APR.19 | 18:00 | ---RX | 098765432 | 012 | 00h02min48s | ECM | OK |
| 04 | 0004 | APR.19 | 19:12 | TX--- | ﾎﾝｼｬ<br>024682468 | 001 | 00h00min56s | ECM | OK |

## ﾂｳｼﾝ ﾖﾔｸ ﾘｽﾄ

送信待ち文書およびタイマー送信（一括送信も含む）の文書のリストです。
セッション番号、送信タイプ、時刻、相手先名、ページ数が印刷されます。

| SESSION | FUNCTION | TIME | NO. | DESTINATION STATION | PAGE |
|---|---|---|---|---|---|
| 0001 | TX | 18:00 | 001 | SP-001 ﾄｳｷｮｳ ｴｲｷﾞｮｳ<br>012345678 | 012 |

## ﾖﾔｸ ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ

メモリに蓄積されている文書の 1 ページ目の縮小画像を印刷できます。
セッション番号、送信タイプ、相手先名、日時、ページ数が併せて印刷されます。

## ｵｷﾆｲﾘ ﾘｽﾄ

お気に入りに登録された相手先のリストが、お気に入りの表示順に印刷されます。

| FA-NO. | DESTINATION STATION | DESTINATION NUMBER | SPEED | SET DATE |
|---|---|---|---|---|
| FA-01 | ﾄｳｷｮｳ ｴｲｷﾞｮｳ | 012345678 | 33.6 | JAN.20.2006 |
| FA-02 | ｵｵｻｶ ｴｲｷﾞｮｳ | 098765432 | 33.6 | JAN.20.2006 |
| FA-03 | ﾎﾝｼｬ | 024682468 | 33.6 | FEB.12.2006 |
| FA-04 | ﾌｸｵｶ ｴｲｷﾞｮｳ | 0224466880 | 12.8 | FEB.12.2006 |

## ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

短縮ダイアル番号に登録された相手先のリストが、短縮ダイアル番号の順に印刷されます。一括送信設定が登録されている短縮ダイアル番号には、「DETAIL」に時刻が表示されます。

| SP-NO. | DESTINATION STATION | DESTINATION NUMBER | DETAIL | | SET DATE |
|---|---|---|---|---|---|
| SP-001 | ｱﾑｽﾃﾙﾀﾞﾑ ｼｼｬ | 0P09876543 | 23:00 | 33.6 | JAN.20.2006 |
| SP-002 | ｶﾝｺｸ ｼｼｬ | 0P01357913 | | 33.6 | JAN.20.2006 |
| SP-003 | ABCDEF | 024682468 | | 33.6 | FEB.12.2006 |
| SP-004 | ﾕｳﾋﾞﾝｷｮｸ | 0224466880 | | 14.4 | FEB.12.2006 |

## ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

グループダイアルのリストが、グループダイアル番号の順に印刷されます。

| KEY-NO. | NAME | NO. | DESTINATION STATION |
|---|---|---|---|
| GP-01 | GROUP-01 | 01 | SP-002 ﾄｳｷｮｳ ｴｲｷﾞｮｳ<br>098765432 |
| | | 02 | SP-004 ﾌｸｵｶ ｴｲｷﾞｮｳ<br>0P02345678 |
| | | 03 | SP-001 ｱﾑｽﾃﾙﾀﾞﾑ ｼｼｬ<br>0P09876543 |

## ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ

メニュー一覧と設定内容を印刷します。

## ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ

本機のおおよそのトナー残量、状態、情報、設定内容を印刷します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ（Configuration Page）で表示される消耗品の残量表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

## ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ

デモページを印刷します。

# 9 トラブルシューティング

# 送信時のトラブル

うまく送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.210）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、「プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

| **トラブルの内容** | **原因** | **処置のしかた** |
|---|---|---|
| 原稿が読み込まれない。 | 原稿が厚すぎるか、薄すぎませんか？ | 原稿ガラスを使って読み込んでください。 |
| 原稿が斜めに読み込まれる | ADF のガイド板が原稿の幅に合っていますか？ | ADF のガイド板が原稿の幅に合わせてください。 |
| 相手先で受信した画像が不鮮明 | 原稿が正しくセットされていますか？ | 原稿を正しくセットしてください。 |
| | 原稿ガラスが汚れていませんか？ | 原稿ガラスを清掃してください。 |
| | 原稿の文字が薄くないですか？ | 濃度を設定してください。 |
| | 電話線が正しく接続されていますか？ | 電話線の接続を確認し、もう一度送信しなおしてください。 |
| | 回線状態か、受信側に問題はありませんか？ | 本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認し、コピーの画像が鮮明なときは、相手先のファクス機の状態を確認してください。 |
| 相手先で受信した画像が白紙になる | 送る面を下にしてセットしていませんか？（ADF 使用時） | 送る面を上にして原稿をセットしなおしてください。 |

| トラブルの内容 | 原因 | 処置のしかた |
|---|---|---|
| 送信できない | 送信の手順は正しいですか？ | 送信手順を確認して、もう一度送信してください。 |
| | 番号が間違っていませんか？ | 番号を確認してください。 |
| | お気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルは、正しく登録されていますか？ | 正しく登録されているかを確認してください。 |
| | 電話線の接続は正しいですか？ | 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。 |
| | 受信側に原因がありませんか？（用紙切れや電源） | 相手先に確認してください。 |

# 受信時のトラブル

うまく受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.210）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、「プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル ) をごらんください。

| トラブルの内容 | 原因 | 処置のしかた |
|---|---|---|
| 受信した記録紙が白紙になる | 回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？ | 本機でコピーをとって確認してくださいコピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。 |
| | 相手先が原稿を裏表逆にセットしていませんか？ | 相手先に確認してください。 |
| 自動着信されない | 手動受信に設定されていませんか？ | ■ 自動着信に設定してください。<br>■ スリープモード中の場合は、操作パネルのいずれかのキーを押してください。ウォームアップ後、［スタート］キーを押すと手動受信を開始します。 |
| | メモリがいっぱいになっていませんか？ | 用紙がなくなっているときは用紙をセットして、メモリに蓄積されている文書を印刷してください。 |
| | 電話線の接続は正しいですか？ | 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。 |
| | 送信側に原因がありませんか？ | 本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。 |

# その他のトラブル

| トラブルの内容 | 原因 | 処置のしかた |
|---|---|---|
| 一括送信の送信件数と送信結果レポートの数が一致しない。 | メモリがいっぱいになっています。 | 一括送信時にメモリがいっぱいになると、送信件数と送信結果レポートの数が一致しない場合があります。 |

# エラーメッセージ

| エラーメッセージ | 原因 | 処置のしかた |
|---|---|---|
| 10 ｷｰ ﾆ ﾖﾙ ｱｲﾃｻｷ ｶﾞ 16 ｹﾝ ｦ ｺｴﾏｼﾀ | 直接入力による相手先のファクス番号が 16 件を超えました。 | 相手先のファクス番号の数を 16 件以内に設定してください。 |
| ﾌｧｸｽ ｶﾞｿﾞｳ ｶﾞ ｷｴﾏｼﾀ | メモリーに蓄積されているデータが消去されました。 | 印刷されるエラーレポートに従い、送信データを再度読み込ませるか、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。 |
| PC ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ<br>ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ！ | 本機が LSU (Local Setup Utilitiy) または PageScope Web Connection の管理者モードで設定中です。 | ■ PageScope Web Connection の管理者モードをログオフしてください。<br>■ LSU (Local Setup Utilitiy) を終了させてください。<br>■ 600 秒間、何も操作がなければ、基本画面が表示されます。 |
| ｻｲﾃｷﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (XXX) | ファクス印刷可能な用紙がトレイ 1 にセットされていません。 | ■ 適切な用紙をトレイ 1 にセットし、トレイ 1 にセットした用紙サイズを操作パネルで再設定してください。<br>■ 詳しくは、「「ｻｲﾃｷﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ / ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (XXX)」の処置のしかた」(p.212) をごらんください。 |
| ＊ｼﾞｭﾜｷ ｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ＊ | 外付け電話機の受話器が外れています。 | 外付け電話機の受話器を置いてください。 |

| エラーメッセージ | 原因 | 処置のしかた |
| --- | --- | --- |
| ﾀﾞｲｱﾙ ﾃﾞｷﾏｾﾝ<br>ｶｲｾﾝ ｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ | ■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定が正しく設定されていません。<br>■ 電話線が接続されていません。 | ■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定を確認し、適切な設定をしてください。<br>■ 電話線を正しく接続してください。 |
| ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ (####) | ■ 本機に何らかの問題が起きたため、通信できません。<br>■ 相手先のファクス機に何らかの問題が起きたため、通信できません。 | 通信結果を確認してください。 |
| ﾂｳｼﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ | 相手先のファクス機が通信中か、応答がありません。 | 相手先の回線を確認し、もう一度送信しなおしてください。 |
| ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ<br>ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (1xx)<br>( ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ) | トレイ 1 の用紙が切れています。 | トレイ 1 に用紙を補充し、［スタート］キーを押してください。 |
| | トレイ 1 で紙づまりが発生しました。 | つまった用紙を取り除いて、［スタート］キーを押してください。 |
| ﾌｧｲﾙ ﾌﾙ | メモリへの登録件数が許容件数を超えています。 | 「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵﾝ」の場合、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」を解除し、メモリに蓄積している受信文書を出力してください。 |
| ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ | ファクス番号を設定する際に、メールアドレスが登録されている短縮ダイアル、グループダイアルを設定しようとしました。 | ファクス番号を直接入力するか、ファクス番号が登録されたお気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルを設定してください。 |
| ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ ｶｸﾆﾝ | コピーモードまたはスキャンモードで操作中にファクスエラーが起こりました。 | ［ファクス］キーを押して、エラーの状態を確認してください。 |

| エラーメッセージ | 原因 | 処置のしかた |
|---|---|---|
| ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ ﾃﾞｽ | ■ 送信文書のデータサイズがメモリ容量を超えています。<br>■ 受信文書のデータサイズがメモリ容量を超えています。 | ■「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵﾝ」の場合、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」を解除し、メモリに蓄積している受信文書を出力してください。<br>■ 手動で送信してください。 |

## サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

| エラーメッセージ | 原因 | 処置のしかた |
|---|---|---|
| ﾏｼﾝ ﾄﾗﾌﾞﾙ<br>ｻｰﾋﾞｽﾏﾝ ﾆ ﾚﾝﾗｸ (xxxx) | サービスメッセージ内に表示されている “xxxx” のエラーが検出されました。 | 本機を再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、本機は復旧します。<br>それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。 |

## 「ｻｲﾃｷﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ / ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (XXX)」の処置のしかた

1 メッセージが表示されている状態で何かキーを押します。

2 表示されたサイズ（XXX) をトレイ 1 にセットします。

3 「ｾｯﾃｲ (UTILITY)/ ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」を選択し、用紙をセットしたトレイ 1 の用紙サイズを変更します。

# 付録 A

# 技術仕様

| | |
|---|---|
| 適応回線 | 加入電話回線（PSTN）<br>PBX 回線 |
| 通信規格 | ECM/Super G3 |
| 伝送速度 | V.34 ～ 33.6 Kbps |
| 伝送時間 | 3 秒 / ページ ( V.34) |
| 符号化方式 | MH, MR, MMR, JBIG |
| 蓄積枚数 | 6 MB ( 約 384 ページ ) |
| 送信原稿サイズ | ADF：140 mm ～ 216 mm（幅）、<br>148 mm ～ 500 mm（長さ）<br>（355.6 mm 以上の長さは ADF 使用時のファクス送信のみ）<br>原稿ガラス：A5、A4、STATEMENT、レター |
| ファクス印刷サイズ | A4、レター、リーガル |
| 画像欠損 | 4.0 mm（先端、後端、奥側、手前側） |

| | |
|---|---|
| 送信解像度 | 標準：203 × 98 dpi<br>ファイン：203 × 196 dpi<br>スーパーファイン：203 × 392 dpi |
| PC ファクス | オペレーティングシステム：<br>Windows 2000 SP4<br>Windows Server 2003（32 bit/64 bit）<br>Windows XP（32 bit/64 bit）<br>Windows Vista（32 bit/64 bit)<br>Windows Server 2008（32 bit/64 bit）<br>Windows 7（32 bit /64 bit）<br>インターフェース：<br>USB 2.0 (High Speed)<br>ネットワーク（TCP/IP（RAW ポート、LPR)）<br>コンピュータ：<br>CPU：Pentium 200MHz 以上（Pentium 4/ 1.6GHz 推奨）<br>RAM：128 MB 以上（256 MB 推奨）<br>ドライバ言語：<br>GDI<br>符号化方式：<br>JBIG |

その他の仕様については、「プリンタ / コピー / スキャナユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

# 入力のしかた

## 入力できる文字

テンキーを使って、数字、アルファベット、記号、カタカナを入力します。
入力可能な文字は以下のとおりです。

### ファクス番号入力時

| テンキー | [1] | [1] * | [A] * |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 1 | -1 |
| 2 | 2 | 2 | 2 |
| 3 | 3 | 3 | 3 |
| 4 | 4 | 4 | 4 |
| 5 | 5 | 5 | 5 |
| 6 | 6 | 6 | 6 |
| 7 | 7 | 7 | 7 |
| 8 | 8 | 8 | 8 |
| 9 | 9 | 9 | 9 |
| 0 | 0 | 0 | (space)0 |
| ⋇ | * | | |
| # | # | | #+ |

* ファクス番号入力の場合に適用されます。ファクス番号は［ｾｯﾃｲ (UTILITY)］-［ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ］-［ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ］-［ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ］で表示されます。

## アドレス入力時

| テンキー | [1] | [A] |
| --- | --- | --- |
| 1 | 1 | .@_-1 |
| 2 | 2 | ABC2abc |
| 3 | 3 | DEF3def |
| 4 | 4 | GHI4ghi |
| 5 | 5 | JKL5jkl |
| 6 | 6 | MNO6mno |
| 7 | 7 | PQRS7pqrs |
| 8 | 8 | TUV8tuv |
| 9 | 9 | WXYZ9wxyz |
| 0 | 0 | (space)0 |
| ＊ | | |
| # | # | +&/*=!?()%[]^` ´ {}\|$,: |

## その他

| テンキー | [1] | [A] | [ ア ] |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 1 | .,'?!"1-()@/:;_ | ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ |
| 2 | 2 | ABC2abc | ｶｷｸｹｺ |
| 3 | 3 | DEF3def | ｻｼｽｾｿ |
| 4 | 4 | GHI4ghi | ﾀﾁﾂﾃﾄｯ |
| 5 | 5 | JKL5jkl | ﾅﾆﾇﾈﾉ |
| 6 | 6 | MNO6mno | ﾊﾋﾌﾍﾎ |
| 7 | 7 | PQRS7pqrs | ﾏﾐﾑﾒﾓ |
| 8 | 8 | TUV8tuv | ﾔﾕﾖｬｭｮ |
| 9 | 9 | WXYZ9wxyz | ﾗﾘﾙﾚﾛ |

| テンキー | [1] | [A] | [ ア ] |
|---|---|---|---|
| 0 | | （スペース）0 | ﾜｦﾝ（スペース） |
| # | # | *+=#%&<>[]{}\|^` | ﾞﾟ |

## 入力モードを変更する

［⁎］キーを押すごとに、入力モードが数字、アルファベット、カタカナに切り替わります。

[1…]：数字入力モード

[A…]：アルファベット入力モード

[ｱ…]：カタカナ入力モード

## 入力例

入力手順は以下のとおりです。

例：

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ [ｱ…]
```

1 ［⁎］キーを押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :_              [ｱ…]
```

2 ［1］キーを 4 回押します。
「ｴ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴ              [ｱ…]
```

3 ［▶］キーを押します。
カーソルが右へ移動します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴ_             [ｱ…]
```

4 [1] キーを 2 回押します。
「ｲ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲ              [ｱ…]
```

5 [2] キーを 2 回押します。
「ｷ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷ             [ｱ…]
```

6 [#] キーを 1 回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞ            [ｱ…]
```

7 [8] キーを 6 回押します。
「ｮ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮ           [ｱ…]
```

8 [1] キーを 3 回押します。
「ｳ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ          [ｱ…]
```

9 [0] キーを 4 回押します。
スペースが入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ_         [ｱ…]
```

10 [2] キーを 3 回押します。
「ｸ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸ        [ｱ…]
```

11 [#] キーを 1 回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞ       [ｱ…]
```

12 ［9］キーを 3 回押します。
「ﾙ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ     [ｱ…]
```

13 ［＊］キーを 2 回押します。
入力モードがアルファベットに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ_    [A…]
```

14 ［1］キーを 8 回押します。
「-」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ-    [A…]
```

15 ［＊］キーを押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ-_   [ｱ…]
```

16 ［6］キーを 3 回押します。
「ﾌ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌ   [ｱ…]
```

17 ［#］キーを 2 回押します。
「ﾟ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ10
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ  [ｱ…]
```

## 文字修正のしかたと入力時の注意

- 入力した文字をすべて削除するには、［戻る］キーを長押しします。
- 入力した文字の 1 部を削除するには、［ ◀ ］または［ ▶ ］キーを押して、カーソル（_）を削除したい文字に移動させ、［戻る］キーを押します。
- 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、［ ▶ ］キーを押してから次の文字を入力します。（上記の入力例を参照してください。）
- スペースを入力する場合は、カタカナ入力モードでは［0］キーを 4 回、アルファベット入力モードでは［0］キーを 1 回押してください。
- 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで［#］キーを押します。

# 索引

## も



## り



## れ